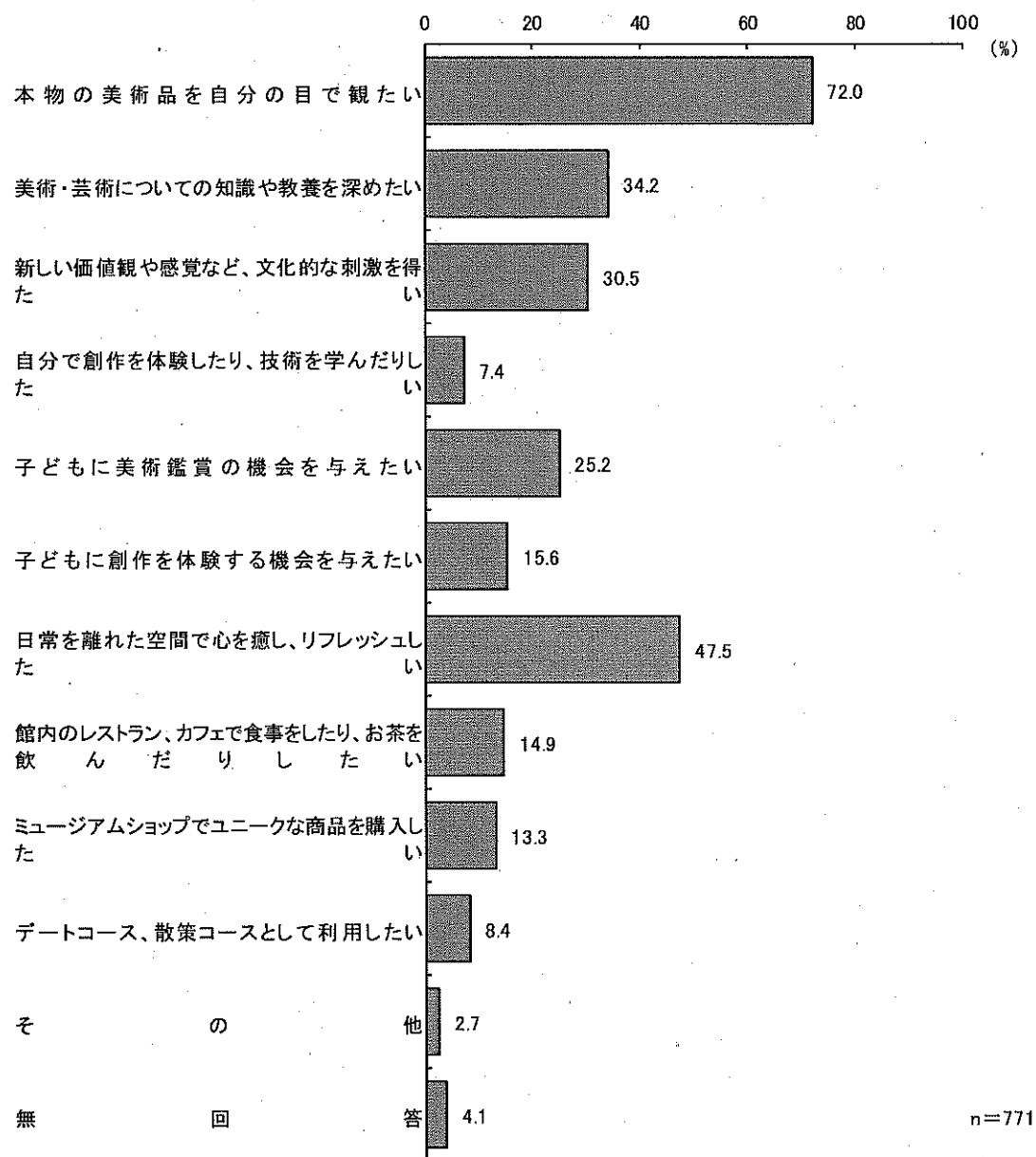


3 静岡県の文化施設等について

3-1 「静岡県立美術館」への期待

問17 あなたが県立美術館に行くとしたら、主にどのようなことを期待して行きますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図3-1-i 「静岡県立美術館」への期待】

(%)

【項目】	平成21年度	平成24年度	平成27年度	平成30年度
本物の美術品を自分の目で観たい	70.2	72.6	70.9	72.0
美術・芸術についての知識や教養を深めたい	33.3	33.1	34.4	34.2
新しい価値観や感覚など、文化的な刺激を得たい	29.0	28.7	34.1	30.5
自分で創作を体験したり、技術を学んだりしたい	10.8	10.8	10.6	7.4
子どもに美術鑑賞の機会を与えたい	24.8	24.8	23.7	25.2
子どもに創作を体験する機会を与えたい	-	-	14.0	15.6
日常を離れた空間で心を癒し、リフレッシュしたい	45.8	43.4	51.0	47.5
館内のレストラン、カフェで食事をしたり、お茶を飲んだりしたい	12.6	15.4	16.4	14.9
ミュージアムショップでユニークな商品を購入したい	7.4	7.7	10.4	13.3
デートコース、散策コースとして利用したい	9.5	7.5	14.0	8.4
その他	1.1	2.6	2.1	2.7
無回答	9.8	4.7	4.5	4.1

<全体>

静岡県立美術館に期待することは「本物の美術品を自分の目で観たい」が72.0%と最も高く、回答者の7割超となっている。次いで「日常を離れた空間で心を癒し、リフレッシュしたい」が47.5%、「美術・芸術についての知識や教養を深めたい」が34.2%、「新しい価値観や感覚など、文化的な刺激を得たい」が30.5%といった順になっている。

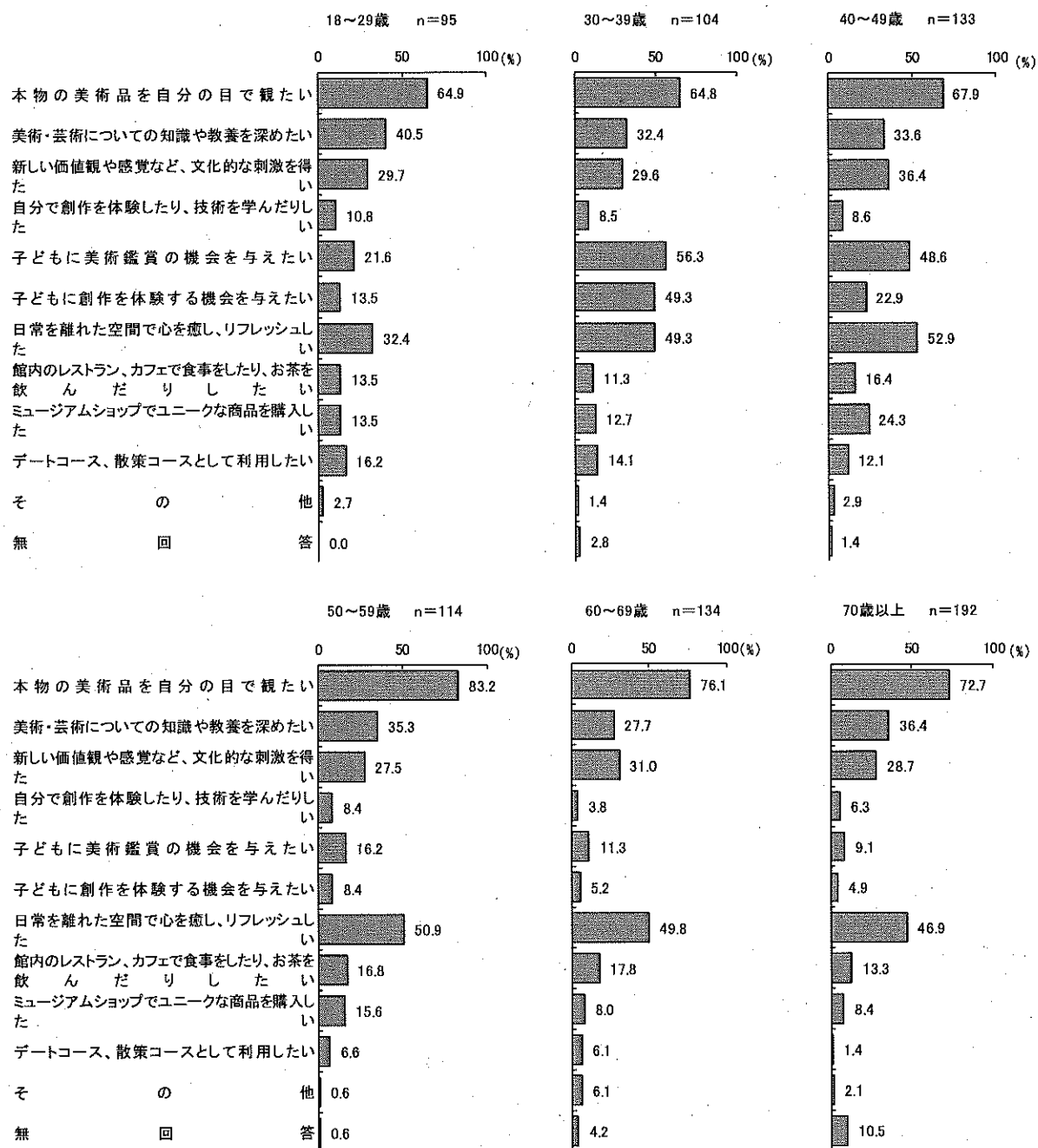
過去の調査と比較すると、「ミュージアムショップでユニークな商品を購入したい」が年々増加傾向で推移している。

<年代別>

年代別でみると、すべての年代で「本物の美術品を自分の目で観たい」が第1位となり、50～59歳では8割超となっている。

また、「子どもに美術鑑賞の機会を与えたい」は30～39歳で56.3%、40～49歳で48.6%、「子どもに創作を体験する機会を与えたい」は30～39歳で49.3%と比較的高い割合となっており、子育て世代が重視する項目であることが伺える。

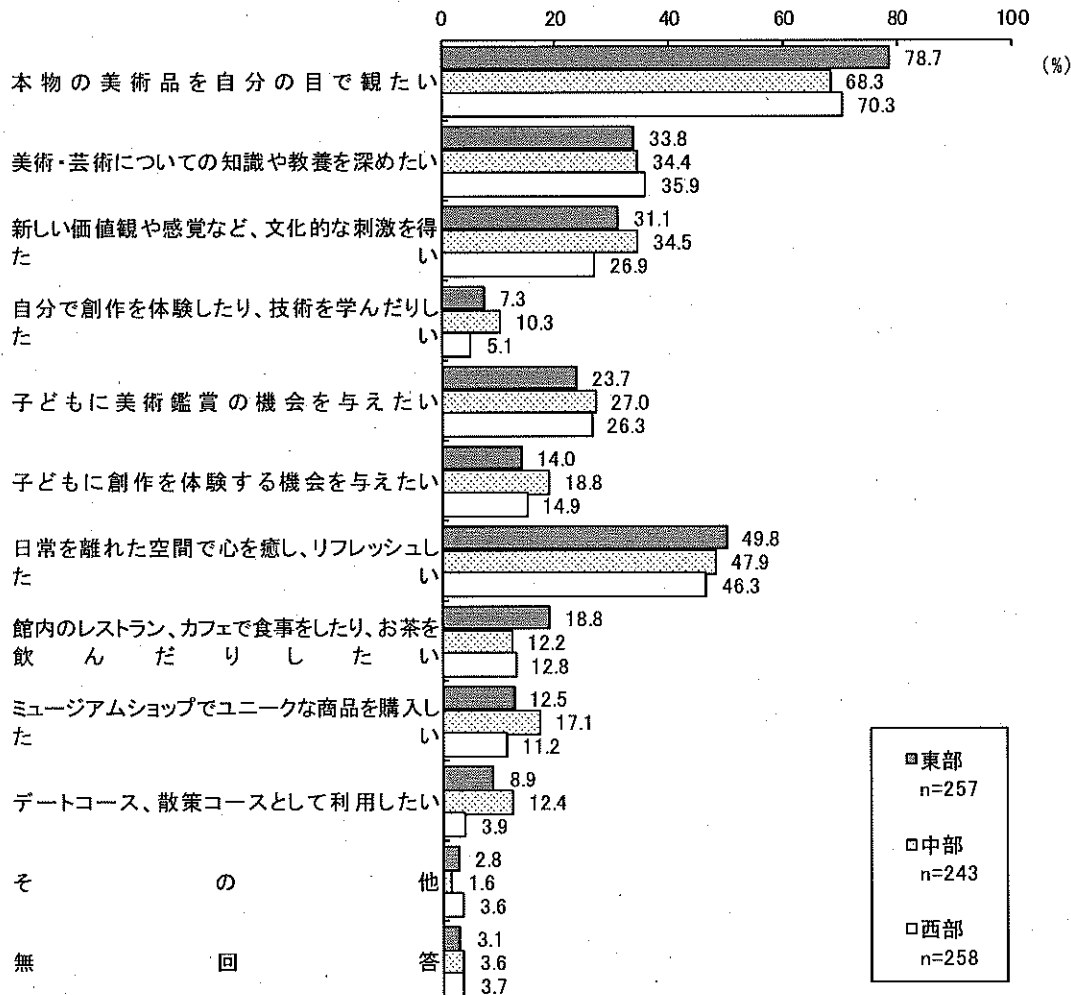
【図3-1-ii 年代別「静岡県立美術館」への期待】



<地区別>

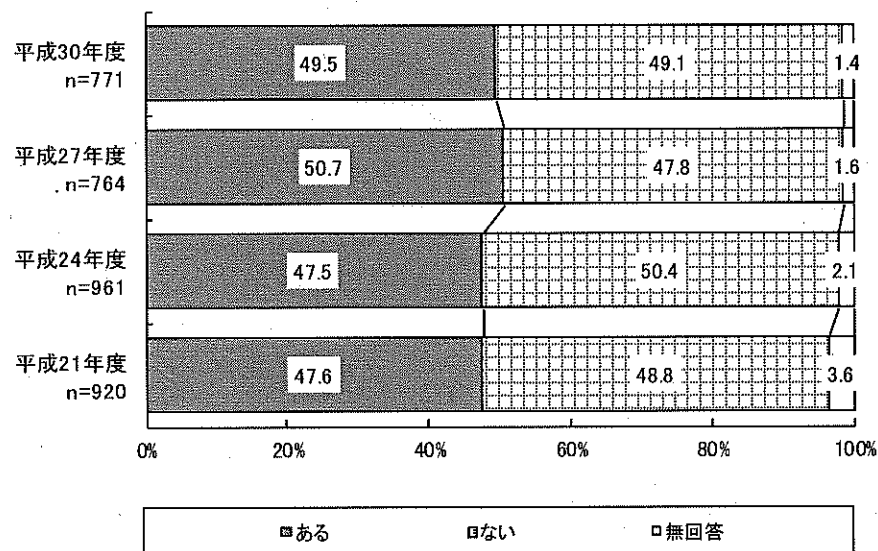
「本物の美術品を自分の目で観たい」がすべての地区で最も高く、東部地区で78.7%、西部地区で70.3%、中部地区で68.3%と比較的東部地区が高い割合となっている。また、「日常を離れた空間で心を癒し、リフレッシュしたい」がすべての地区で第2位となっている。

【図3-1-iii 地区別「静岡県立美術館」への期待】



3-2 「グランシップ」の利用経験

問18 あなたは、グランシップに行った(利用した)ことがありますか。



<全体>

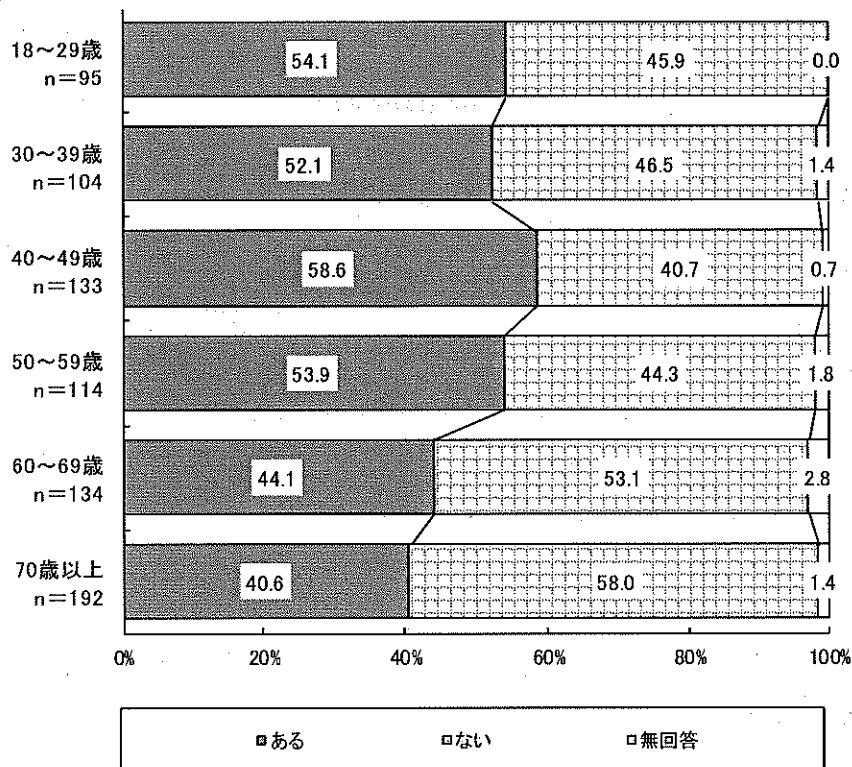
グランシップに行った(利用した)ことが「ある」は49.5%、行った(利用した)ことが「ない」は49.1%となった。

過去の調査と比較すると、行った(利用した)ことが「ある」と行った(利用した)ことが「ない」とで毎回概ね半々となっている。

<年代別>

行った（利用した）ことが「ある」が最も高いのは40～49歳で58.6%となっている。一方、70歳以上は40.6%と最も低く、60～69歳も44.1%で4割台となっている。

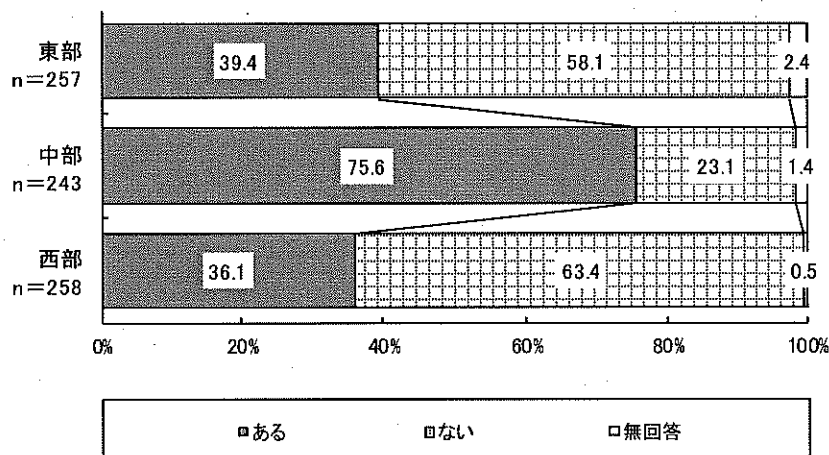
【図3-2-i 年代別「グランシップ」の利用経験】



<地区別>

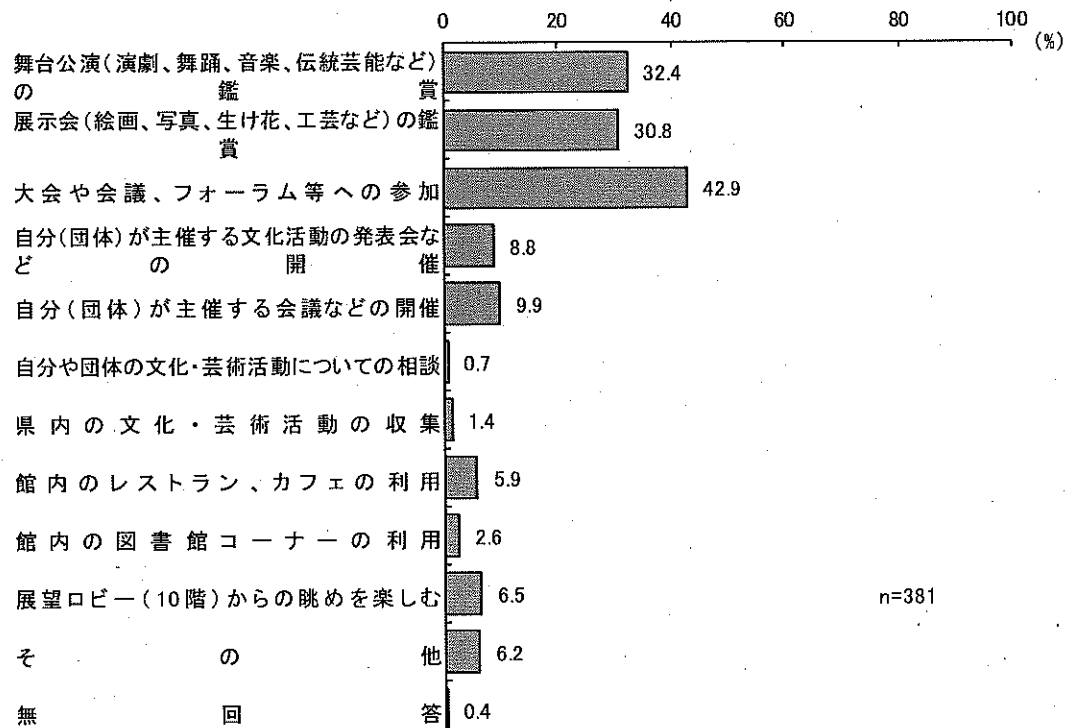
行った（利用した）ことが「ある」は、中部地区が75.6%、東部地区が39.4%、西部地区が36.1%と、中部地区は他の地区と比べて36ポイント以上上回っている。

【図3-2-ii 地区別「グランシップ」の利用経験】



3-3 「グランシップ」の利用目的

問19 問18で「1.ある」と回答された方にお聞きます。グランシップを利用した主な目的は何ですか？次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



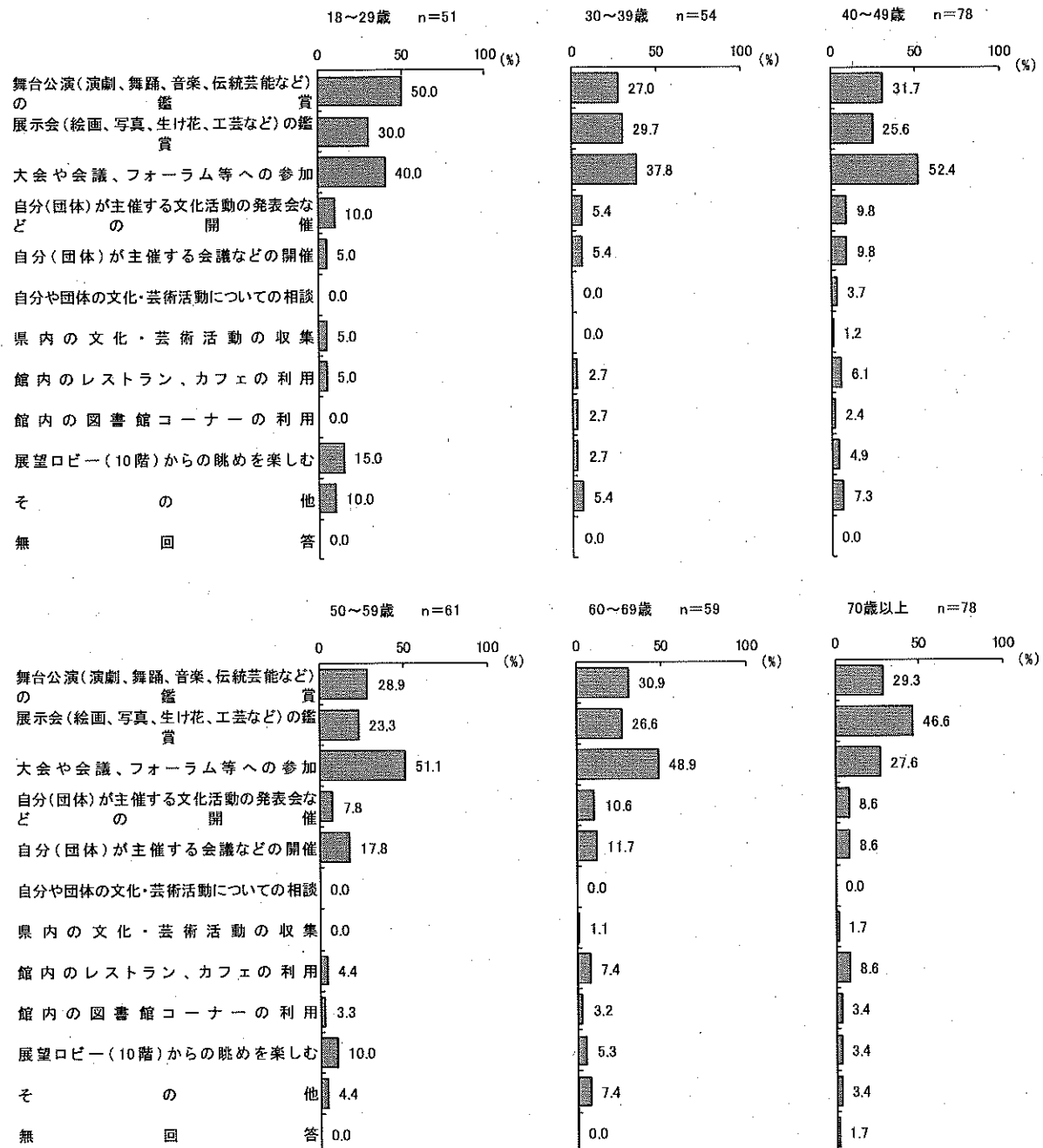
<全体>

グランシップに行った(利用した)ことがあると回答した人の利用した目的は、「大会や会議、フォーラム等への参加」が42.9%で最も高く、次いで「舞台公演の鑑賞」が32.4%、「展示会の鑑賞」が30.8%で他の項目を大きく引き離している。

<年代別>

年代別でみると18～29歳、70歳以上を除くすべての年代で「大会や会議、フォーラム等への参加」が第1位となっている。また、18～29歳では「舞台公演の鑑賞」が最も高く、70歳以上では「展示会の鑑賞」が第1位となっている。また、50～59歳、60～69歳では「自分が主催する会議などの開催」が10%以上と比較的高い割合となっている。

【図3-3-i 年代別「グランシップ」の利用目的】

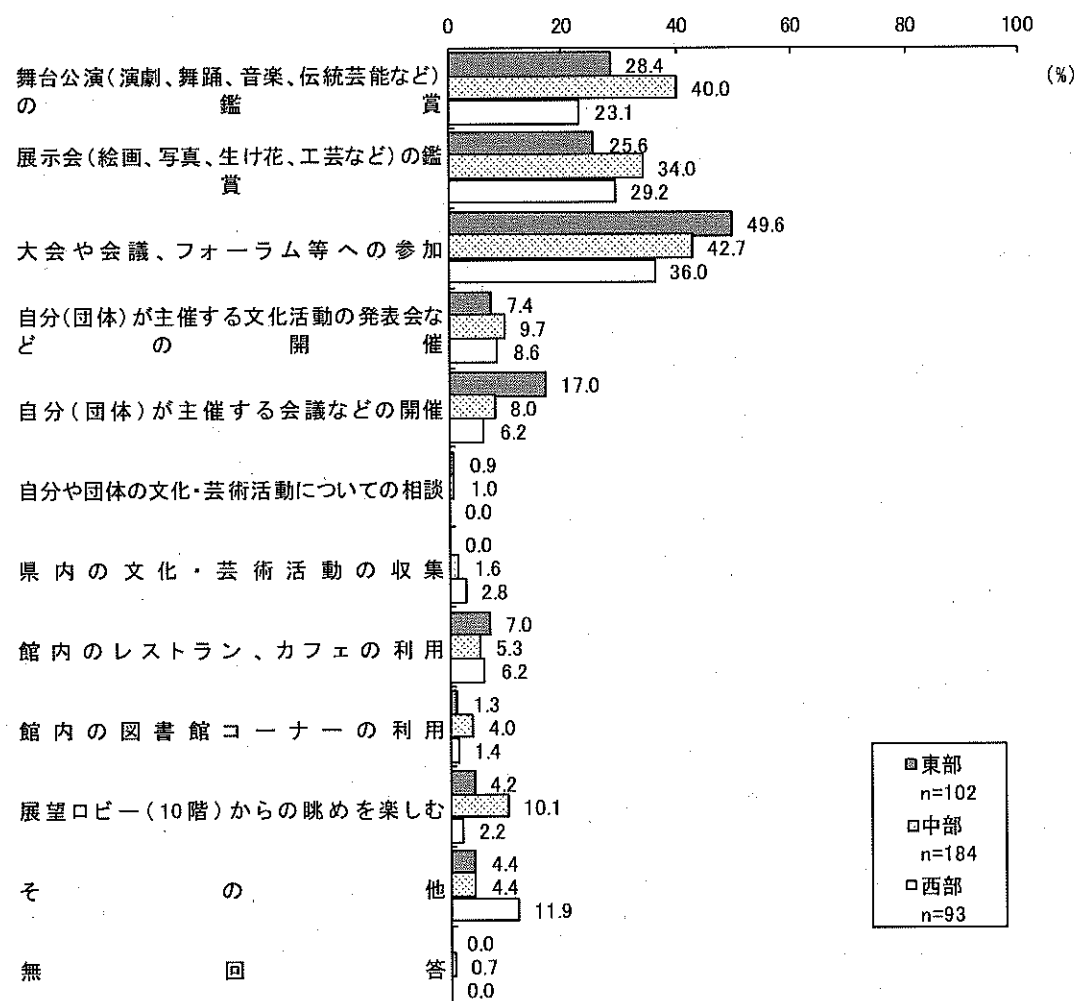


<地区別>

地区別でみると「大会や会議、フォーラム等への参加」では東部地区が49.6%、中部地区が42.7%、西部地区が36.0%で、「自分が主催する会議などの開催」でも東部地区が17.0%、中部地区が8.0%、西部地区が6.2%となっており、東部地区では会議目的でのグランシップの利用が多い状況が伺える。

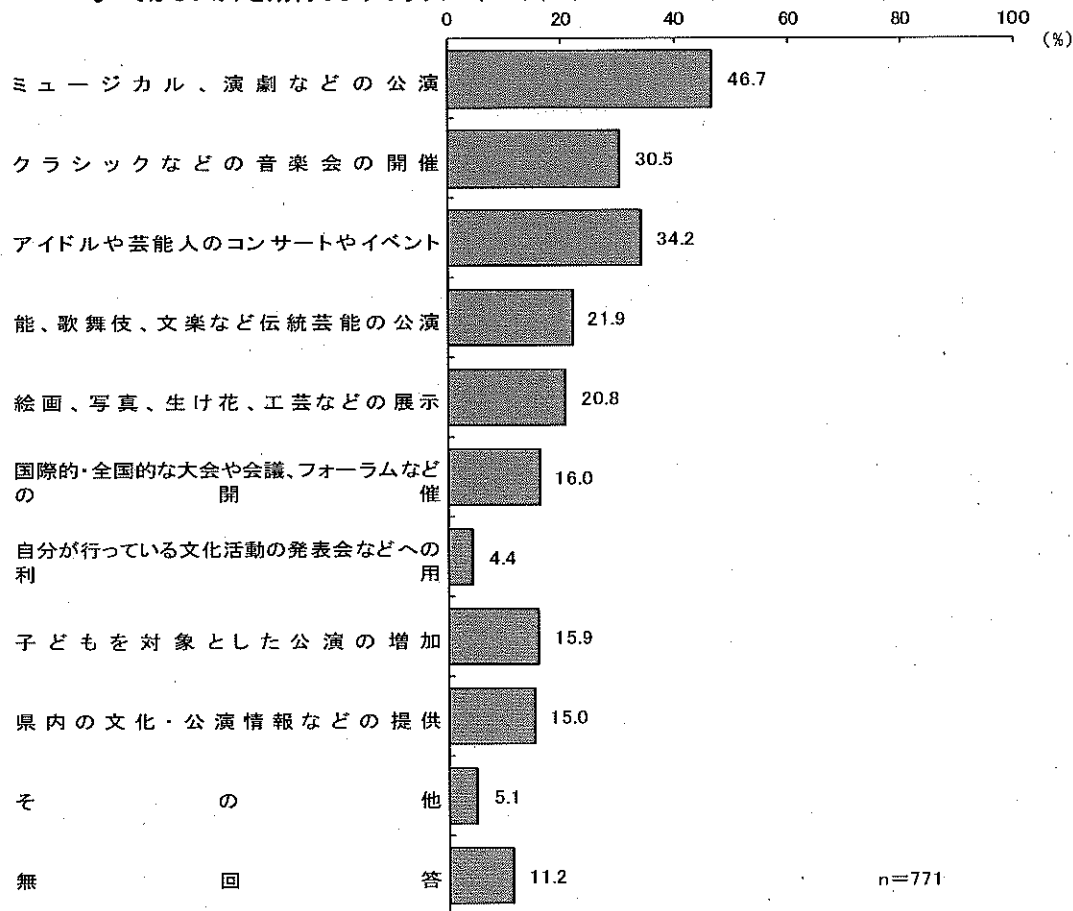
また、「舞台公演の鑑賞」では中部地区が40.0%、東部地区が28.4%、西部地区が23.1%と、中部地区が他の2地区に比べ10ポイント以上高くなっている。

【図3-3-ii 地区別「グランシップ」の利用目的】



3-4 「グランシップ」への期待

問20 すべての方にお聞きます。あなたは、グランシップにどのようなこと(どういふことを行ふべきか、どんな場になつてほしいか)を期待しますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図3-4-1 「グランシップ」への期待】

(%)

【項目】	平成21年度	平成24年度	平成27年度	平成30年度
ミュージカル、演劇などの公演	42.1	44.6	49.3	46.7
クラシックなどの音楽会の開催	28.7	25.7	30.8	30.5
アイドルや芸能人のコンサートやイベント	-	-	35.3	34.2
能、歌舞伎、文楽など伝統芸能の公演	18.8	22.2	22.1	21.9
絵画、写真、生け花、工芸などの展示	21.3	20.6	17.6	20.8
国際的・全国的な大会や会議、フォーラムなどの開催	21.0	21.9	18.5	16.0
自分が行っている文化活動の発表会などへの利用	4.0	3.5	3.5	4.4
子どもを対象とした公演の増加	17.8	18.7	14.6	15.9
県内の文化・公演情報などの提供	20.9	19.8	16.8	15.0
その他	7.9	9.9	8.3	5.1
無回答	16.3	9.5	7.8	11.2

<全体>

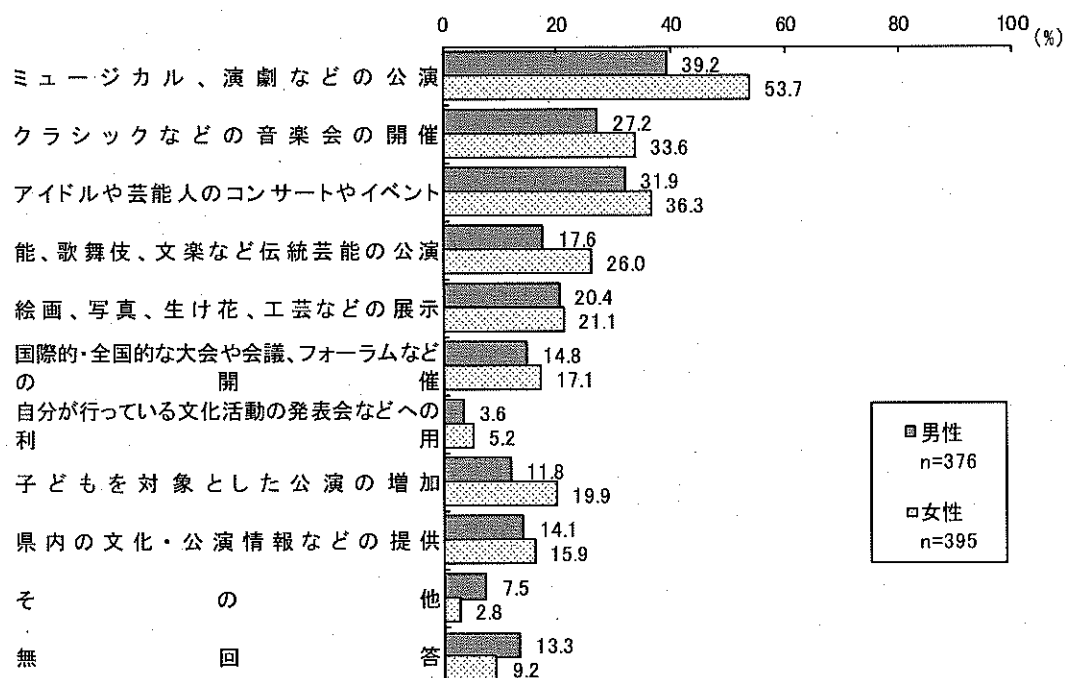
グランシップへの期待内容は「ミュージカル、演劇などの公演」が46.7%で最も高くなっている。次いで「アイドルや芸能人のコンサートやイベントを開催」が34.2%、「クラシックなどの音楽会を開催」が30.5%の順となっている。

過去の調査と比較すると、「県内の文化・公演情報などを提供」は平成21年度調査以降、減少傾向で推移している。

<性別>

性別で見ると、男女ともに「ミュージカル、演劇などの公演」が第1位となっているが、男性が39.2%、女性が53.7%と14.5ポイントの開きがある。また、すべての項目で女性が男性の割合を上回っている。

【図3-4-ii 性別「グランシップ」への期待】

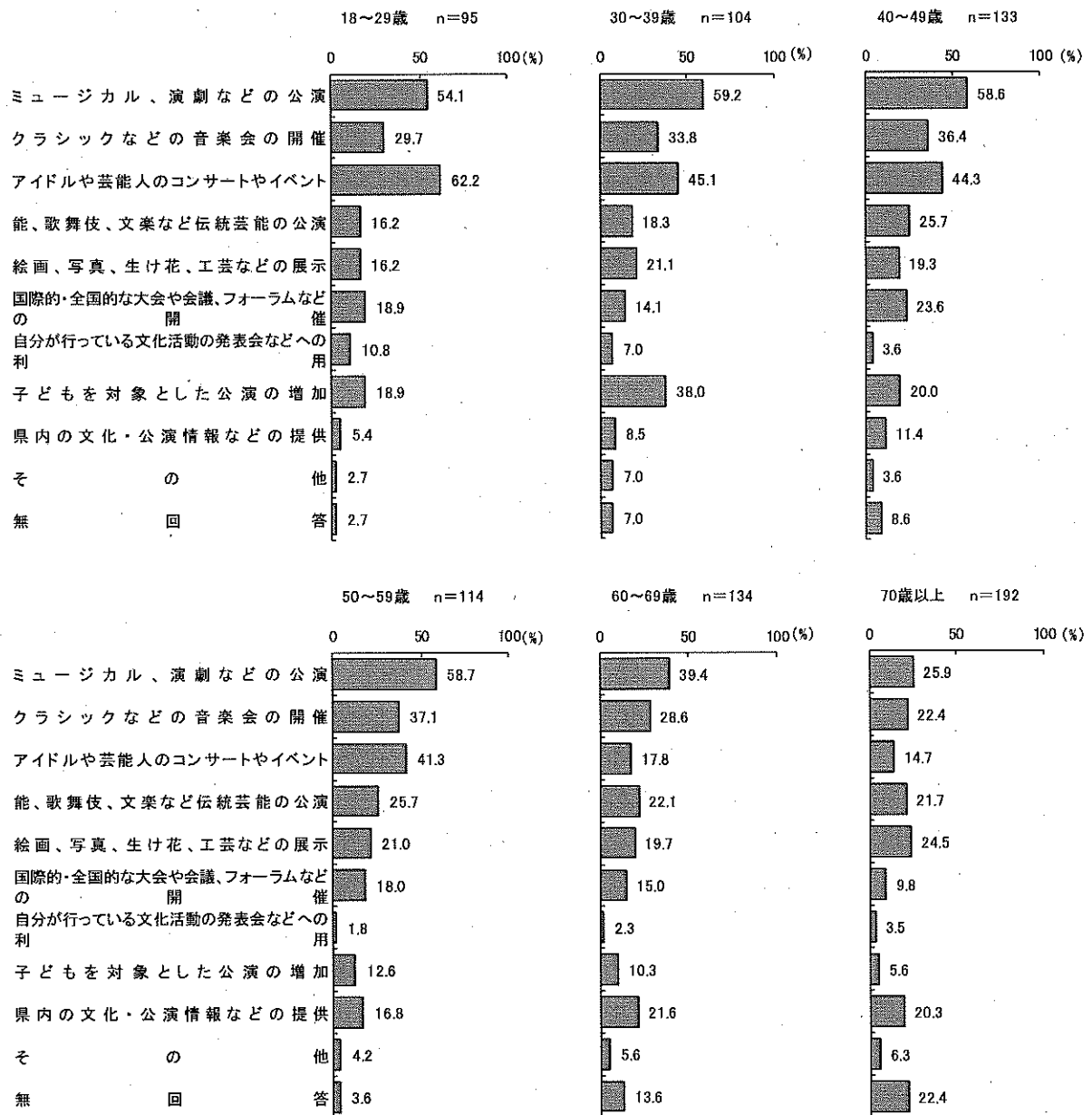


<年代別>

年代別で見ると、18～29歳を除いたすべての年代で「ミュージカル、演劇などの公演」が第1位となっており、18～29歳では「アイドルや芸能人のコンサートやイベント」が第1位となっている。

また、30～39歳では「子どもを対象とした公演の増加」が他の年代より18ポイント以上高くなっている。

【図3-4-iii 年代別「グランシップ」への期待】

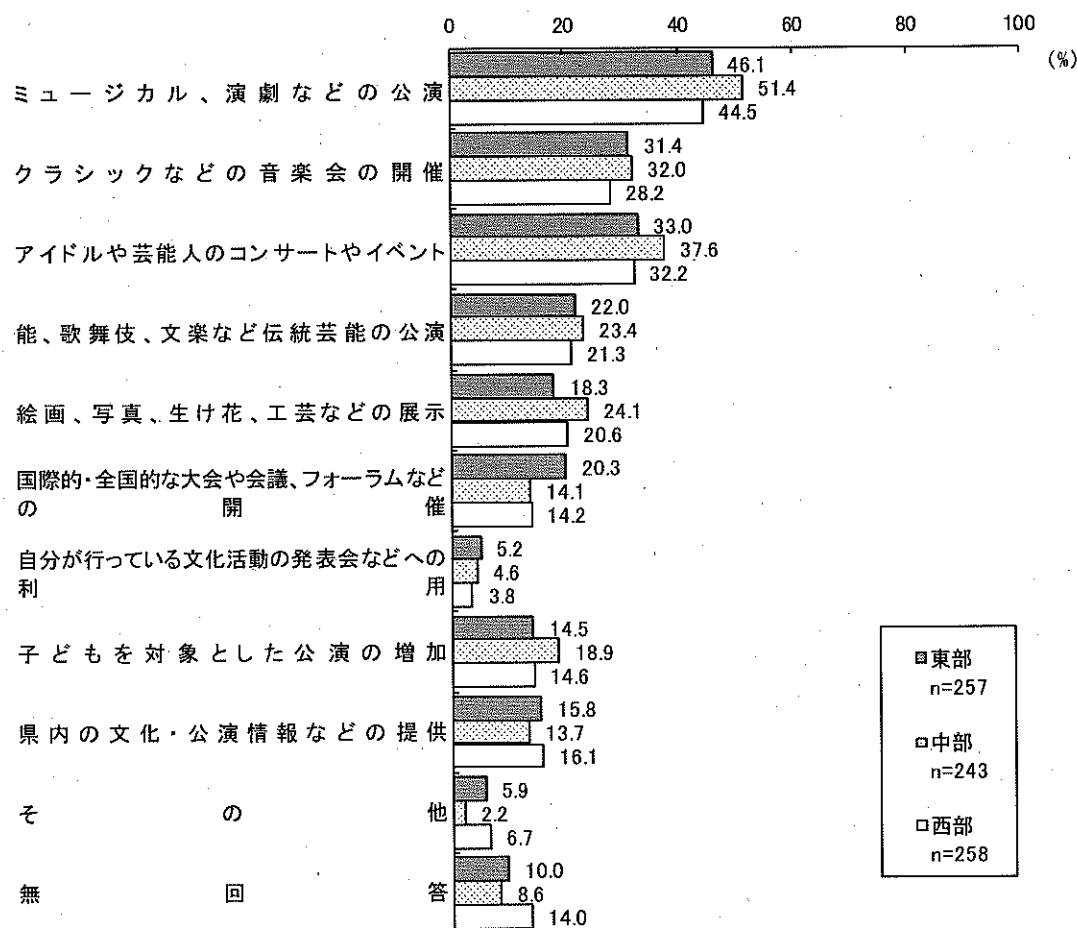


<地区別>

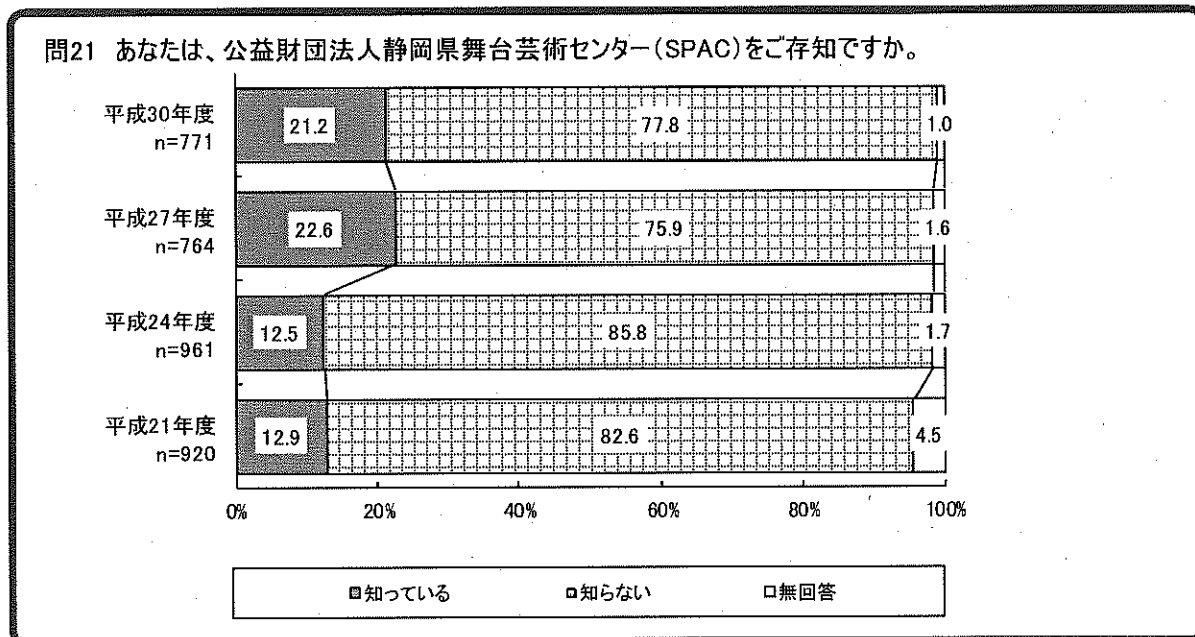
地区別でみると、すべての地区で第1位となった「ミュージカル、演劇などの公演」は中部地区で51.4%と最も高く、東部地区は46.1%、西部地区は44.5%となっている。

また、「国際的・全国的な大会や会議、フォーラムなどを開催」が、東部地区で20.3%と他の2地区に比べて6ポイント以上高くなっている。

【図3-4-iv 地区別「グランシップ」への期待】



3-5 「公益財団法人静岡県舞台芸術センター（以下、SPAC）」の認知度



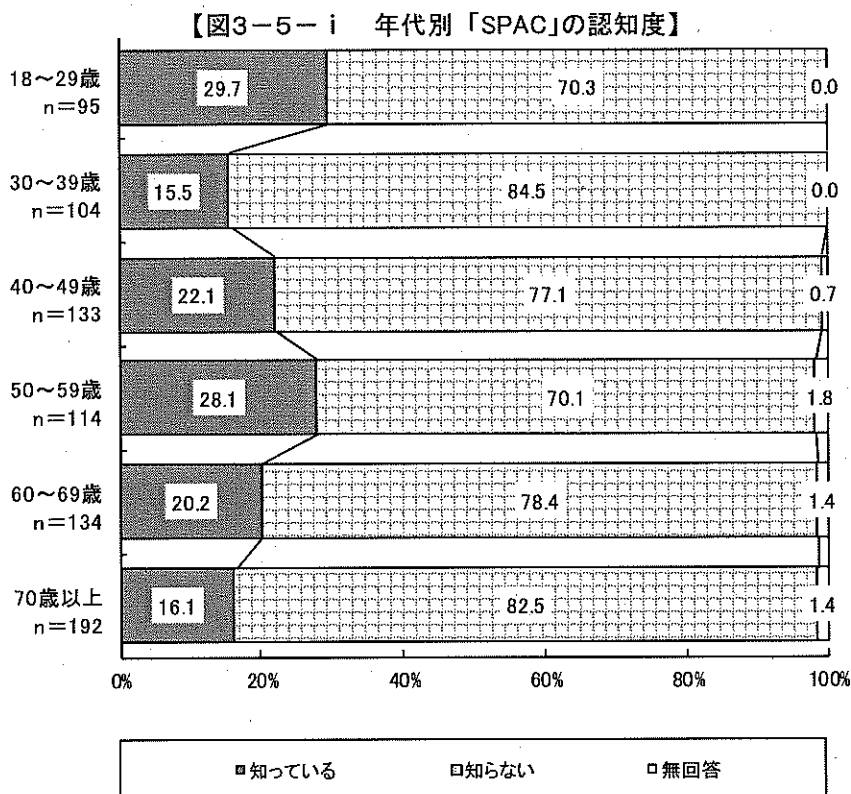
<全体>

SPACを「知っている」は21.2%、「知らない」は77.8%となった。

過去の調査と比較すると、「知っている」の割合は2割超であるものの、平成27年度調査と比べて1.4ポイント微減している。

<年代別>

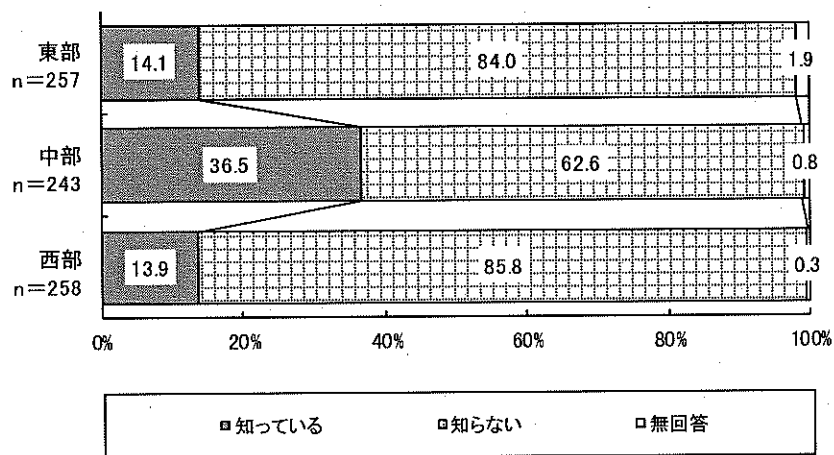
年代別で見ると、「知っている」は18～29歳で29.7%と最も高く、次いで50～59歳が28.1%となっている。一方、30～39歳、70歳以上では2割を下回っている。



<地区別>

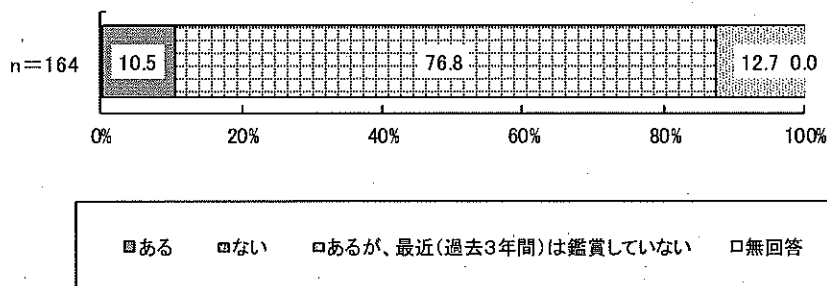
地区別でみると、「知っている」は中部地区36.5%が最も高く、次いで東部地区14.1%、西部地区13.9%となり、中部地区が他地区に比べて22ポイント以上上回っている。

【図3-5-ii 地区別「SPAC」の認知度】



3-6 「SPAC」の鑑賞経験

問22 問21で「1. 知っている」と回答された方にお聞きます。あなたは、公益財団法人静岡県舞台芸術センター（SPAC）の演劇を鑑賞したことがありますか。



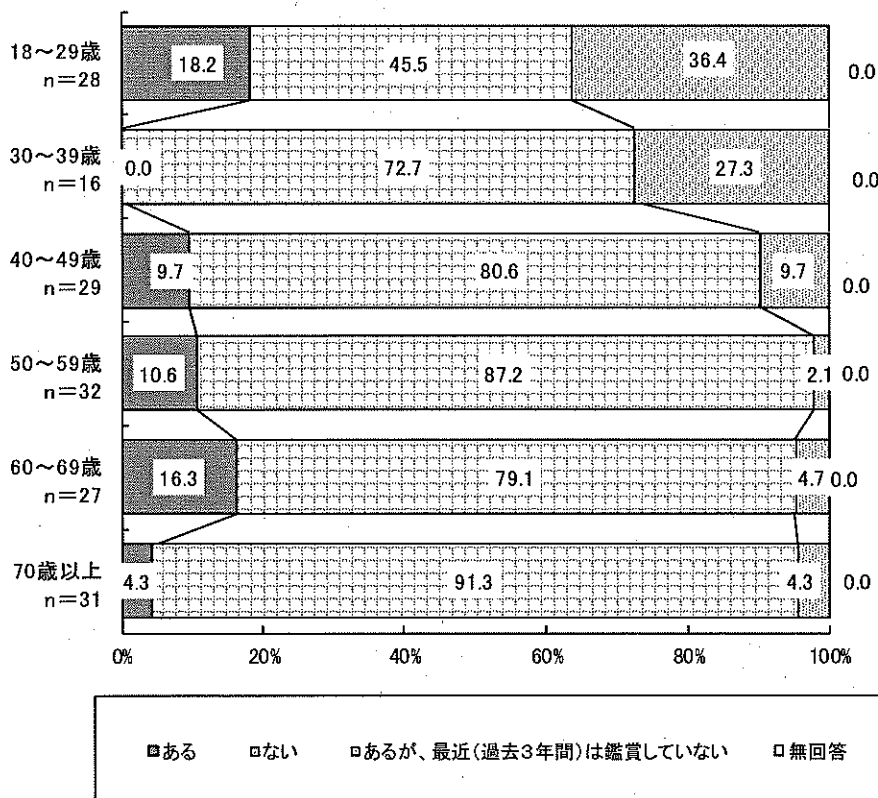
<全体>

SPACの演劇鑑賞経験については、「ある」は10.5%、「あるが最近（過去3年間）は鑑賞していない」は12.7%、「ない」は76.8%となっている。

<年代別>

年代別でみると、「ある」が18～29歳で18.2%と最も高く、次いで60～69歳で16.3%、50～59歳で10.6%の順となっている。「あるが最近（過去3年間）は鑑賞していない」は18～29歳で36.4%、30～39歳で27.3%と概ね年代が高くなるにつれて低い割合となっている。

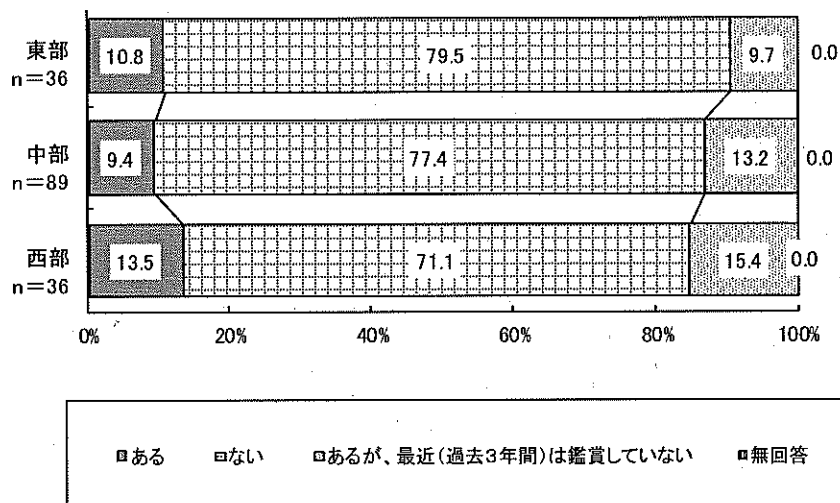
【図3-6-i 年代別「SPAC」の鑑賞経験】



<地区別>

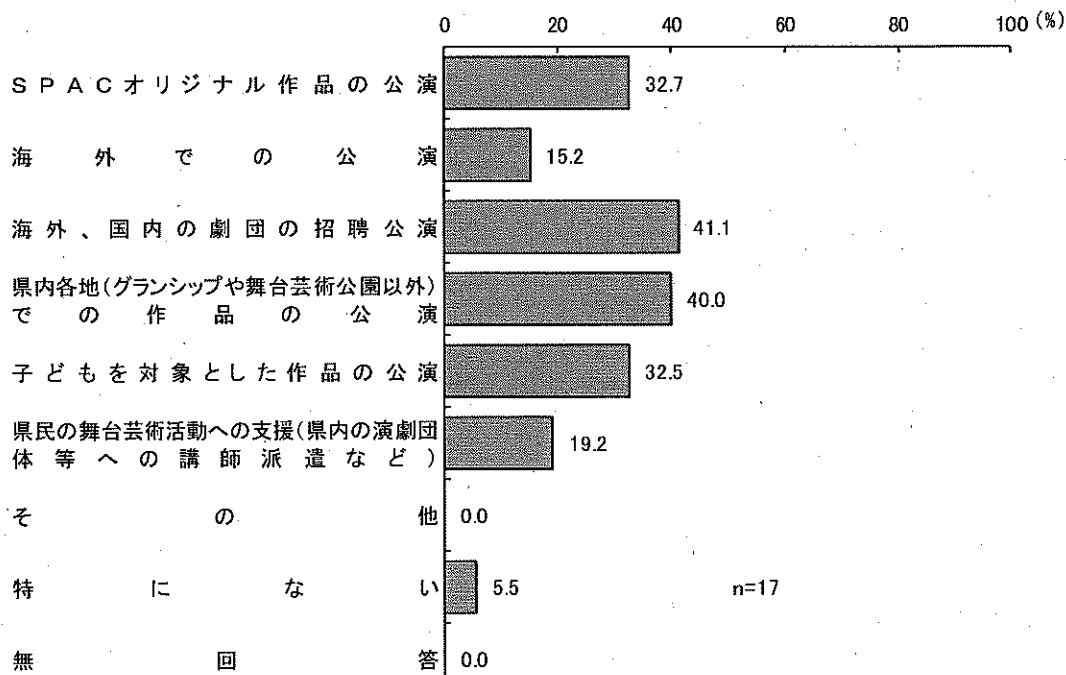
地区別でみると、「ある」の割合が高い順に、西部地区が13.5%、東部地区が10.8%、中部地区が9.4%となっている。「あるが最近（過去3年間）は鑑賞していない」は、西部地区が15.4%、中部地区が13.2%、東部地区が9.7%となっており、どちらも西部地区が比較的高くなっている。

【図3-6-ii 地区別「SPAC」の鑑賞経験】



3-7 「SPAC」への期待

問23 問22で「1.ある」と回答された方にお聞きます。あなたは、SPACにどのようなこと(どういうことを行うべきか、どんな場になってほしいか)を期待しますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



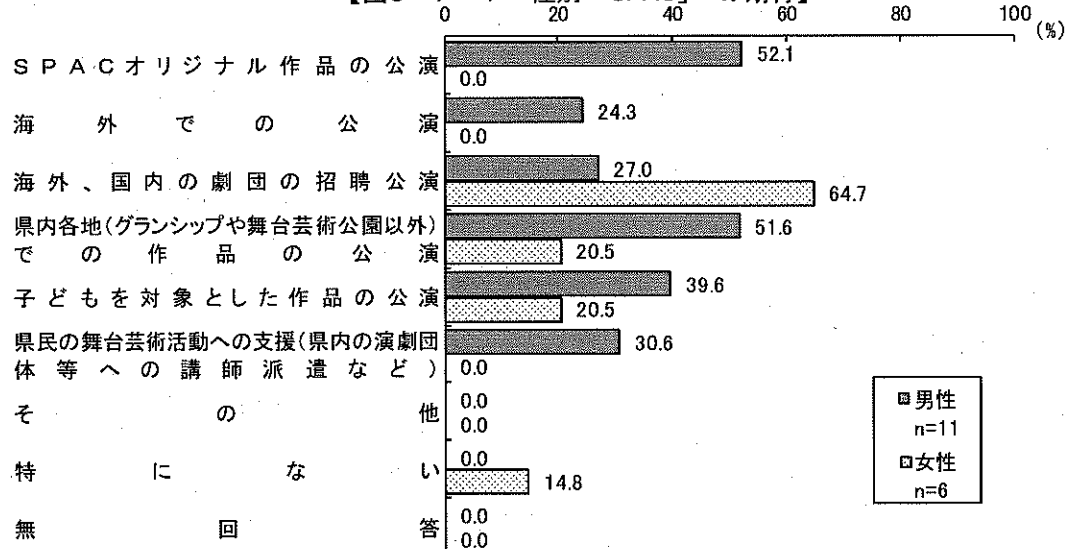
<全体>

SPACの演劇を鑑賞したことがあると回答した人のSPACへの期待内容は、「海外、国内の劇団の招聘公演」が41.1%で最も高く、次いで「県内各地での作品の公演」が40.0%、「SPACオリジナル作品の公演」が32.7%と続いている。

<性別>

性別については回答数が少ないため、グラフのみを貼付する。

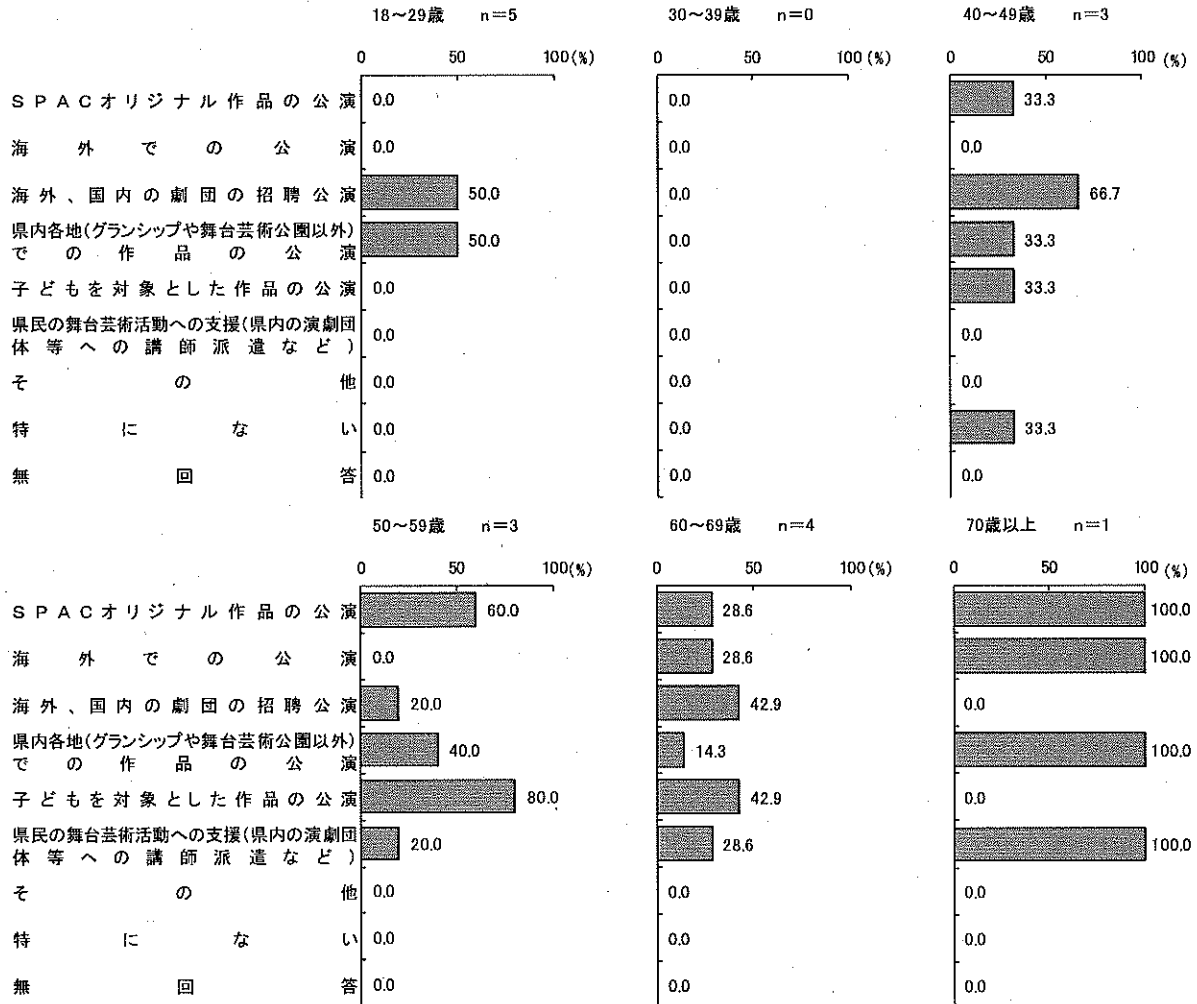
【図3-7-i 性別「SPAC」への期待】



<年代別>

年代別については回答数が少ないため、グラフのみを貼付する。

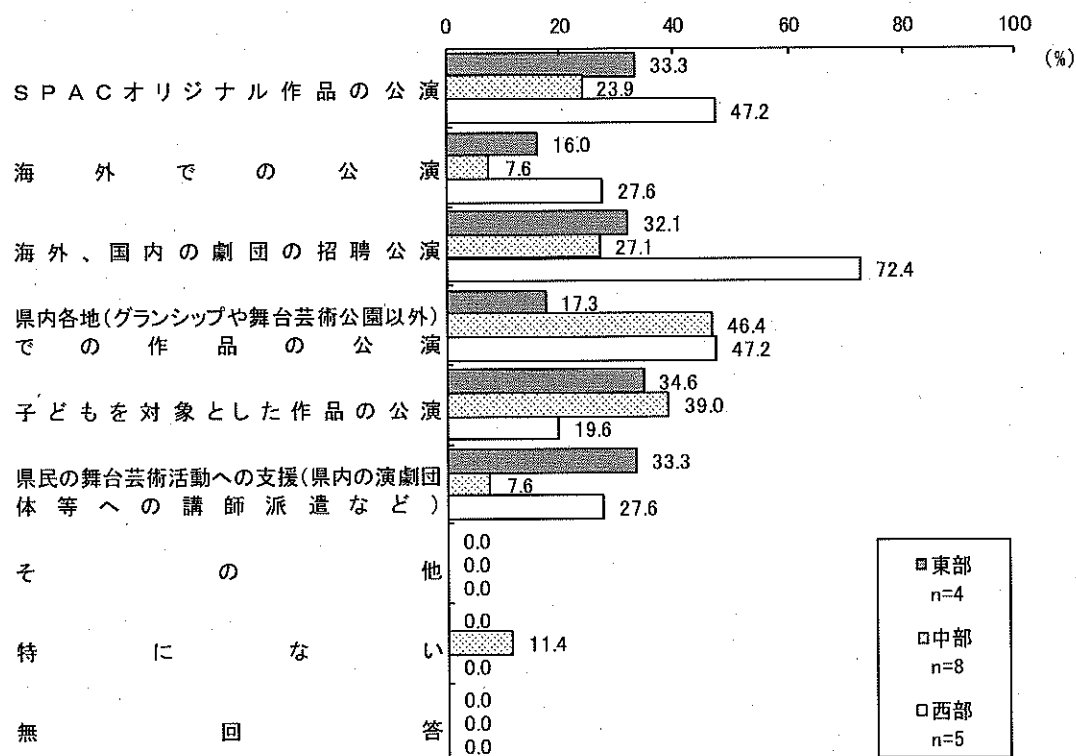
【図3-7-ii 年代別「SPAC」への期待】



<地区別>

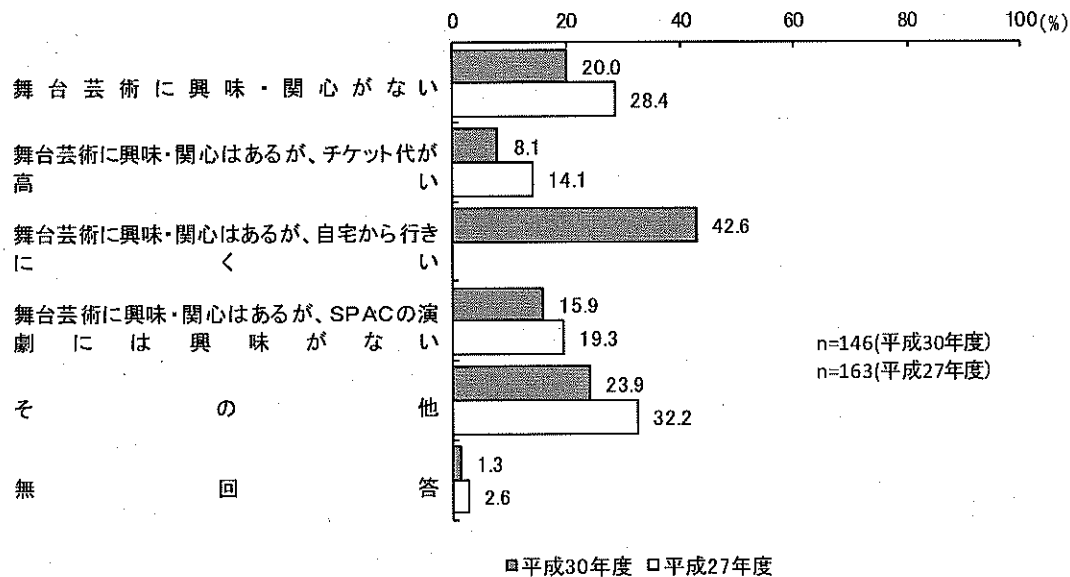
地区別については回答数が少ないため、グラフのみを貼付する。

【図3-7-iii 地区別「SPAC」への期待】



3-8 「SPAC」を鑑賞しない理由

問24 問22で「2.ない」と回答された方及び、「3: 最近(過去3年間)鑑賞していない」方にお聞きます。鑑賞しない理由は何ですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



※「舞台芸術に興味・関心はあるが、自宅から行きにくい」は平成27年度では未調査。

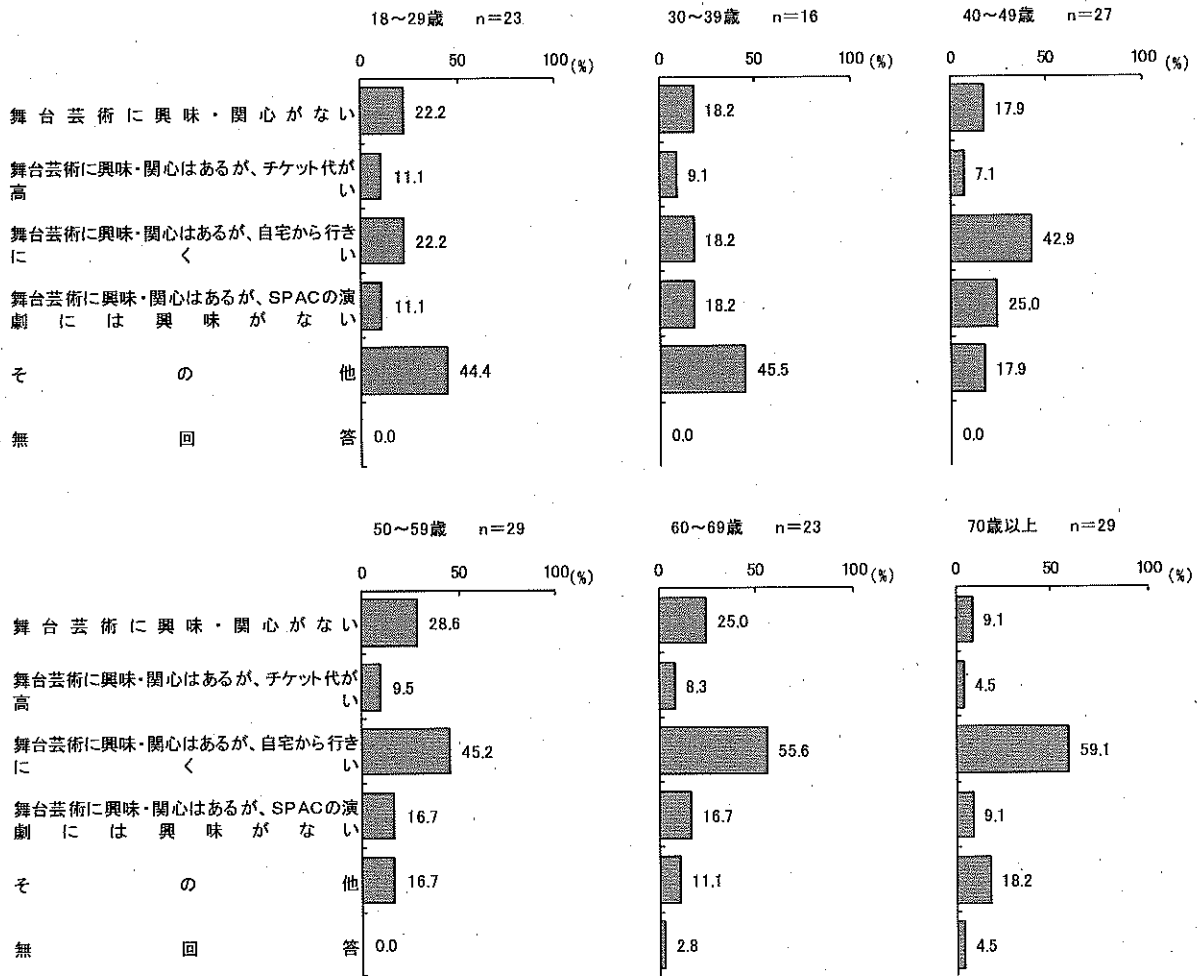
<全体>

SPACの演劇を鑑賞したことがない、最近(過去3年間)鑑賞していないと回答した人の鑑賞しない理由は「舞台芸術に興味・関心はあるが、自宅から行きにくい」が42.6%で最も高く、次いで「舞台芸術に興味・関心がない」が20.0%となっている。

<年代別>

年代別でみると、「舞台芸術に興味・関心はあるが、自宅から行きにくい」は、概ね年代が高いほど割合が高くなっている。一方、「その他」は年代が低いほど高い割合となっており、具体的な回答として「タイミングが合わない」や「SPACの情報がない」などが挙げられていた。

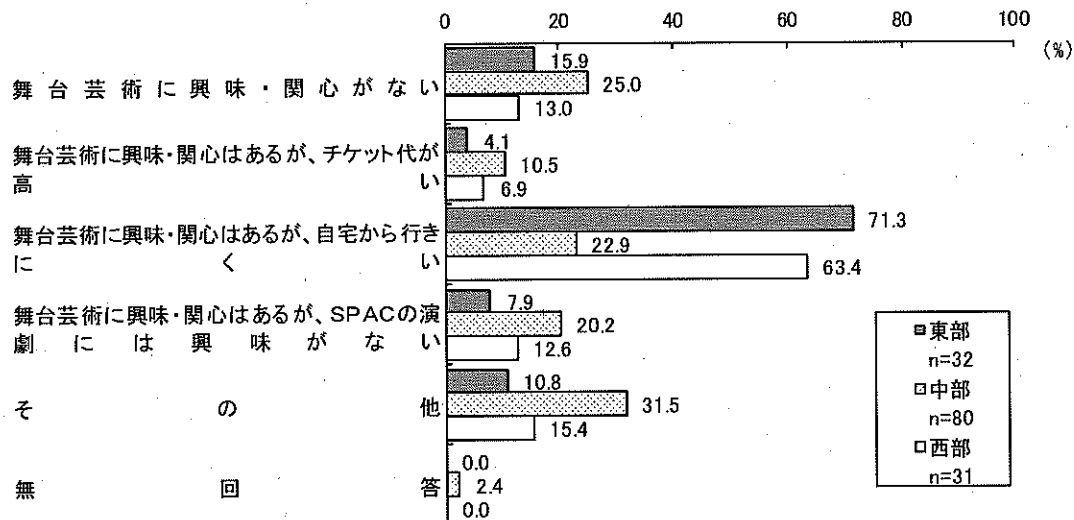
【図3-8-i 年代別「SPAC」を鑑賞しない理由】



<地区別>

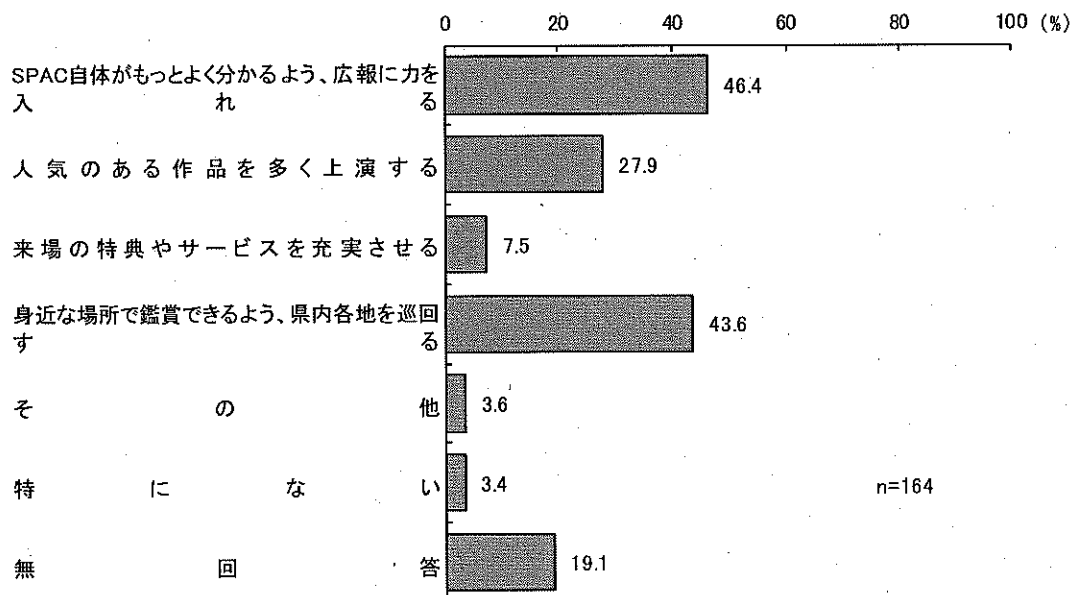
地区別でみると、「舞台芸術に興味・関心はあるが、自宅から行きにくい」では中部地区を除く2地区が高く、中部地区と比べて40ポイント以上上回っている。一方、「舞台芸術に興味・関心がない」では中部地区が25.0%と比較的高い割合となっている。

【図3-8-ii 地区別「SPAC」を鑑賞しない理由】



3-9 「SPAC」への意見

問25 問21で「1. 知っている」と回答された方にお聞きします。あなたは、より多くの方にSPACの演劇をご覧いただくためには、今後何をすればよいと思いますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



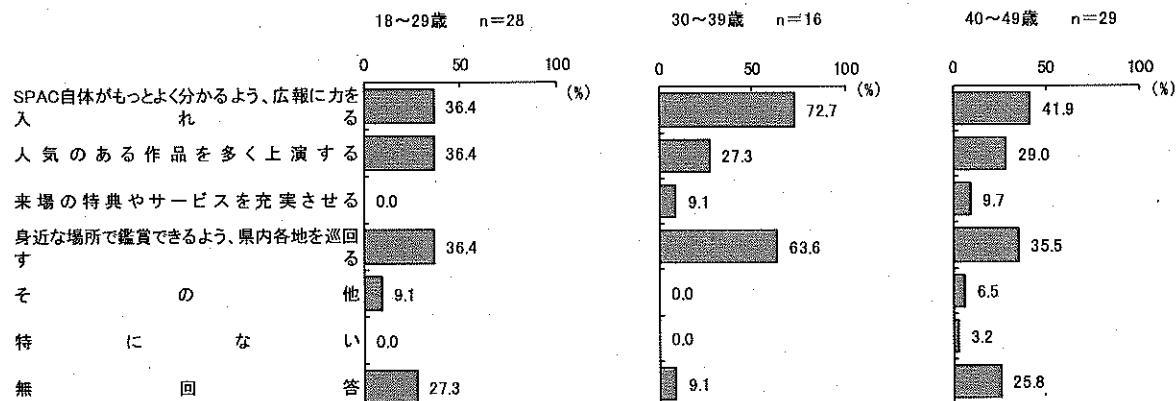
<全体>

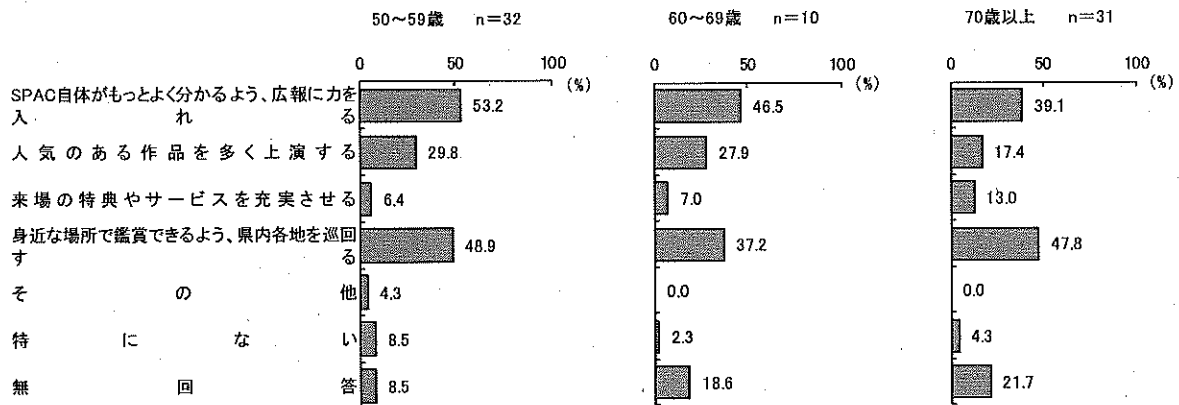
SPACの演劇の観覧のために必要な施策については、「SPAC自体がもっとよく分かるよう、広報に力を入れる」が46.4%で最も高く、次いで「身近な場所で鑑賞できるよう、県内各地を巡回する」が43.6%となっており、これらが他の項目を15ポイント以上上回っている。

<年代別>

年代別でみると18～29歳と70歳以上を除くすべての年代で「SPAC自体がもっとよく分かるよう、広報に力を入れる」が最も高く、特に30～39歳では72.7%と他の年代と比べて19ポイント以上上回っている。

【図3-9-1 年代別「SPAC」への意見】

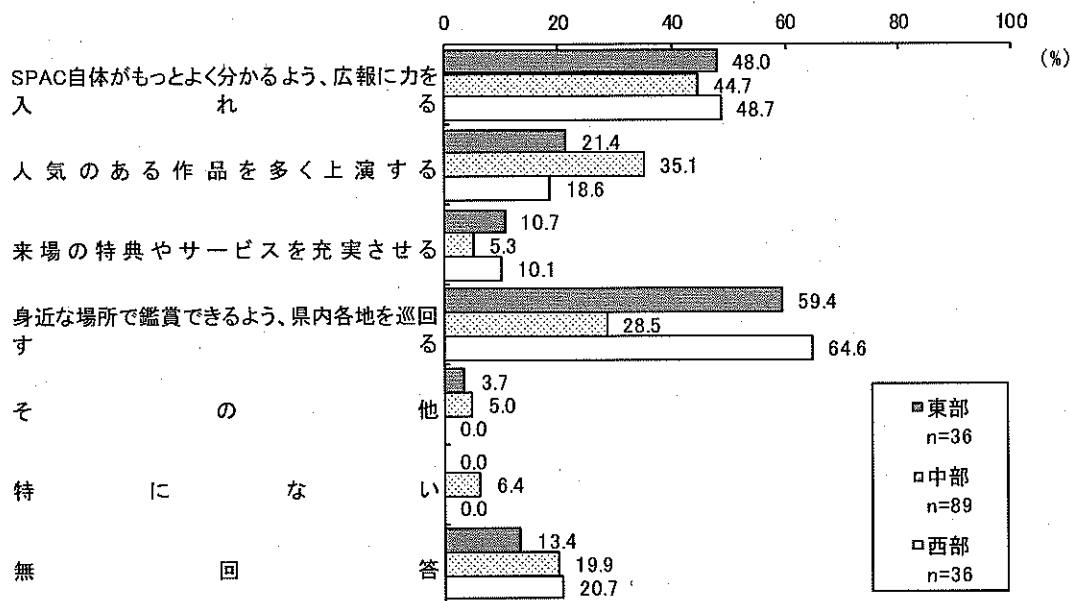




<地区別>

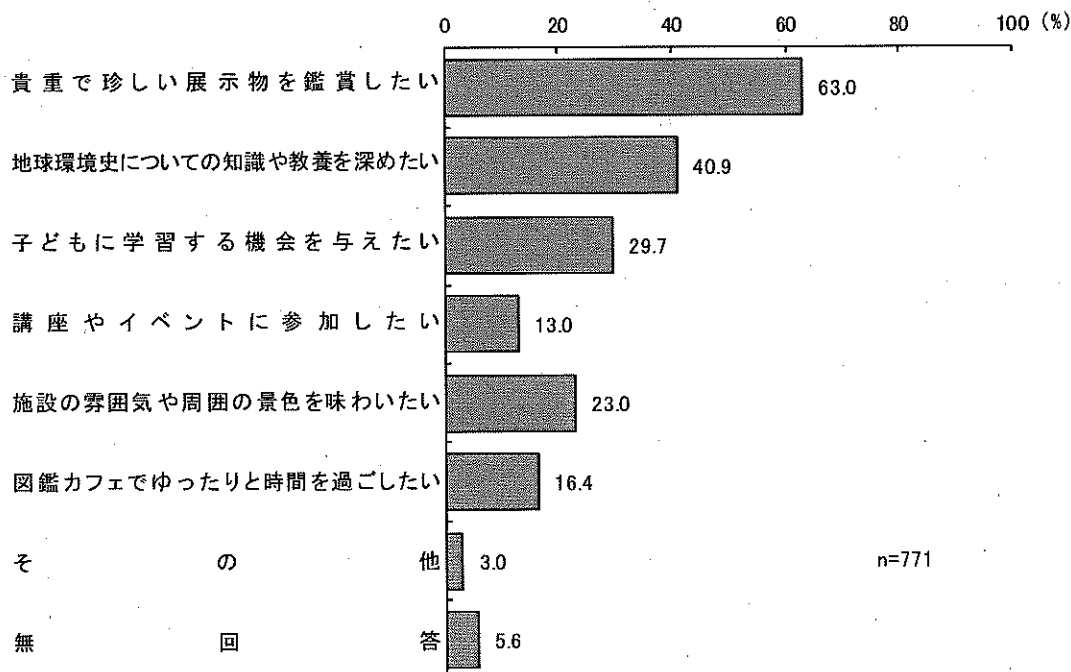
地区別でみると、「身近な場所で鑑賞できるよう、県内各地を巡回する」では中部地区以外の2地区が高く、中部地区と比べて30ポイント以上上回っている。一方、「人気のある作品を多く上演する」では中部地区が35.1%と比較的高い割合となっている。

【図3-9-ii 地区別「SPAC」への意見】



3-10 「ふじのくに地球環境史ミュージアム」への期待

問26 あなたがふじのくに地球環境史ミュージアムに行くとしたら、主にどのようなことを期待して行きますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



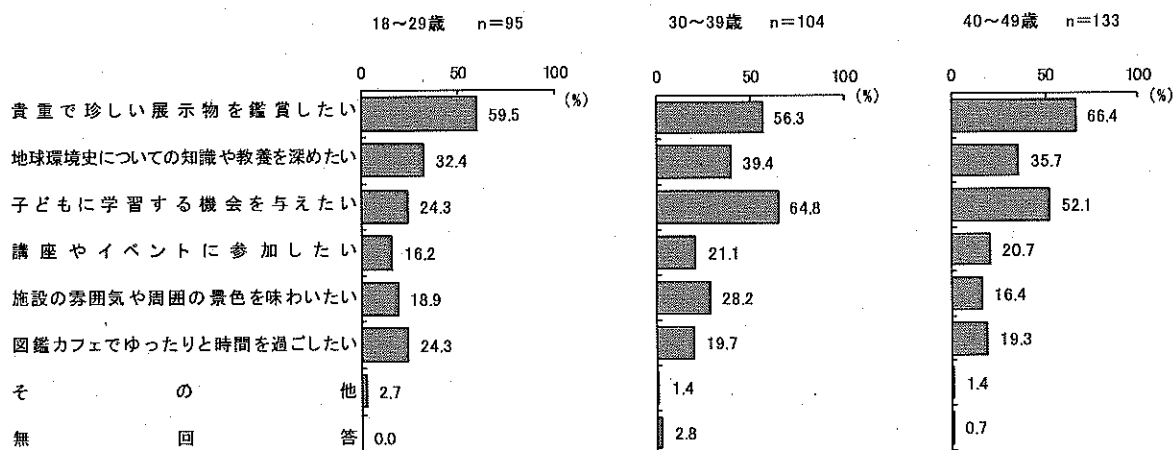
<全体>

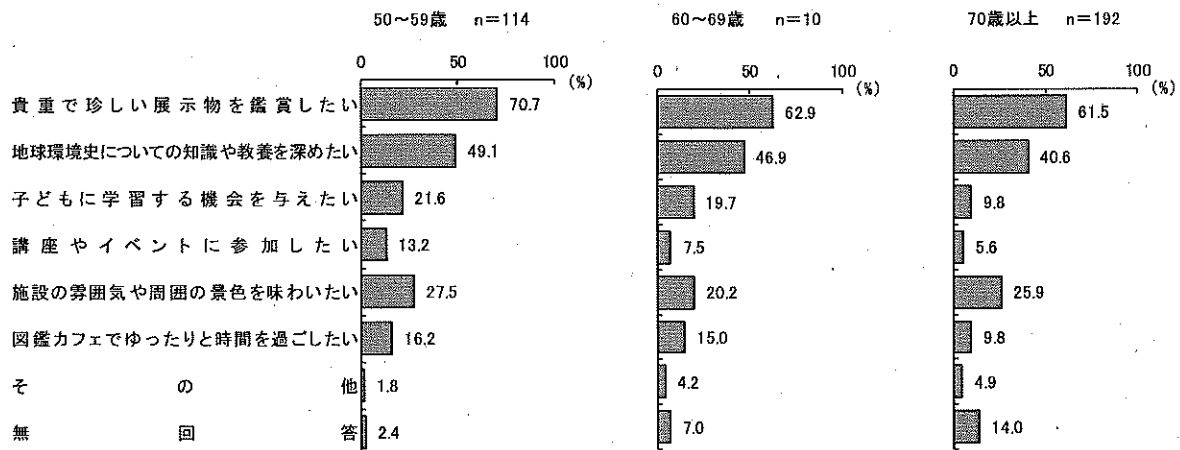
ふじのくに地球環境史ミュージアムに期待していることとして、「貴重で珍しい展示物を鑑賞したい」が63.0%で最も高く、次いで「地球環境史についての知識や教養を深めたい」が40.9%となっている。

<年代別>

年代別で見ると、30～39歳を除くすべての年代で「貴重で珍しい展示物を鑑賞したい」が最も高くなっている。一方、30～39歳は「子どもに学習する機会を与えたい」が最も高くなっている。

【図3-10-1 年代別「ふじのくに地球環境史ミュージアム」への期待】

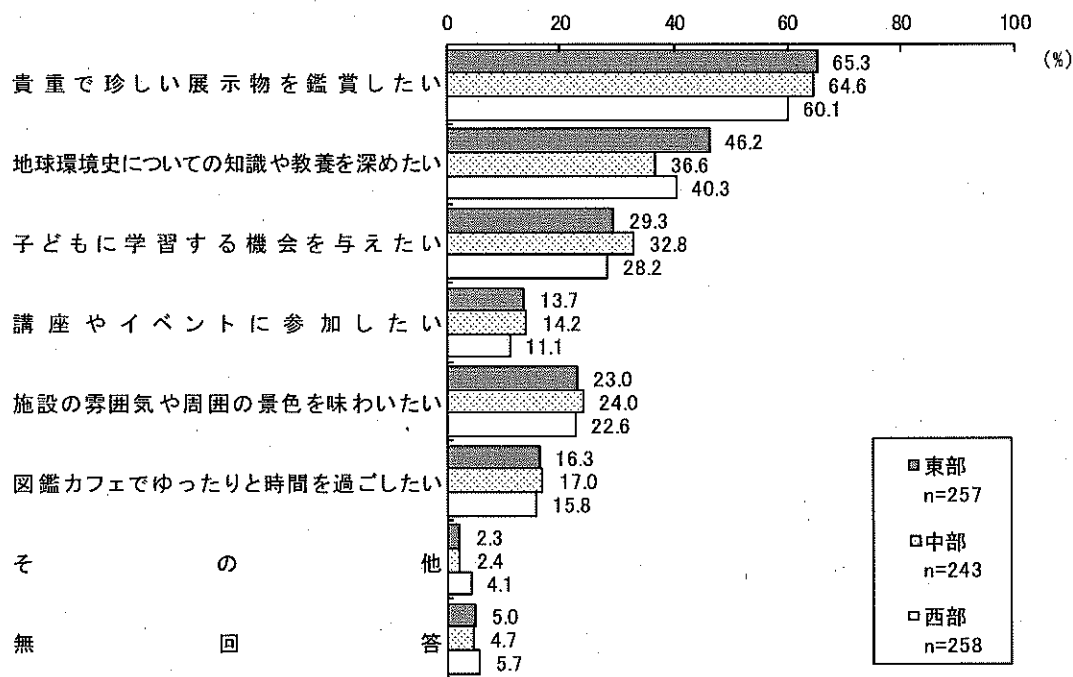




<地区別>

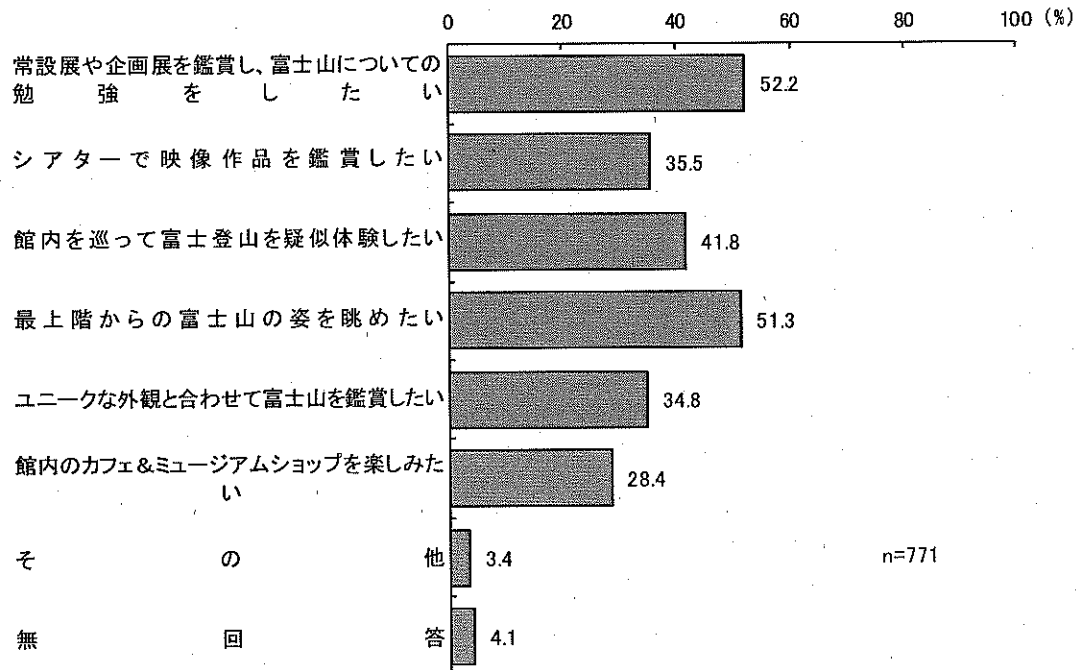
地区別でみると、いずれの地区も「貴重で珍しい展示物を鑑賞したい」が6割超と最も高く、地区による大きな差は見られない。

【図3-10-ii 地区別「ふじのくに地球環境史ミュージアム」への期待】



3-11 「静岡県富士山世界遺産センター」への期待

問27 あなたが静岡県富士山世界遺産センターに行くとしたら、主にどのようなことを期待して行きますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



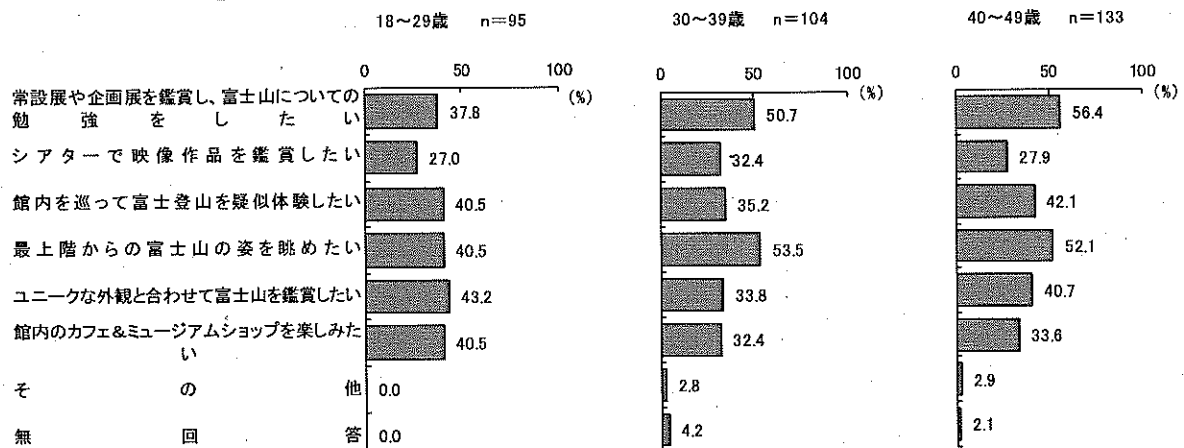
<全体>

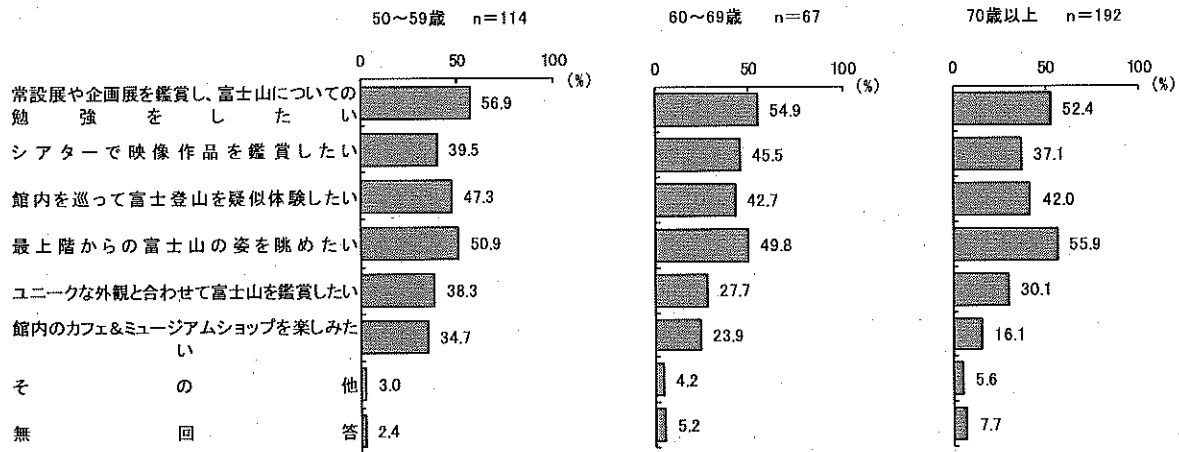
静岡県富士山世界遺産センターに期待していることとして、「常設展や企画展を鑑賞し、富士山についての勉強をしたい」が52.2%で最も高く、次いで「最上階からの富士山の姿を眺めたい」が51.3%となっている。

<年代別>

年代別で見ると、40～49歳、50～59歳、60～69歳は「常設展や企画展を鑑賞し、富士山についての勉強をしたい」、30～39歳、70歳以上は「最上階からの富士山の姿を眺めたい」、18～29歳は「ユニークな外観と合わせて富士山を鑑賞したい」がそれぞれ最も高くなっている。

【図3-11-i 年代別「静岡県富士山世界遺産センター」への期待】

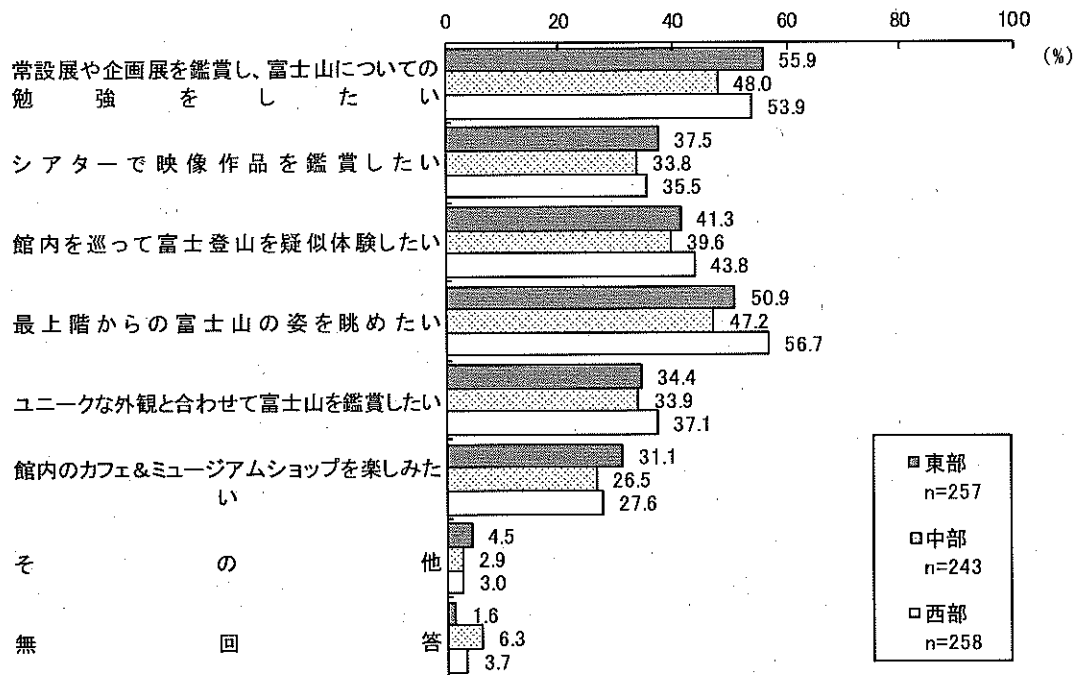




<地区別>

地区別でみると、「最上階からの富士山の姿を眺めたい」が西部地区で56.7%となっており、他の2地区と比べて5ポイント以上上回っている。

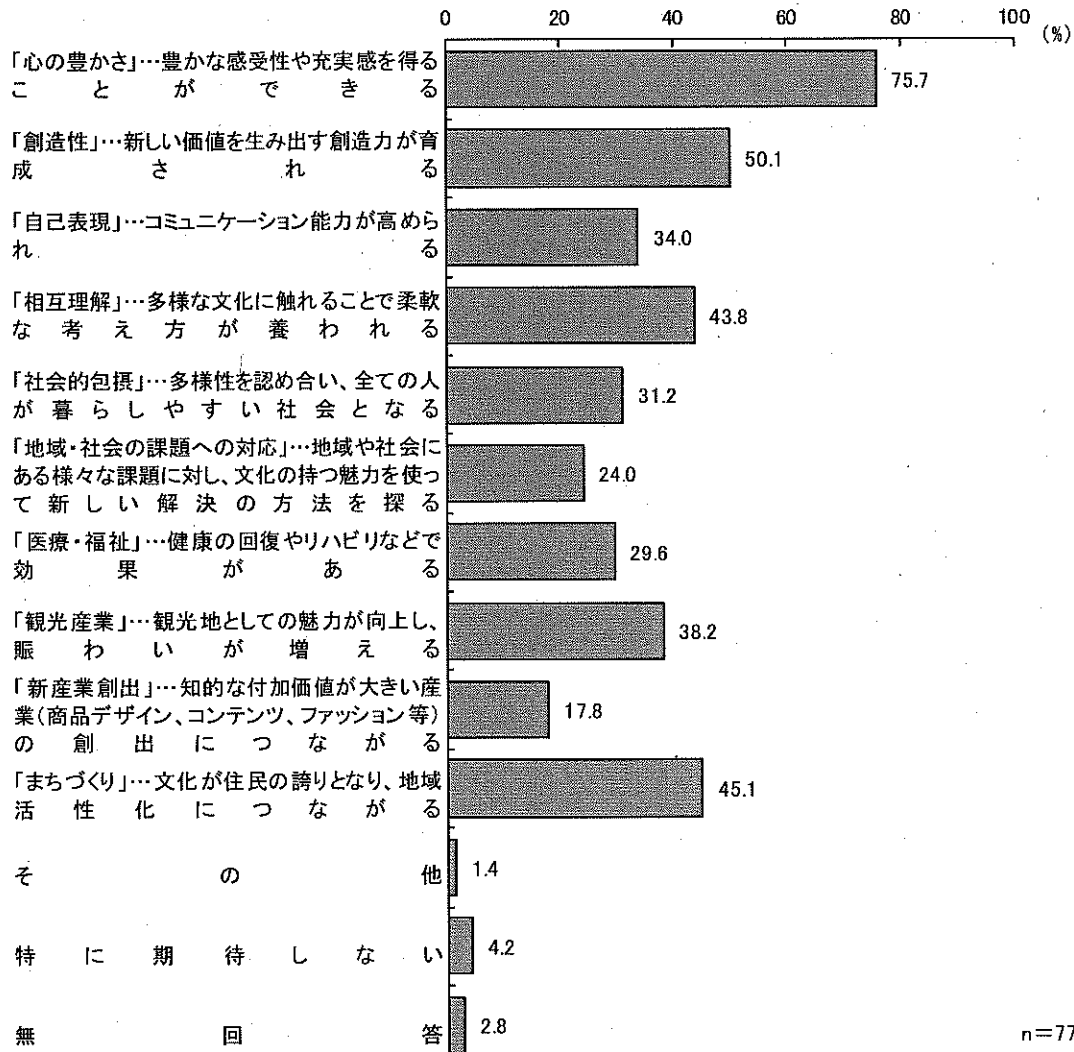
【図3-11-ii 地区別「静岡県富士山世界遺産センター」への期待】



4 静岡県の文化振興について

4-1 文化に期待するもの

問28 次の中で、あなたが文化に期待するものは何ですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図4-1-i 文化に期待するもの】

(%)

【項目】	平成21年度	平成24年度	平成27年度	平成30年度
心の豊かさ	79.9	76.2	77.6	75.7
創造性	48.9	48.4	53.7	50.1
自己表現	34.1	33.5	32.6	34.0
相互理解	47.4	44.8	46.8	43.8
社会的包摂	-	-	28.5	31.2
地域・社会の課題への対応	-	-	-	24.0
医療・福祉	29.8	25.9	29.5	29.6
観光産業	34.6	39.9	36.9	38.2
新産業創出	16.2	19.6	20.3	17.8
まちづくり	49.2	48.9	44.1	45.1
その他	1.2	0.8	1.1	1.4
特に期待しない	2.5	4.1	4.3	4.2
無回答	2.2	1.1	2.7	2.8

<全体>

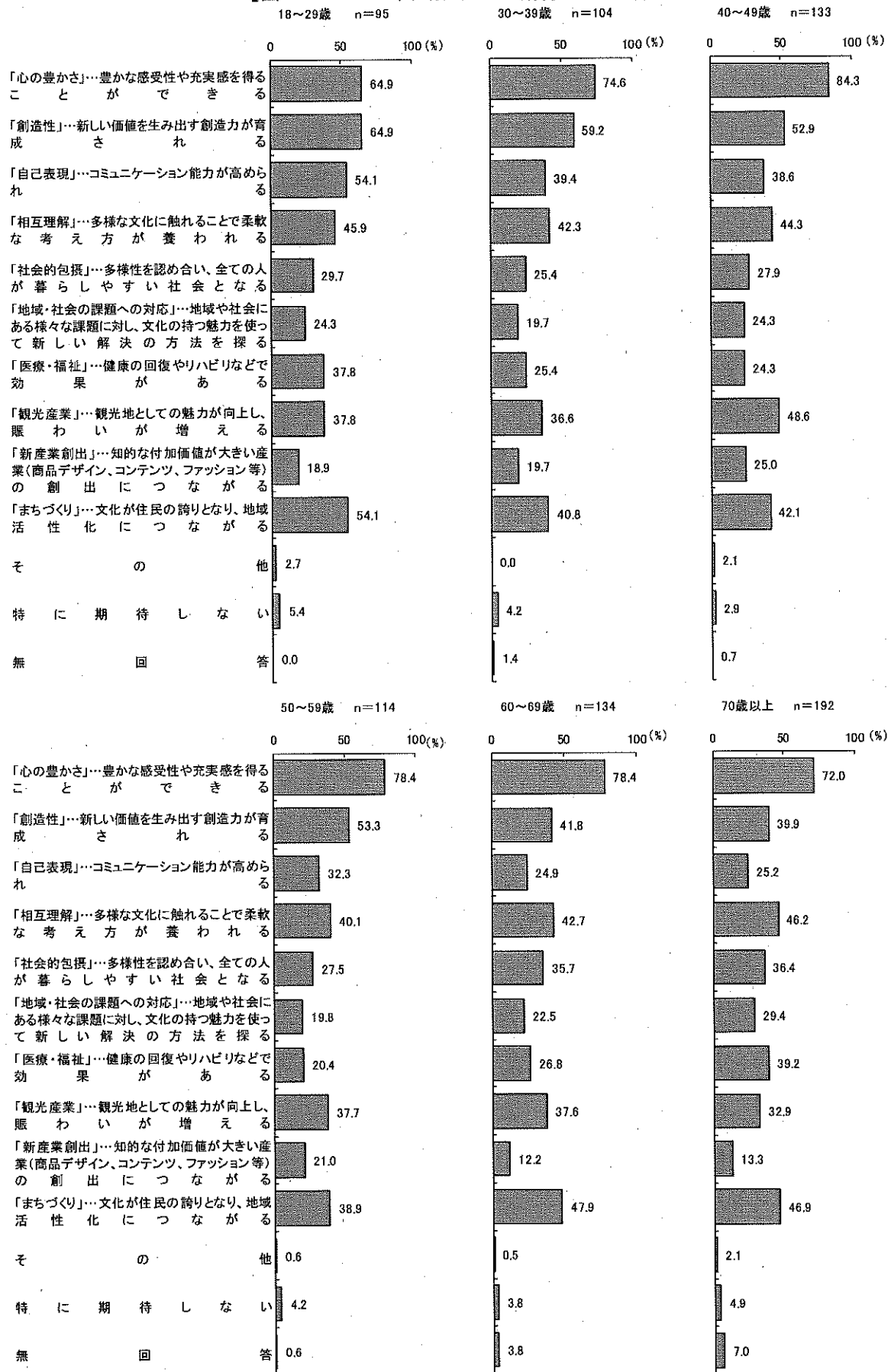
文化に期待するものとして最も割合が高いのは、「心の豊かさ」で75.7%と7割を超えている。次いで「創造性」が50.1%、「まちづくり」が45.1%、「相互理解」が43.8%の順となっている。

過去調査と比較すると平成27年度調査より「医療・福祉」がわずかに増加傾向で推移している。

<年代別>

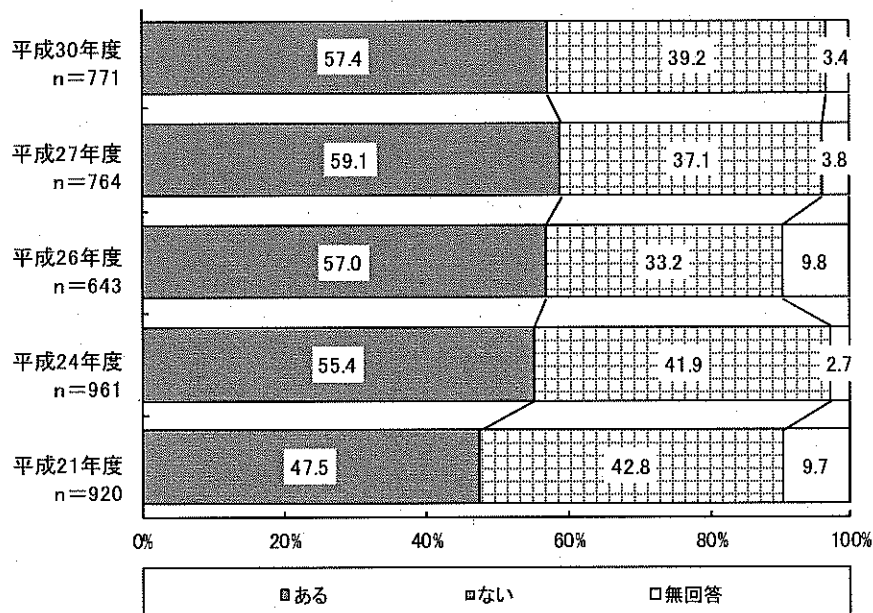
年代別で見ると、いずれの年代も「心の豊かさ」の割合が最も高く、40～49歳では8割を超えている。また、18～29歳では「創造性」も同率で第1位となっている。また、60～69歳、70歳以上は「まちづくり」が第2位と他の年代より順位が高く、年代が上がるにつれてまちづくりにおける文化への期待が高まることが伺える。

【図4-1-ii 年代別 文化に期待するもの】



4-2 地域の誇りだと感じられる文化資源の有無

問29 あなたのお住まいの地域には、あなた自身が誇りに思う、よその地域の方に紹介したくなる文化資源（独特の文化活動、歴史的な文化遺産や祭・芸能、その地域ならではの景観や食文化など）がありますか。



<全体>

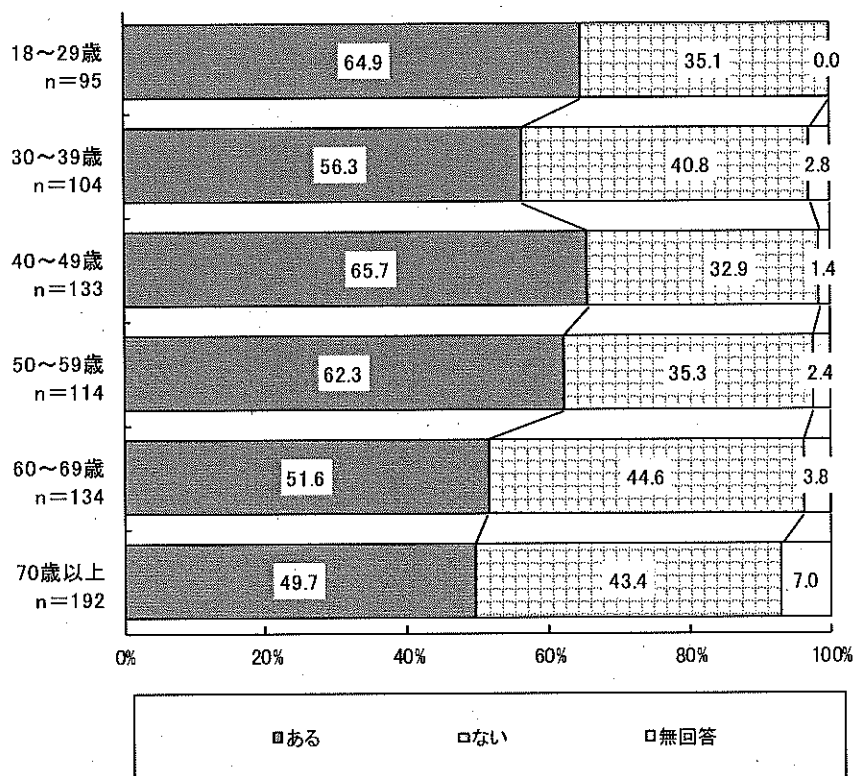
現在、住んでいる地域に文化資源が「ある」と回答した割合は57.4%で、「ない」と回答した割合は39.2%であった。

過去の調査と比較すると、「ある」と回答した割合は平成27年度調査の59.1%から1.7ポイント低くなっているが、概ね変化は見られない。

<年代別>

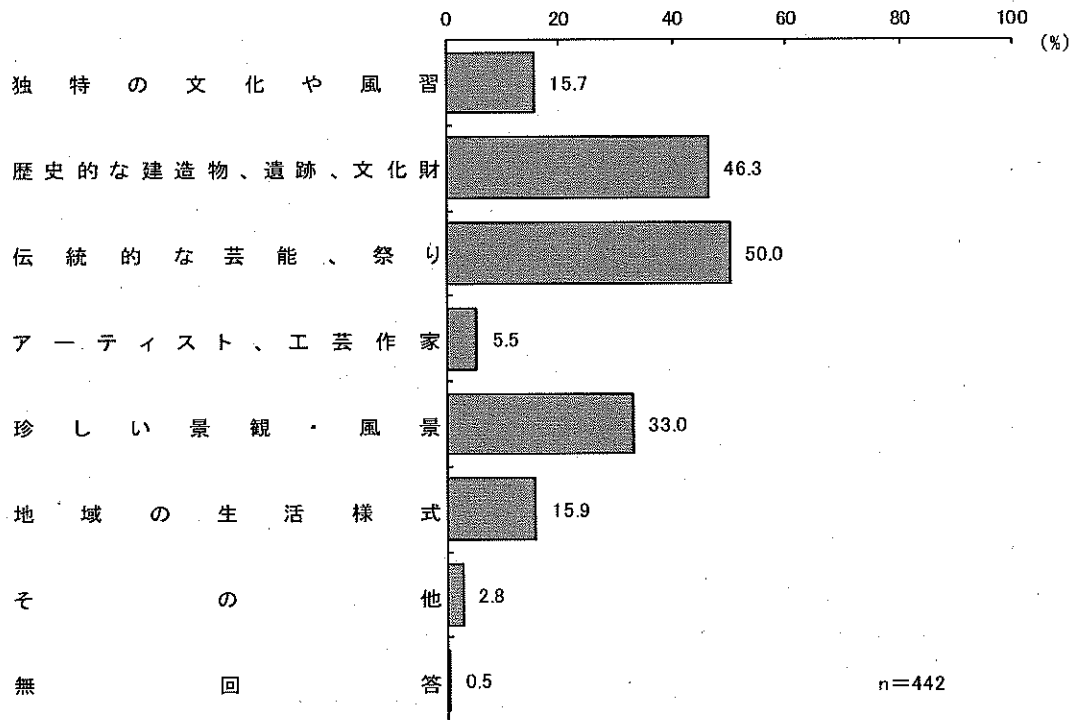
年代別でみると、70歳以上を除くすべての年代で住んでいる地域に文化資源が「ある」と回答した割合が半数を超えている。特に40～49歳は65.7%で他の年代を上回っている。

【図4-2-i 年代別 地域の誇りだと感じられる文化資源の有無】



4-3 地域の誇りだと感じられる文化資源

問30 問29で「1. ある」と回答された方にお聞きます。それはどのようなものですか。次の中から当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図4-3-i 地域の誇りだと感じられる文化資源】

(%)

【項目】	平成21年度	平成24年度	平成26年度	平成27年度	平成30年度
独特の文化や風習	27.7	23.9	17.6	15.6	15.7
歴史的な建造物、遺跡、文化財	65.2	64.9	80.0	47.3	46.3
伝統的な芸能、祭り	-	-	13.2	46.4	50.0
アーティスト、工芸作家	4.8	8.3	4.3	4.1	5.5
珍しい景観・風景	35.5	39.2	35.5	34.7	33.0
地域の生活様式	16.0	15.7	10.7	15.1	15.9
その他	4.1	5.9	2.4	1.5	2.8
無回答	0.5	1.1	0.0	0.4	0.5

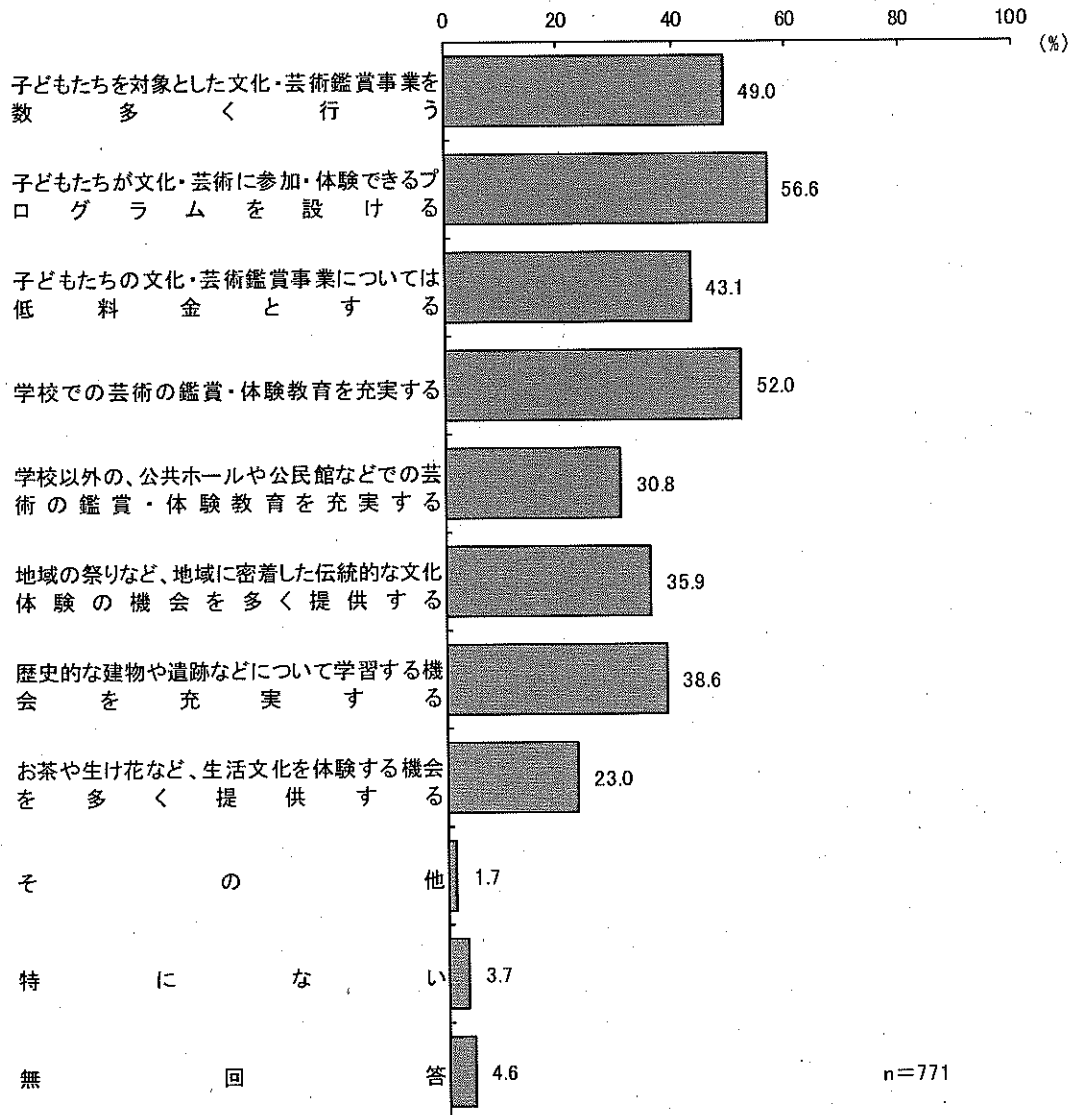
<全体>

地域の誇れる文化が「ある」と回答した人は「伝統的な芸能、祭り」が50.0%で最も高く、次いで「歴史的な建造物、遺跡、文化財」が46.3%で続いている。

過去の調査と比較すると「伝統的な芸能、祭り」が増加傾向で推移しており、平成30年度調査では第1位となっている。

4-4 子どもへの文化・芸術の提供

問31 県では、子どもの頃に様々な文化・芸術に触れる機会の充実を図ることを、重点施策の1つに挙げています。あなたは、子どもたちが文化・芸術に親しむ機会を充実するためには、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。次の中から当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図4-4-1 子どもへの文化・芸術の提供】

(%)

【項目】	平成21年度	平成24年度	平成27年度	平成30年度
子どもたちを対象とした文化・芸術鑑賞事業を数多く行う	42.2	42.0	49.5	49.0
子どもたちが文化・芸術に参加・体験できるプログラムを設ける	67.8	69.4	55.6	56.6
子どもたちの文化・芸術鑑賞事業については低料金とする	42.3	38.9	49.2	43.1
学校での芸術の鑑賞・体験教育を充実する	57.3	61.1	56.7	52.0
学校以外の、公共ホールや公民館などでの芸術の鑑賞・体験教育を充実する	-	-	31.9	30.8
地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化体験の機会を多く提供する	47.0	43.1	36.7	35.9
歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会を充実する	40.2	42.8	43.7	38.6
お茶や生け花など、生活文化を体験する機会を多く提供する	-	-	25.3	23.0
その他	1.8	2.8	3.3	1.7
特になし	1.4	1.9	1.5	3.7
わからない	3.4	3.2	4.3	-
無回答	2.9	0.8	3.8	4.6

<全体>

子どもたちが文化・芸術に親しむために、県や市町に期待する第1位は「子どもたちが文化・芸術に参加・体験できるプログラムを設ける」で56.6%、次いで「学校での芸術の鑑賞・体験教育を充実する」が52.0%、「子どもたちを対象とした文化・芸術鑑賞事業を数多く行う」が49.0%となっている。

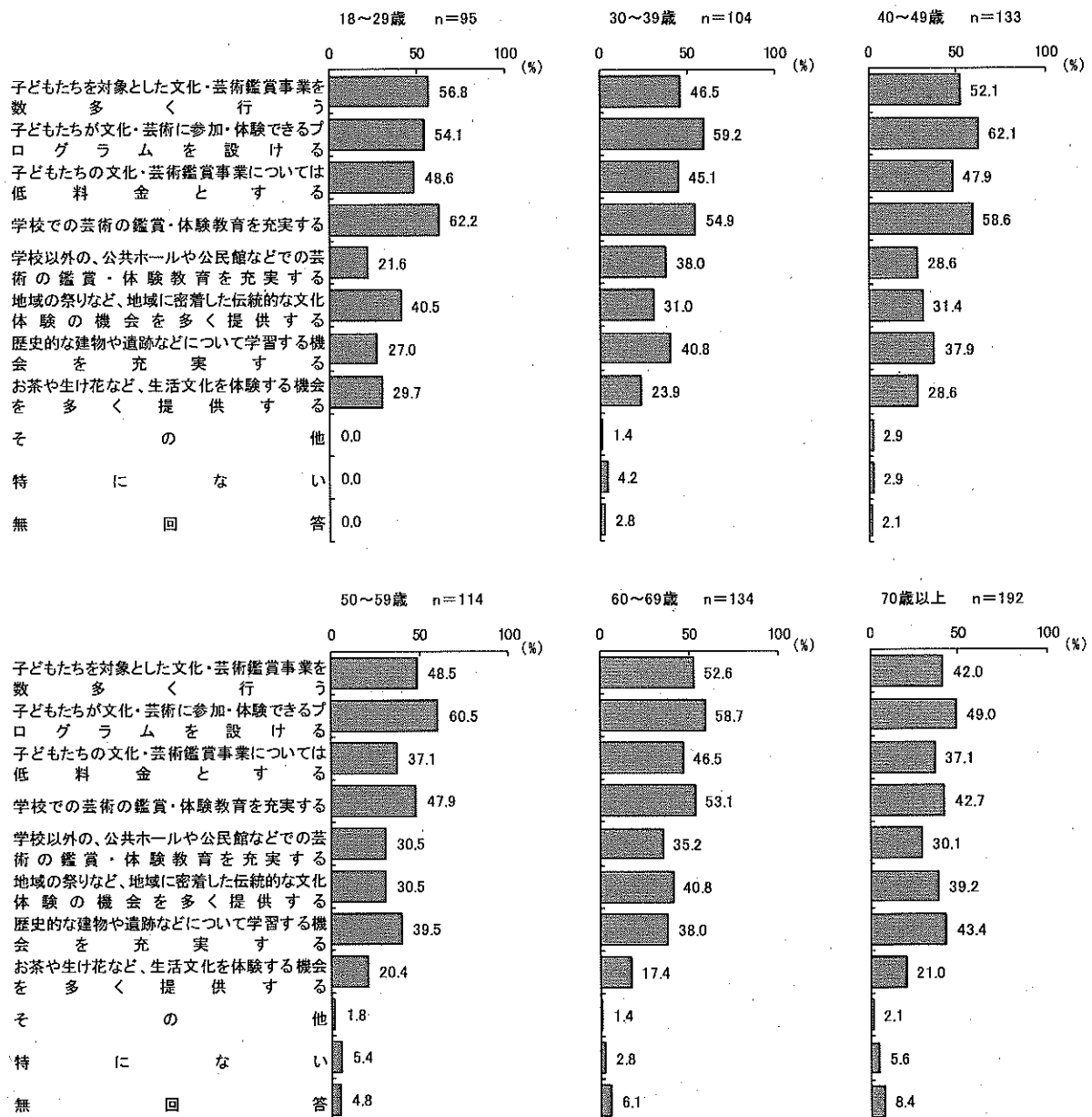
過去の調査と比較すると、「地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化体験の機会を多く提供する」が減少傾向で推移している。

<年代別>

年代別で見ると、18～29歳を除くすべての年代では「子どもたちが文化・芸術に参加・体験できるプログラムを設ける」の割合が最も高く、18～29歳では「学校での芸術の鑑賞・体験教育を充実する」の割合が最も高くなっている。

また、「歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会を充実する」は18～29歳で27.0%と他の年代と比べて10ポイント以上下回っている。

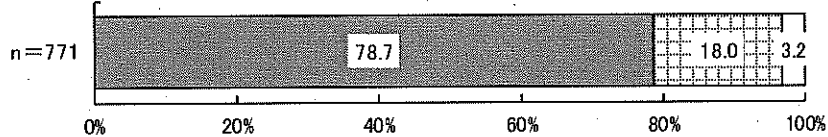
【図4-4-ii 年代別 子どもへの文化・芸術の提供】



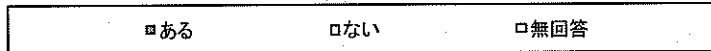
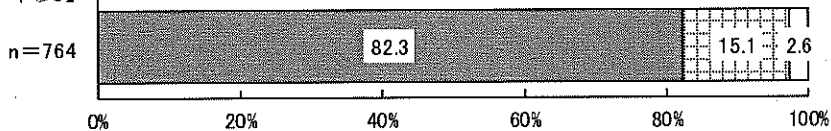
4-5 災害発生後の文化の役割の有無

問32 あなたは、災害(地震、津波、水害等)発生後において、文化・芸術が果たす役割があると考えますか。

【平成30年度】



【平成27年度】



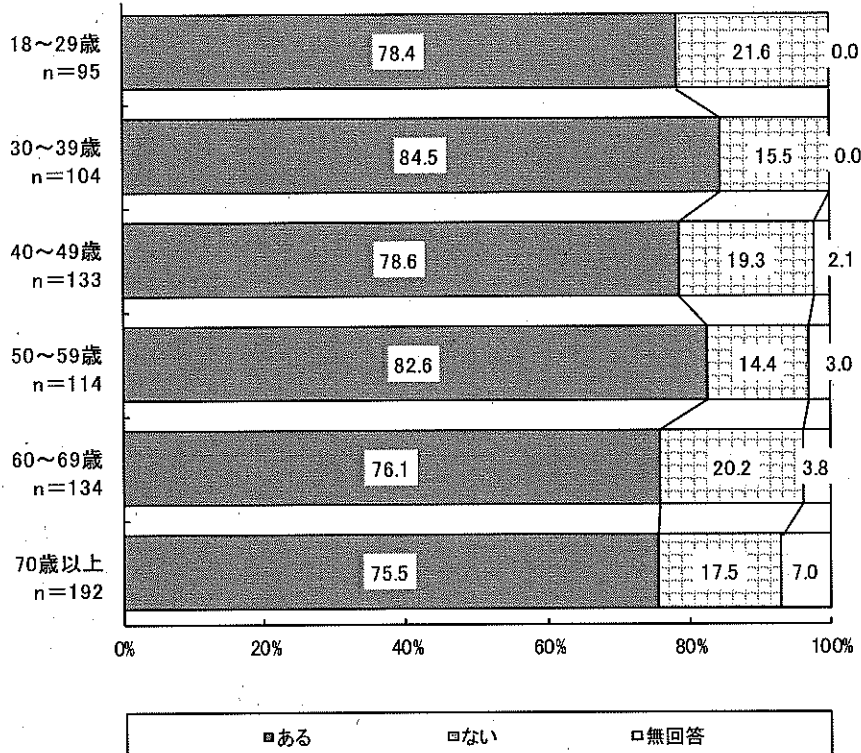
<全体>

災害(地震、津波、水害等)発生後において、文化・芸術が果たす役割が「ある」と回答した割合は78.7%で、「ない」と回答した割合は18.0%であった。

<年代別>

いずれの年代でも「ある」が7割超と大半を占めている。特に30~39歳、50~59歳は8割超となり、他の年代を上回っている。

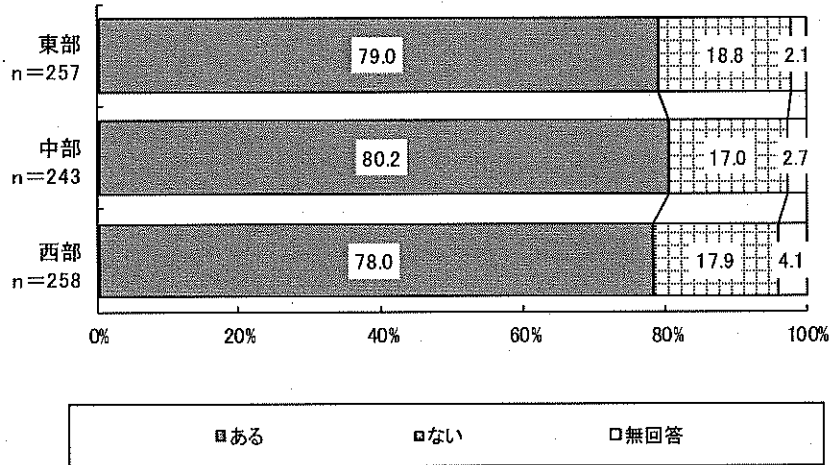
【図4-5-1 年代別 災害発生後の文化の役割の有無】



<地区別>

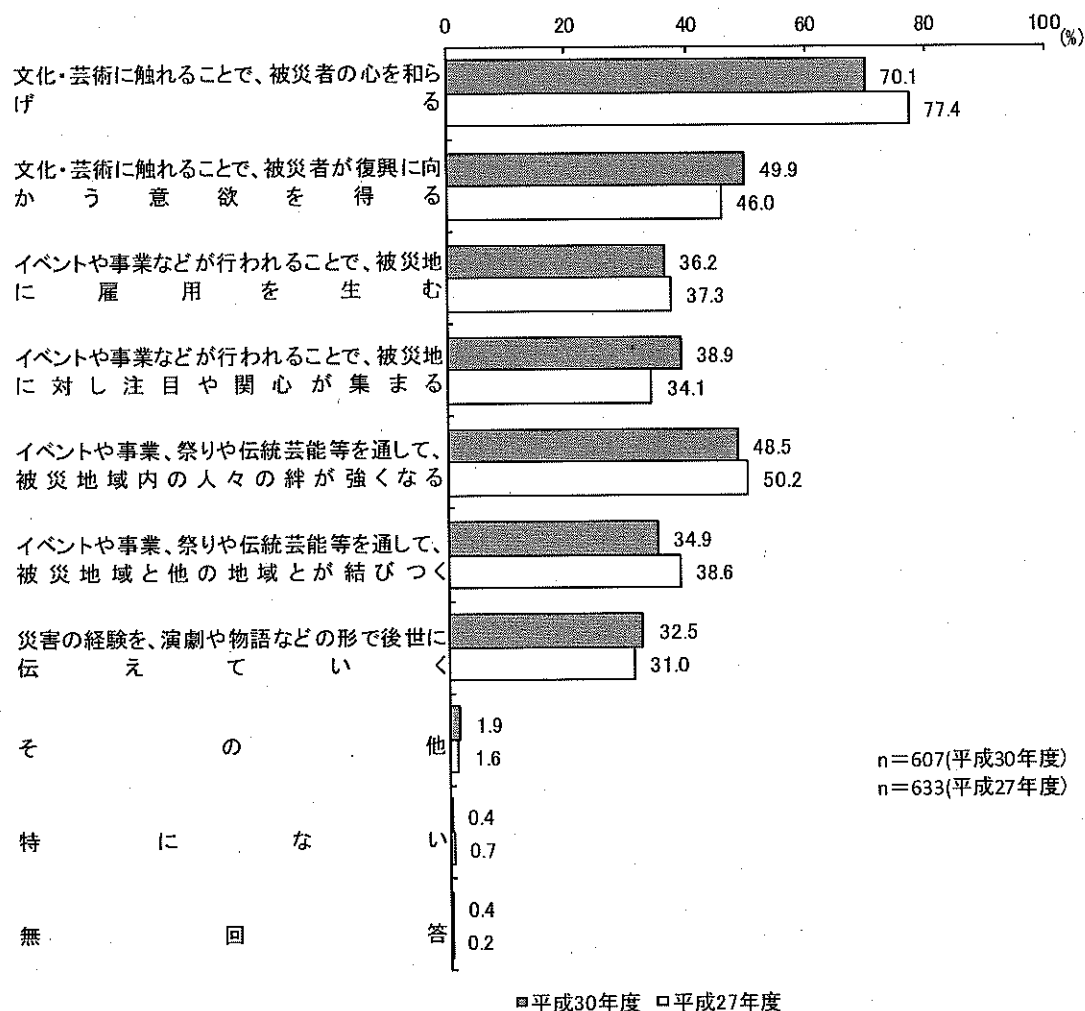
いずれの地区も「ある」が大半を占めており、地区による大きな差は見られない。

【図4-5-ii 地区別 災害発生後の文化の役割の有無】



4-6 災害発生後の文化の役割

問33 問32で「1. ある」と回答された方にお聞きします。文化・芸術は、どのような役割を果たすと考えますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



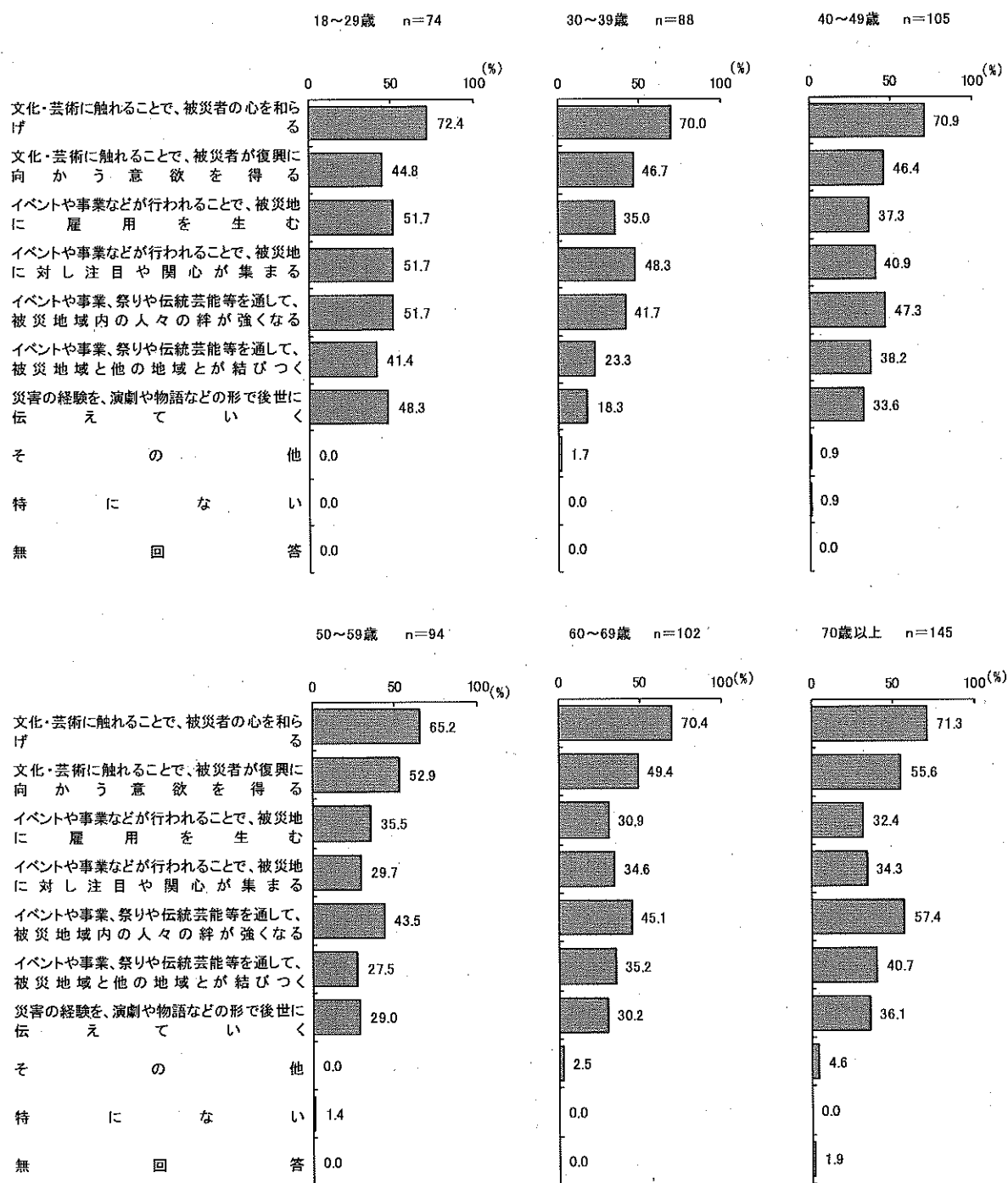
<全体>

災害発生後において、文化・芸術が果たす役割が「ある」と回答した人の第1位は、「文化・芸術に触れることで、被災者の心を和らげる」の70.1%で他の項目を20ポイント以上上回っている。次いで「文化・芸術に触れることで、被災者が復興に向かう意欲を得る」が49.9%、「イベントや事業、祭りや伝統芸能等を通して、被災地内の人々の絆が強くなる」が48.5%となっている。

<年代別>

年代別でみると、いずれの年代も「文化・芸術に触れることで、被災者の心を和らげる」が最も高くなっている。また、「災害の経験を、演劇や物語などの形で後世に伝えていく」が18～29歳で48.3%と、他の年代と比べて10ポイント以上上回っている。

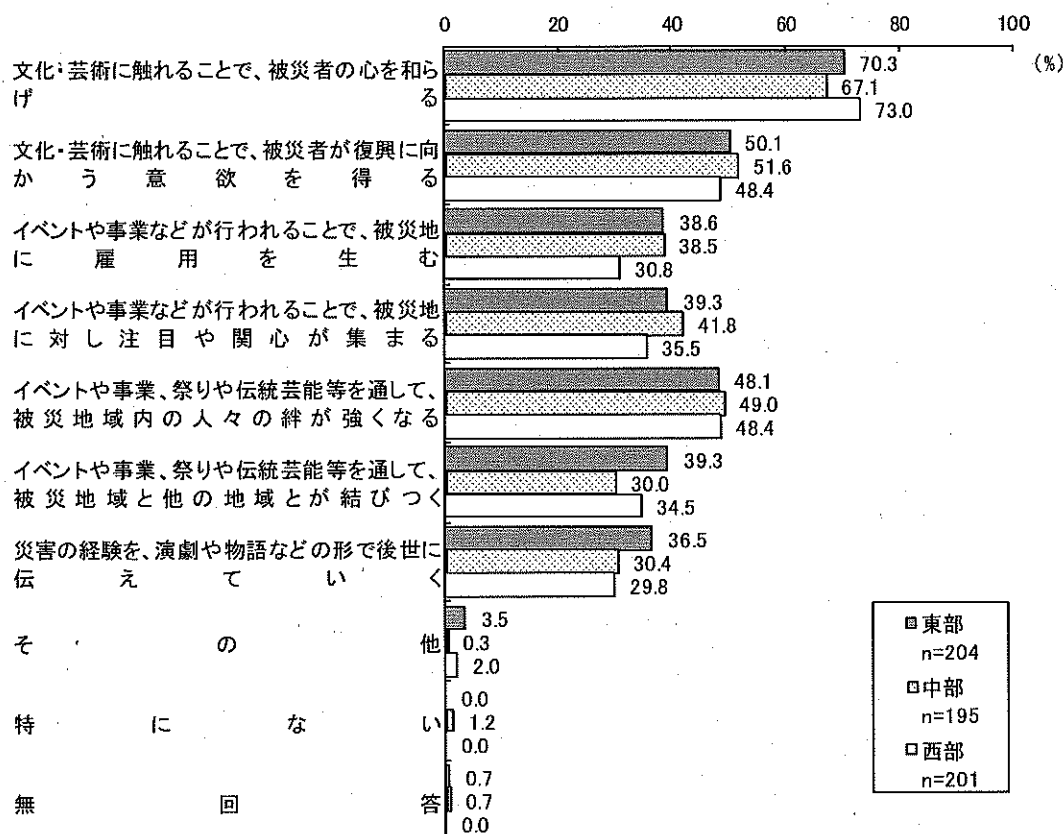
【図4-6-i 年代別 災害発生後の文化の役割】



<地区別>

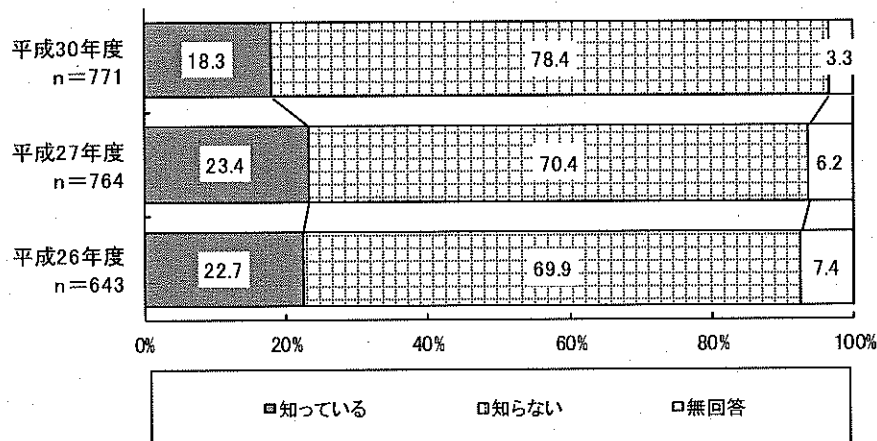
いずれの地区も「文化・芸術に触れることで、被災者の心を和らげる」が最も高く7割前後を占め、地区による大きな差は見られない。

【図4-6-ii 地区別 災害発生後の文化の役割】



4-7 オリンピック・パラリンピック文化プログラムの認知度

問34 2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。オリンピック・パラリンピックは、スポーツのイメージが強い祭典ですが、同時に、文化の祭典として各地域で様々な文化イベント(文化プログラム)が行われていることを知っていますか。



<全体>

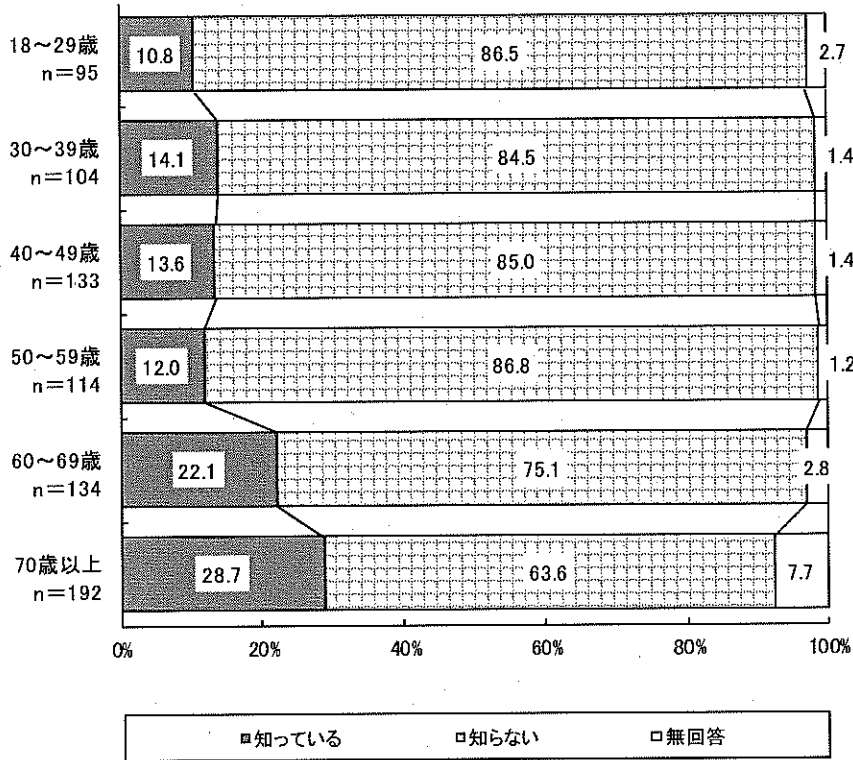
2020年東京オリンピック・パラリンピック開催の際に、各地域で様々な文化イベントが行われることへの認知については、「知っている」が18.3%、「知らない」が78.4%で、認知度は2割を下回っている。

過去の調査との比較では、「知っている」が平成27年度調査から5.1ポイント減少している。

<年代別>

年代別でみると、「知っている」は70歳以上で28.7%と最も高く、次いで60～69歳が22.1%でともに2割超と他の年代よりも高い割合となっている。

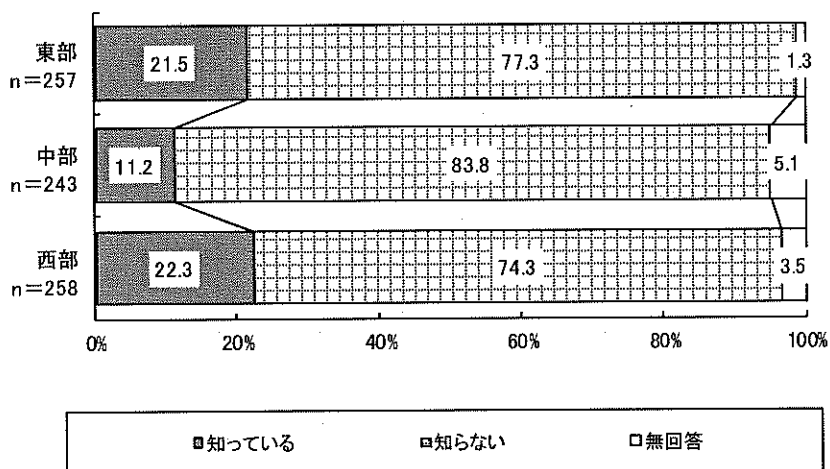
【図4-7-i 年代別 オリンピック・パラリンピック文化プログラムの認知度】



<地区別>

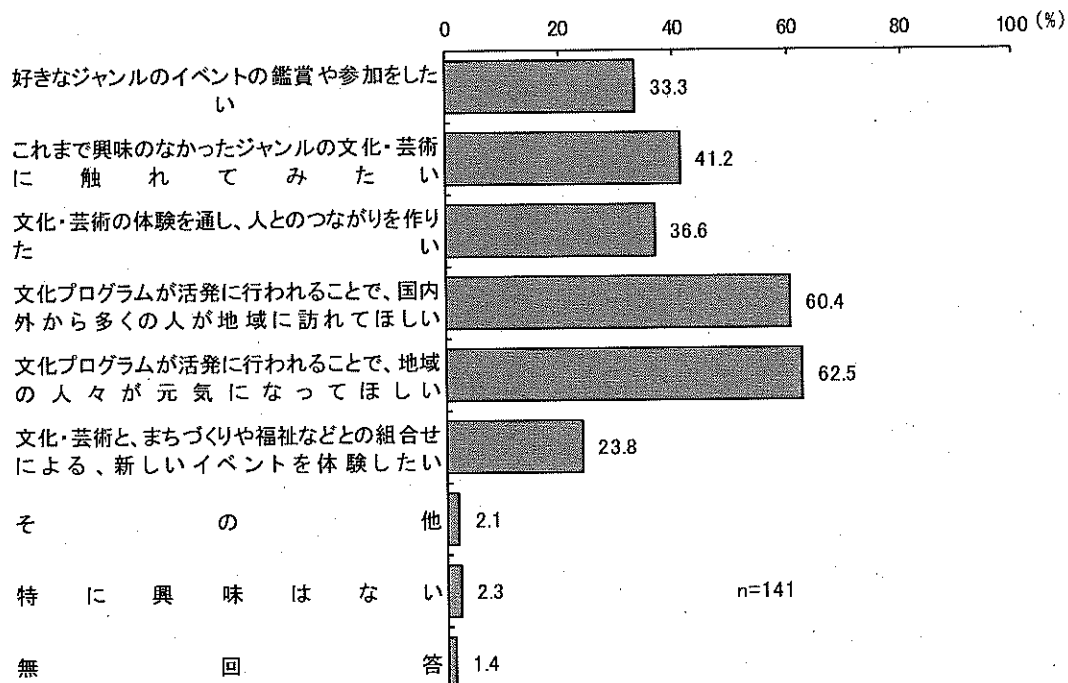
地区別でみると、「知っている」は中部地区で11.2%と他の2地区と比べて10ポイント以上下回っている。

【図4-7-ii 地区別 オリンピック・パラリンピック文化プログラムの認知度】



4-8 オリンピック・パラリンピック文化プログラムへの期待

問35 問34で「1. 知っている」と回答された方にお聞きます。次の中で、あなたが静岡県内で行われる文化プログラムに期待するものは何ですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



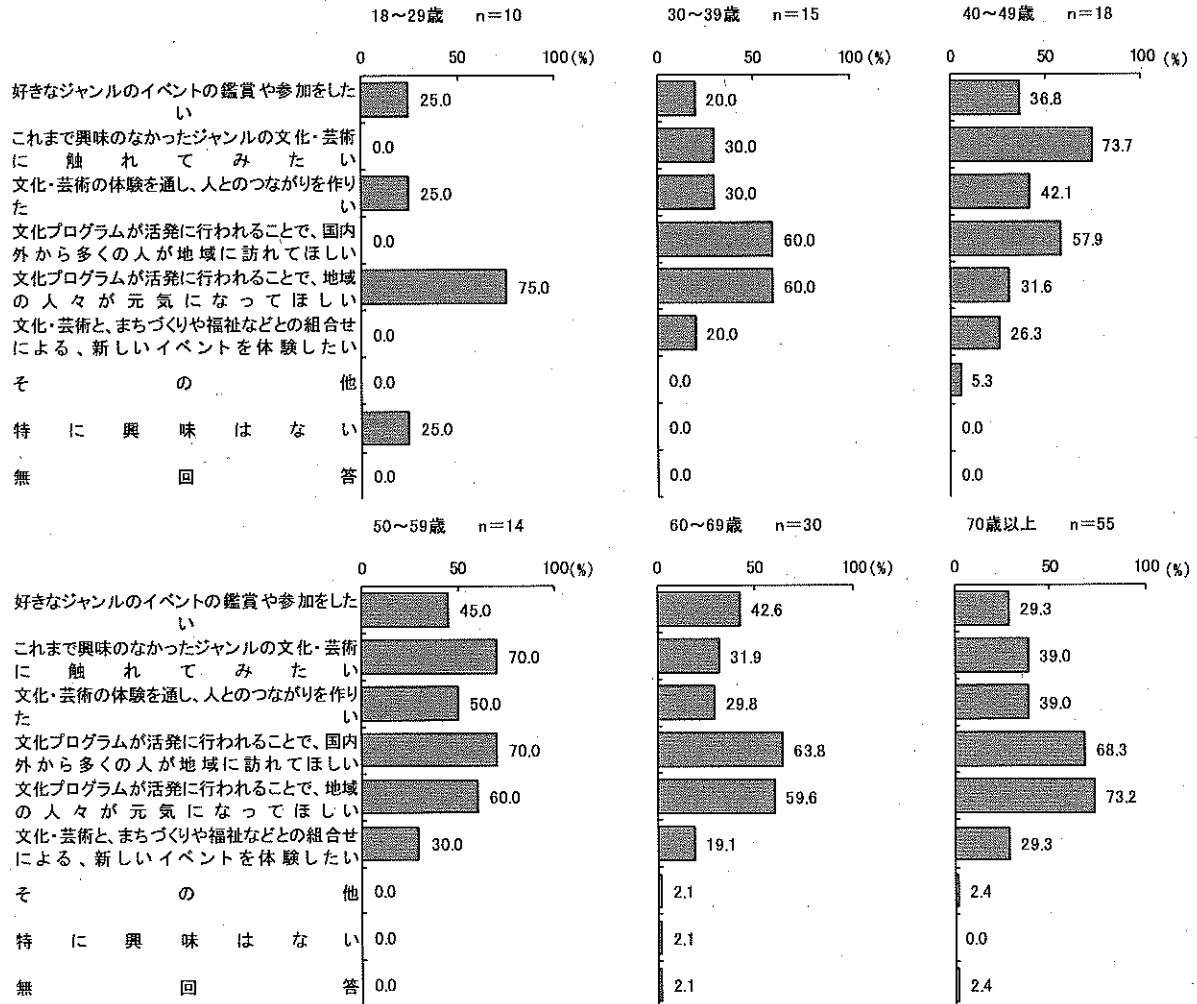
<全体>

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催の際に、各地域で様々な文化イベントが行われることへの認知について「知っている」と回答した人が静岡県内で行われる文化プログラムに期待することは、「文化プログラムが活発に行われることで、地域の人々が元気になってほしい」の62.5%が最も高く、次いで「文化プログラムが活発に行われることで、国内外から多くの人々が地域を訪れてほしい」が60.4%でともに6割超と他の項目より比較的高くなっている。

<年代別>

年代別については回答数が少ないため、グラフのみを貼付する。

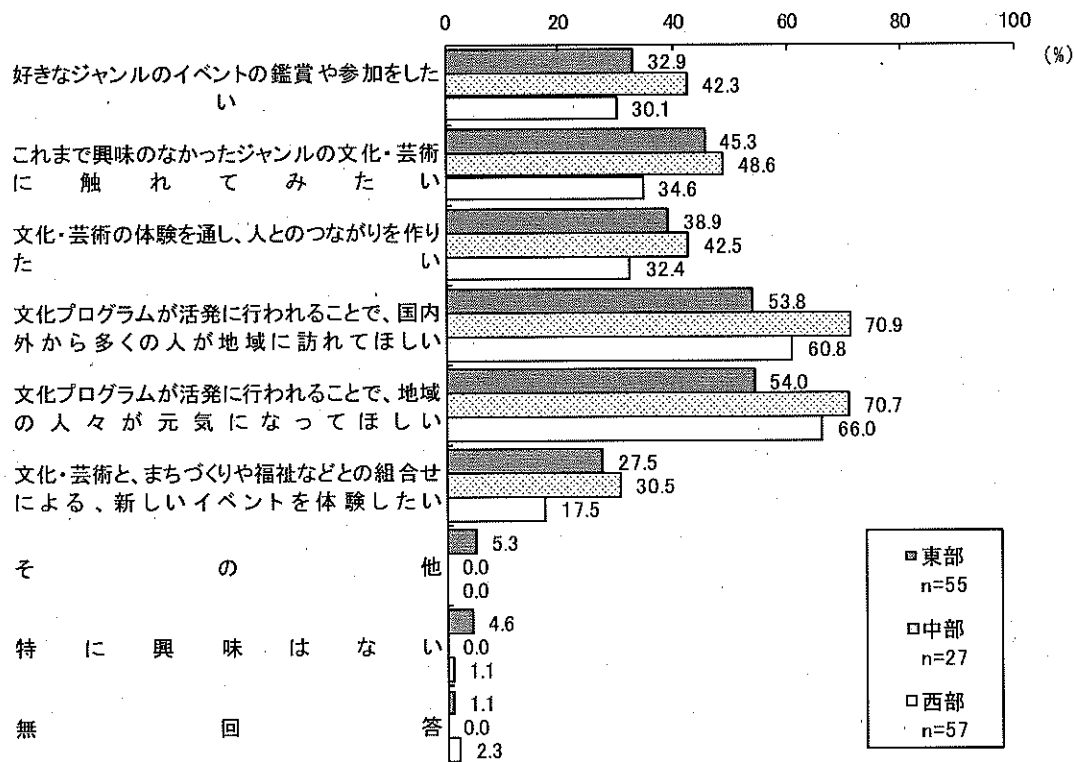
【図4-8-i 年代別 オリンピック・パラリンピック文化プログラムへの期待】



<地区別>

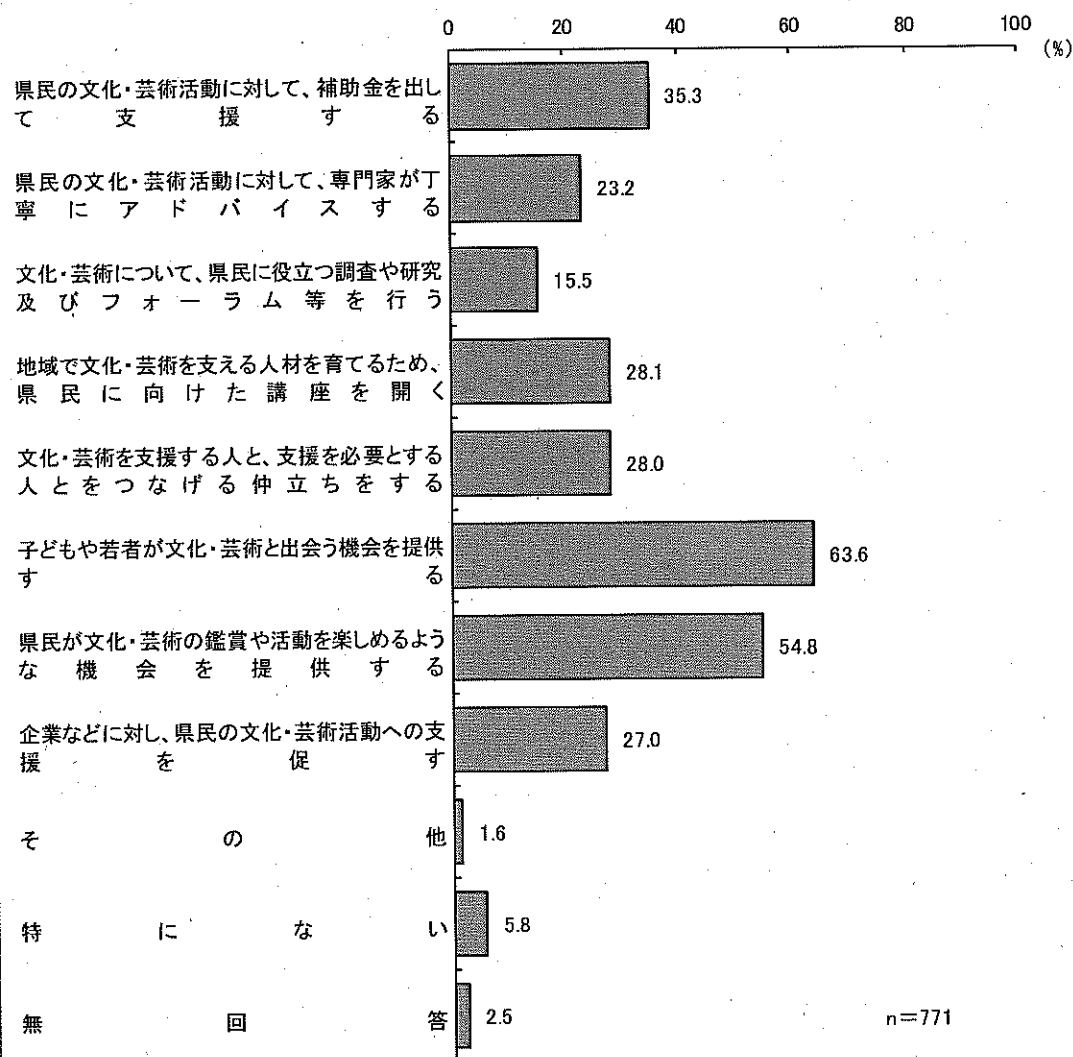
地区別でみると、「文化プログラムが活発に行われることで、地域の人々が元気になってほしい」と「文化プログラムが活発に行われることで、国内外から多くの人々が地域を訪れてほしい」はともに中部地区が最も高く、次いで西部地区となっている。また、この2項目以外では西部地区が他の2地区に比べて低くなっている。

【図4-8-ii 地区別 オリンピック・パラリンピック文化プログラムへの期待】



4-9 文化・芸術振興のために、県へ期待すること

問36 あなたは、文化・芸術振興のため、県は今後どのようなことに力を入れていべきと考えますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



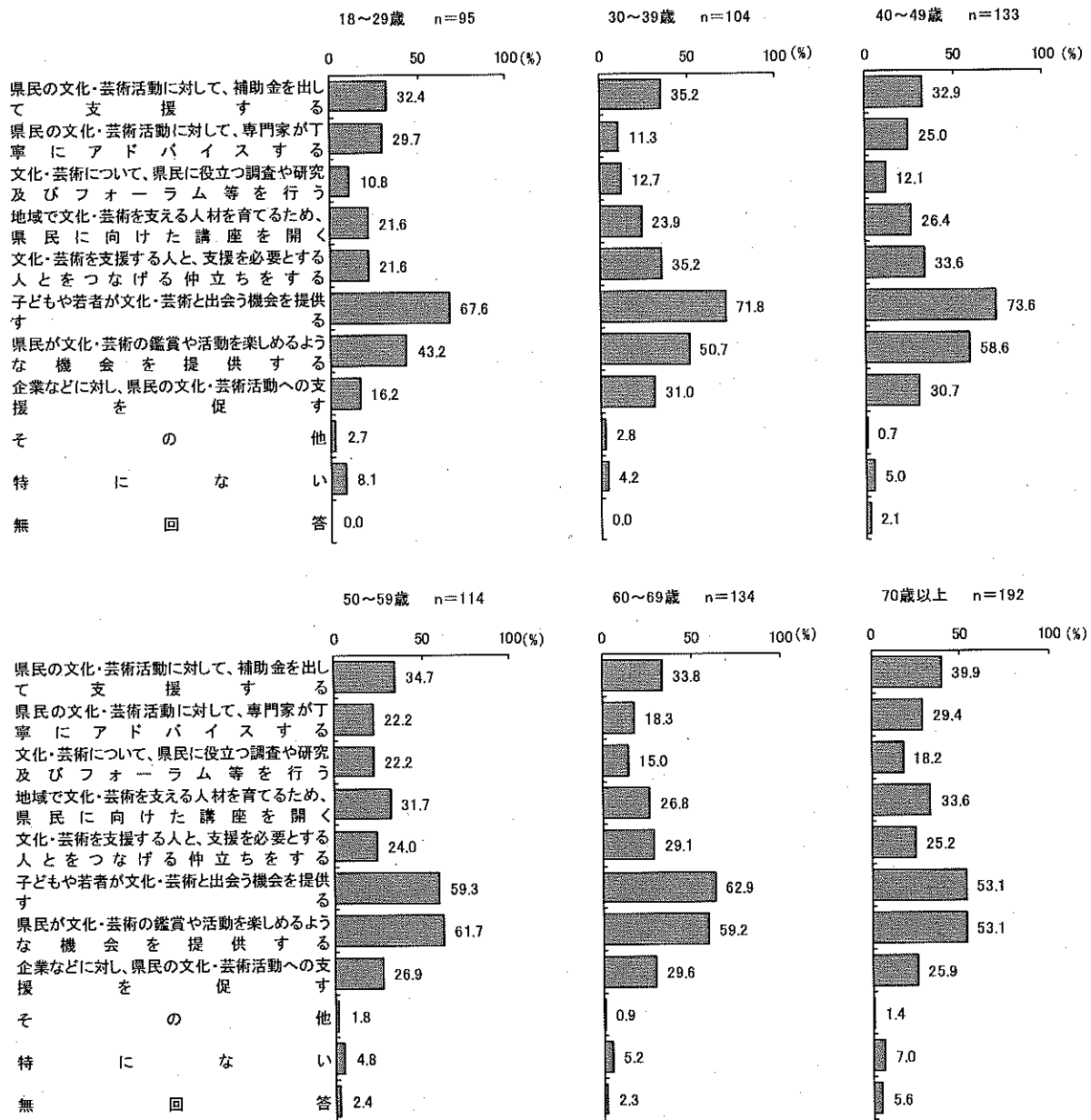
<全体>

文化・芸術振興のために、県に期待する第1位は「子どもや若者が文化・芸術と出会う機会を提供する」が63.6%で最も高く、次いで「県民が文化・芸術の鑑賞や活動を楽しめるような機会を提供する」が54.8%でこれらが他の項目よりも高くなっている。

<年代別>

年代別でみると、50～59歳、70歳以上以外のすべての年代で「子どもや若者が文化・芸術と出会う機会を提供する」が第1位となっており、中でも30～39歳、40～49歳といった子育て世代では7割超となっている。一方、50～59歳は「県民が文化・芸術の鑑賞や活動を楽しめるような機会を提供する」が第1位となっており、70歳以上では上記2項目が同率1位となっている。

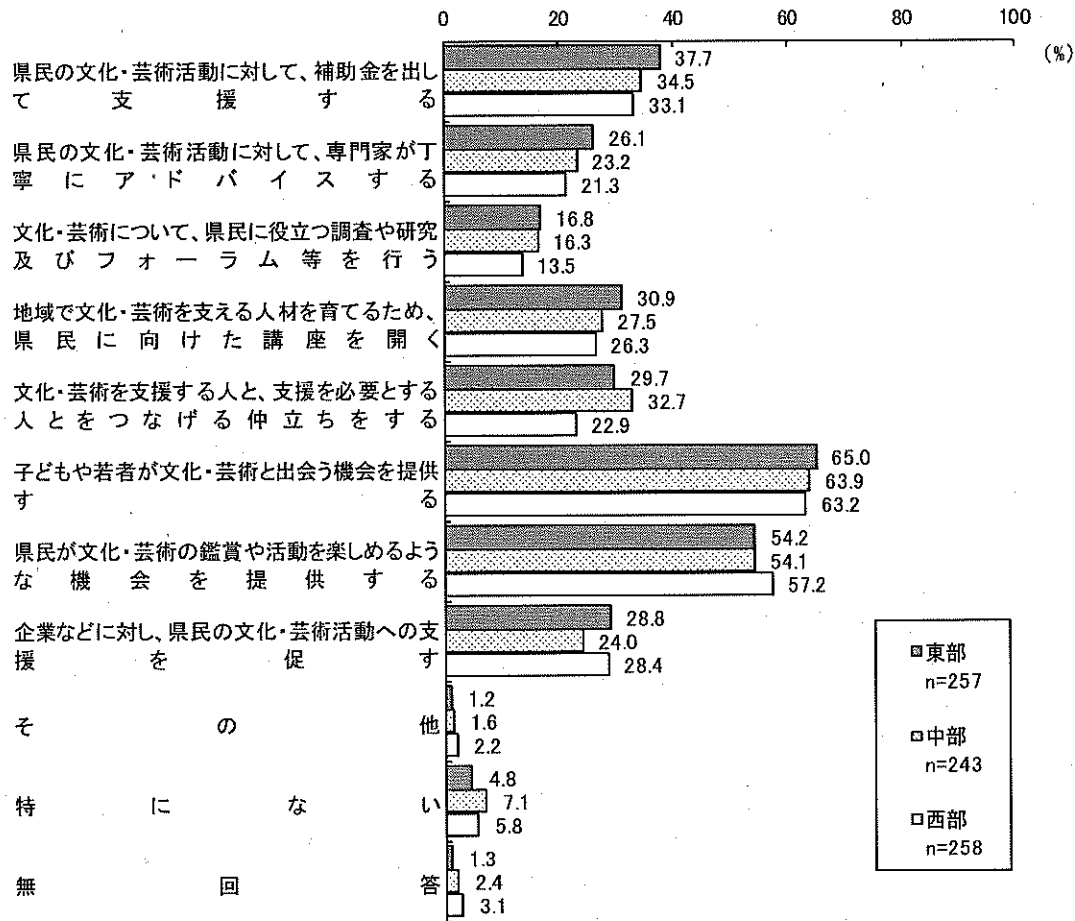
【図4-9-i 年代別 文化・芸術振興のために、県へ期待すること】



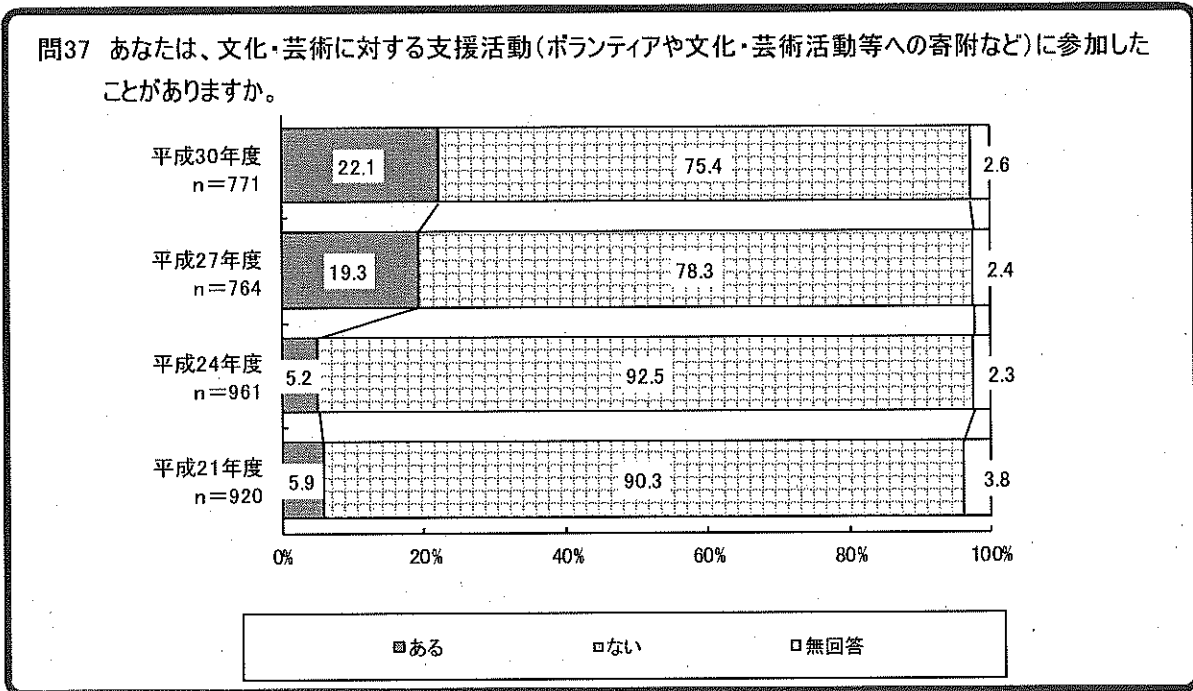
<地区別>

地区別でみると、「子どもや若者が文化・芸術と出会う機会を提供する」がすべての地区で6割超となって最も高く、地区による大きな差は見られない。

【図4-9-ii 地区別 文化・芸術振興のために、県へ期待すること】



4-10 文化・芸術に対する支援活動参加の有無



<全体>

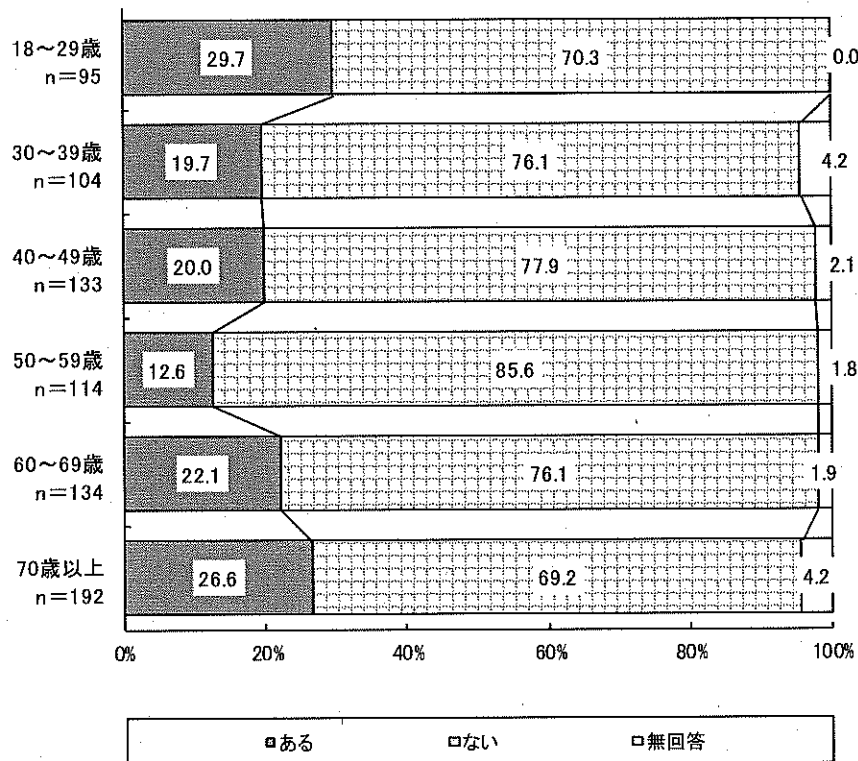
文化・芸術に対する支援活動（文化ボランティアや文化・芸術活動等への寄附など）に参加したことが「ある」は22.1%、「ない」は75.4%となった。

過去の調査と比較すると、「ある」が平成27年度調査より2.8ポイント増加している。

<年代別>

年代別でみると、「ある」が最も高いのは18～29歳で29.7%、次いで70歳以上が26.6%、60～69歳が22.1%となっている。一方、50～59歳は12.6%と他の年代と比べて比較的低い割合となっている。

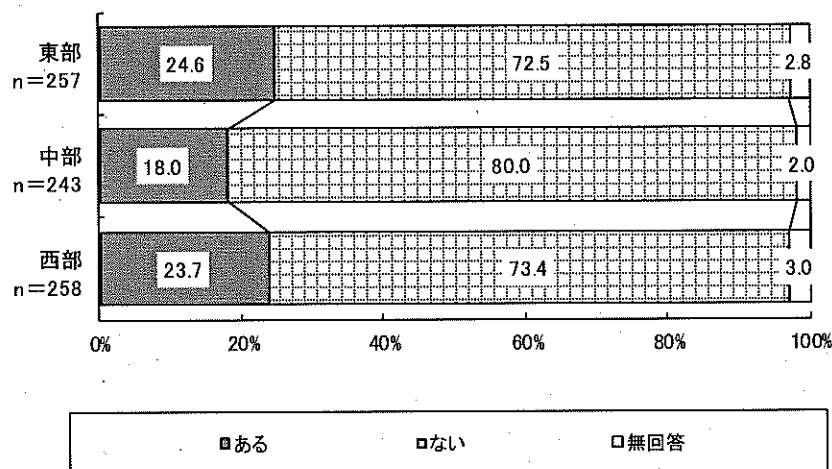
【図4-10-i 年代別 文化・芸術に対する支援活動参加の有無】



<地区別>

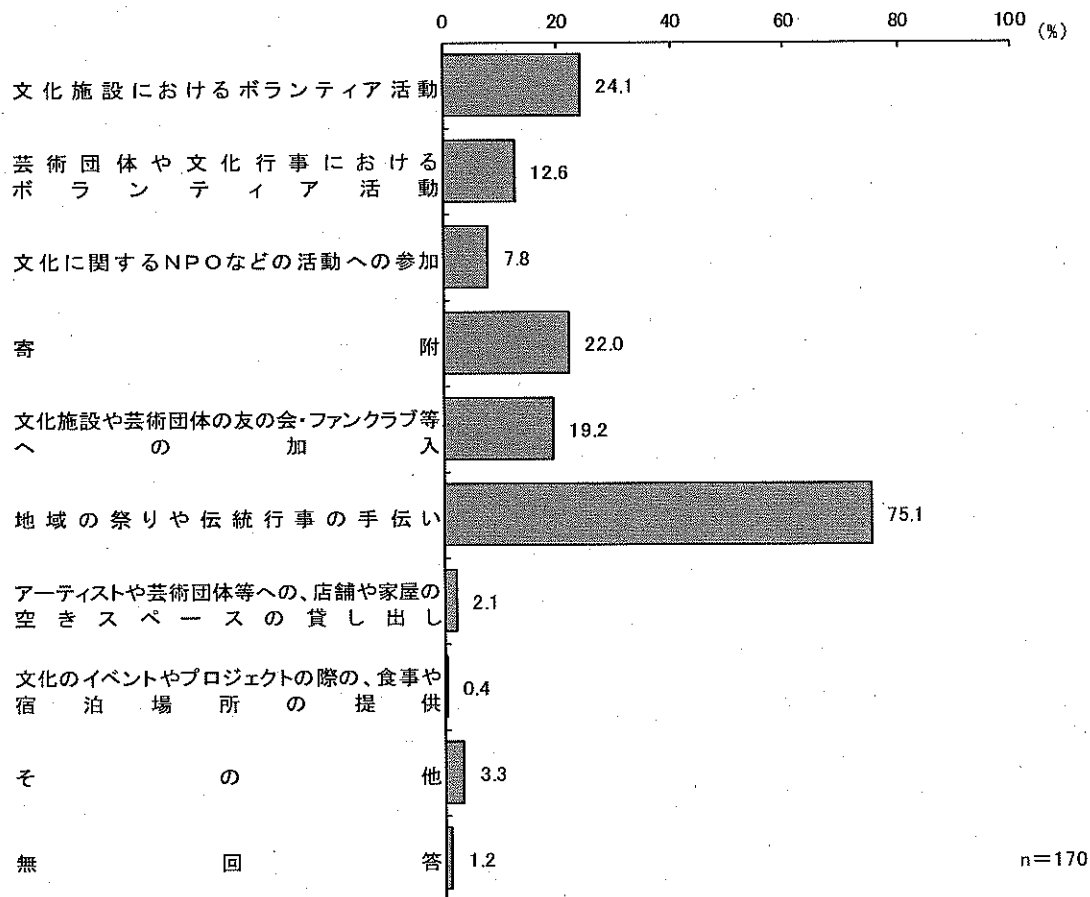
地区別でみると、「ある」が東部地区の24.6%で最も高く、次いで西部地区の23.7%、中部地区の18.0%となっており、中部地区が他の2地区と比べて比較的低くなっている。

【図4-10-ii 地区別 文化・芸術に対する支援活動参加の有無】



4-11 文化・芸術に対する支援活動の内容

問38 問37で「1. ある」と回答された方にお聞きます。あなたが参加した文化に対する支援活動は次のどれですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図4-11-i 文化・芸術に対する支援活動の内容】

【項目】	(%)			
	平成21年度	平成24年度	平成27年度	平成30年度
文化施設におけるボランティア活動	33.3	29.5	14.8	24.1
芸術団体や文化行事におけるボランティア活動	22.2	18.5	12.7	12.6
文化に関するNPOなどの活動への参加	13.0	17.1	10.6	7.8
寄附	31.5	31.3	25.1	22.0
文化施設や芸術団体の友の会・ファンクラブ等への加入	35.2	35.4	17.8	19.2
地域の祭りや伝統行事の手伝い	-	-	70.1	75.1
アーティストや芸術団体等への、店舗や家屋の空きスペースの貸し出し	-	-	1.9	2.1
文化のイベントやプロジェクトの際の、食事や宿泊場所の提供	-	-	3.2	0.4
その他	9.3	6.0	2.1	3.3
無回答	0.0	1.4	0.7	1.2

<全体>

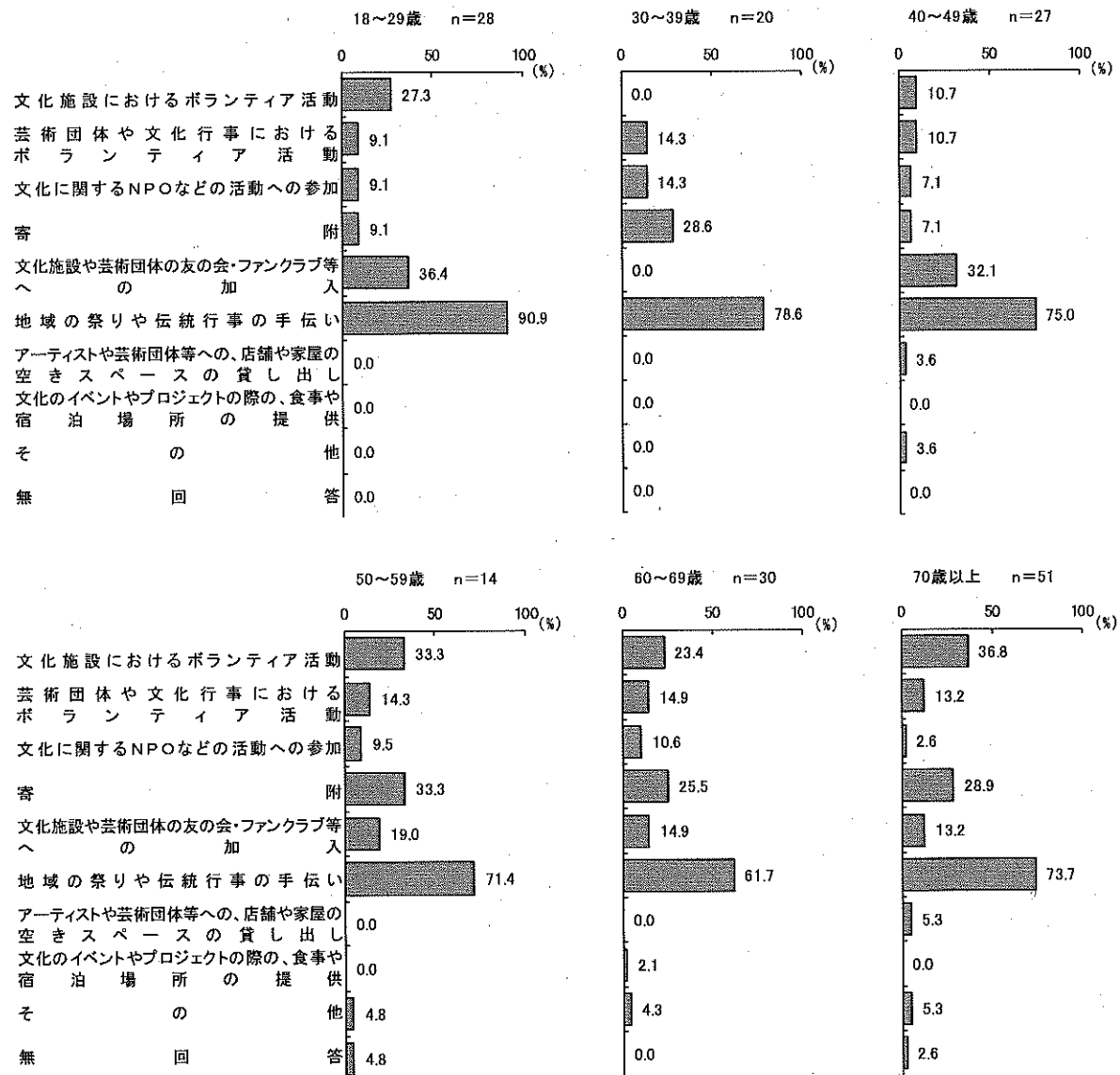
文化・芸術に対する支援活動に参加したことが「ある」人の活動内容の第1位は「地域の祭りや伝統行事の手伝い」が75.1%で他の項目を50ポイント以上大きく上回っている。次いで「文化施設におけるボランティア活動」が24.1%、「寄附」が22.0%となっている。

過去の調査と比較すると、平成27年度調査と比べて「文化施設におけるボランティア活動」「地域の祭りや伝統行事の手伝い」が増加傾向で推移している。一方、「文化に関するNPOなどの活動への参加」「寄附」は減少傾向で推移している。

<年代別>

年代別については回答数が少ないため、グラフのみを貼付する。

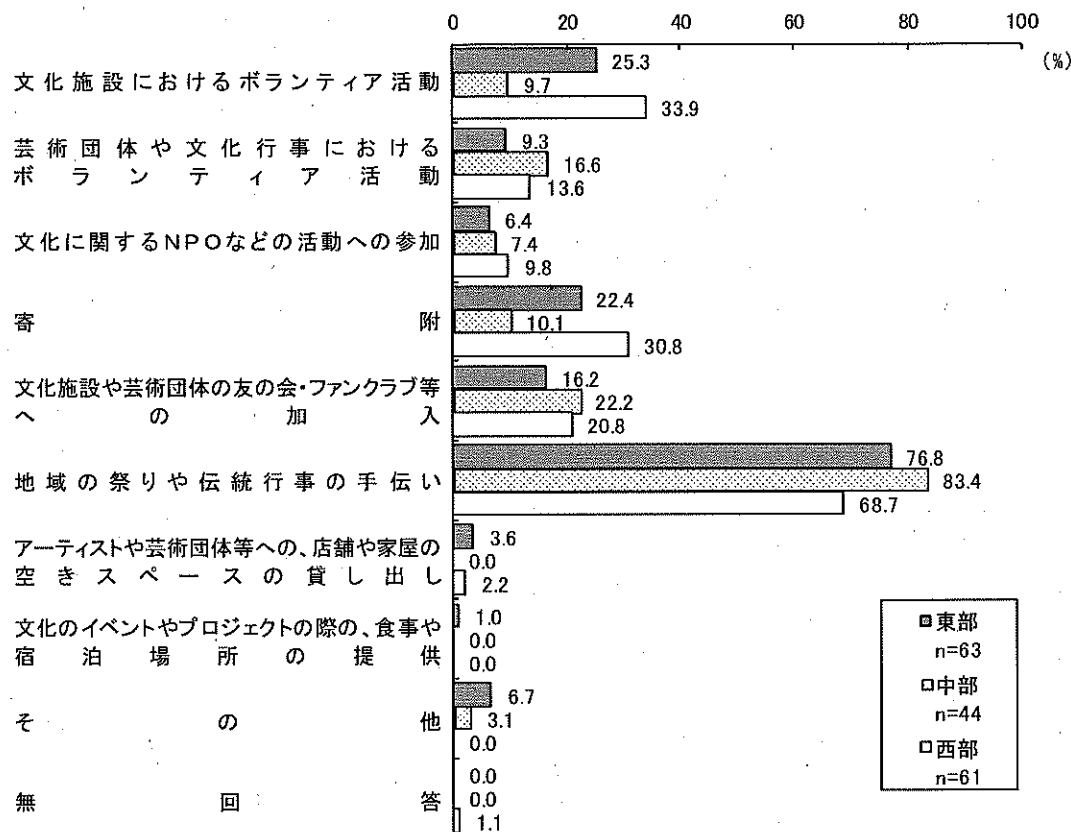
【図4-11-ii 年代別 文化・芸術に対する支援活動の内容】



<地区別>

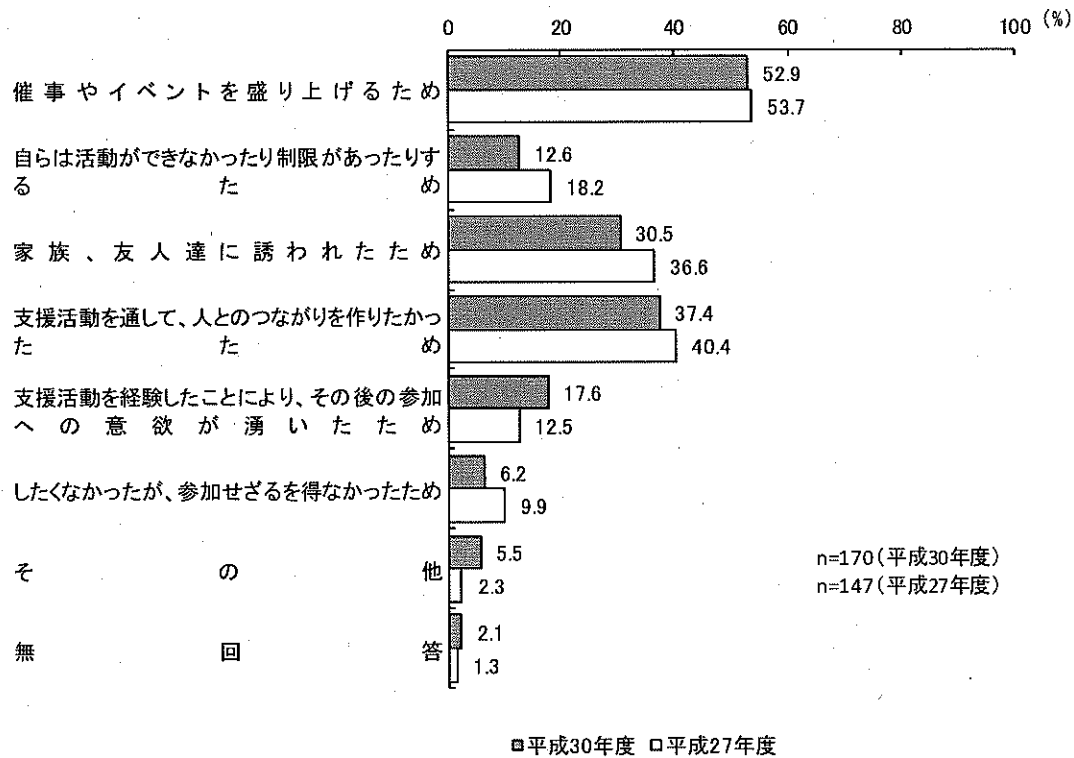
地区別でみると、いずれの地区も第1位は「地域の祭りや伝統行事の手伝い」で突出している。また、「文化施設におけるボランティア活動」「寄附」では中部地区が他の2地区と比べて10ポイント以上回っている。

【図4-11-iii 地区別 文化・芸術に対する支援活動の内容】



4-12 文化・芸術に対する支援活動参加理由

問39 問37で「1. ある」と回答された方にお聞きします。あなたが文化に対する支援活動をする理由は次のどれですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



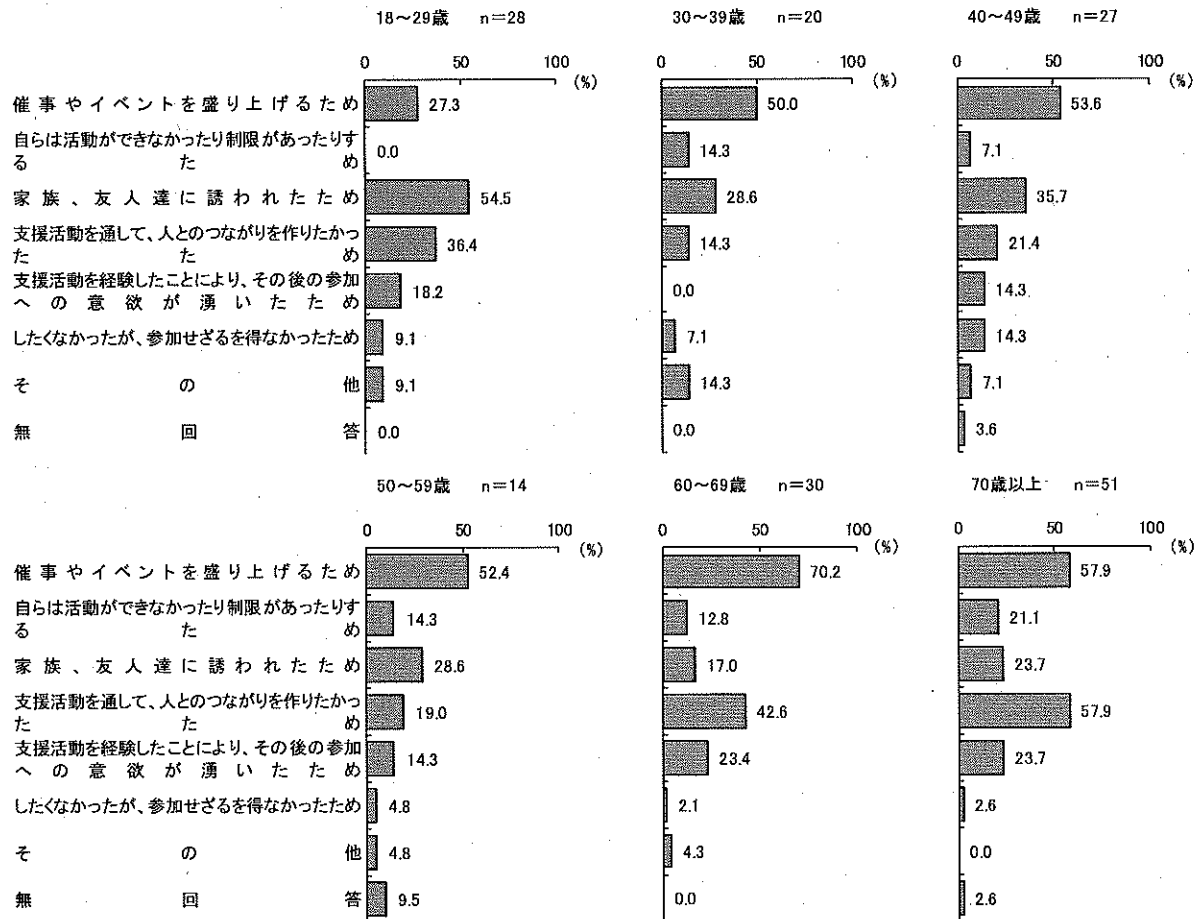
<全体>

文化・芸術に対する支援活動に参加したことが「ある」人の参加理由は、「催事やイベントを盛り上げるため」が52.9%で最も高く、次いで「支援活動を通して、人とのつながりを作りたいため」が37.4%、「家族、友人達に誘われたため」が30.5%と続いている。

<年代別>

年代別でみると、18～29歳、70歳以上を除くすべての年代で「催事やイベントを盛り上げるため」が第1位となっている。70歳以上は「支援活動を通して、人とのつながりを作りたかったため」も同率で第1位となっており、18～29歳は「家族、友人たちに誘われたため」が他の年代で第1位の「催事やイベントを盛り上げるため」を27ポイント以上上回って第1位となっている。

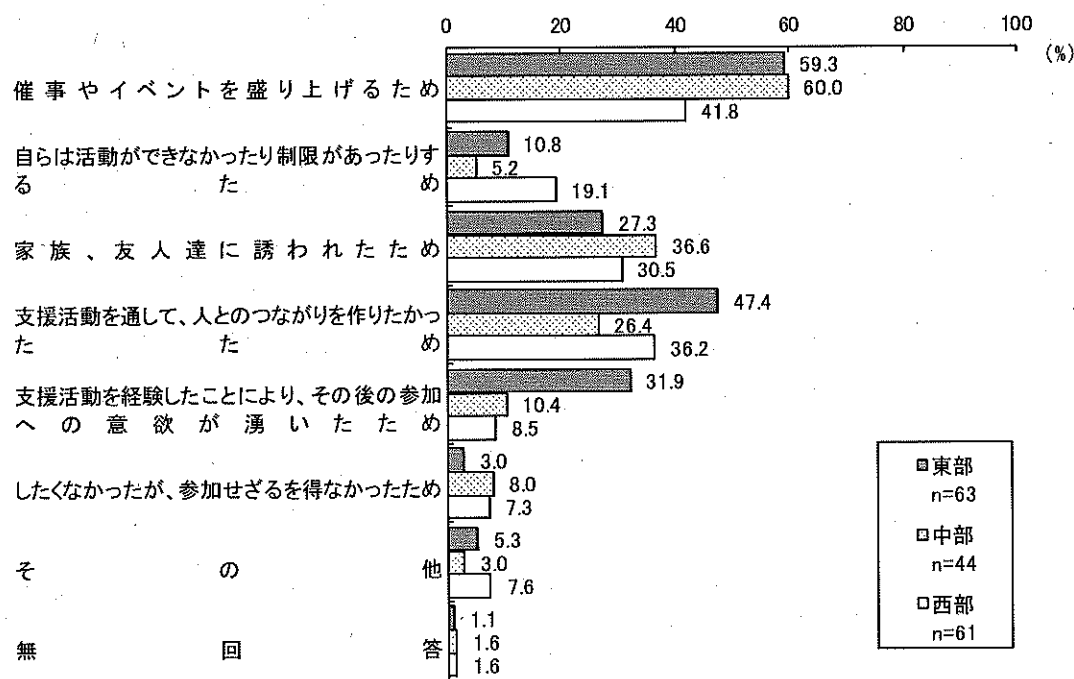
【図4-12-i 年代別 文化・芸術に対する支援活動参加理由】



<地区別>

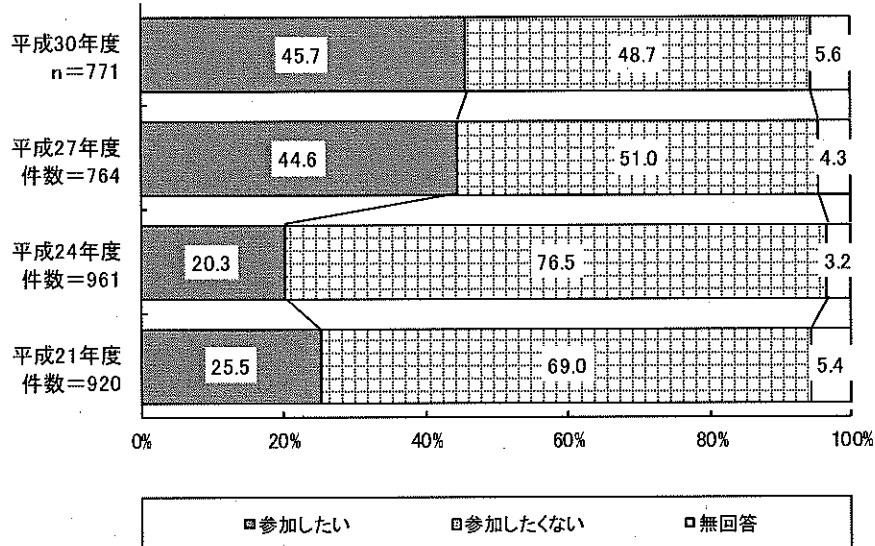
地区別でみると、いずれの地区も「催事やイベントを盛り上げるため」が第1位となっているものの、西部地区は他の2地区と比べて17ポイント以上下回っている。また、「支援活動を経験したことにより、その後の参加への意欲が湧いたため」は東部地区が31.9%と最も高く、他の2地区と比べて20ポイント以上上回っている。

【図4-12-ii 地区別 文化・芸術に対する支援活動参加理由】



4-13 文化・芸術に対する支援活動参加希望の有無

問40 すべての方にお聞きます。あなたは、今後、文化・芸術に対する支援活動(ボランティア)に参加したいと思いますか。



<全体>

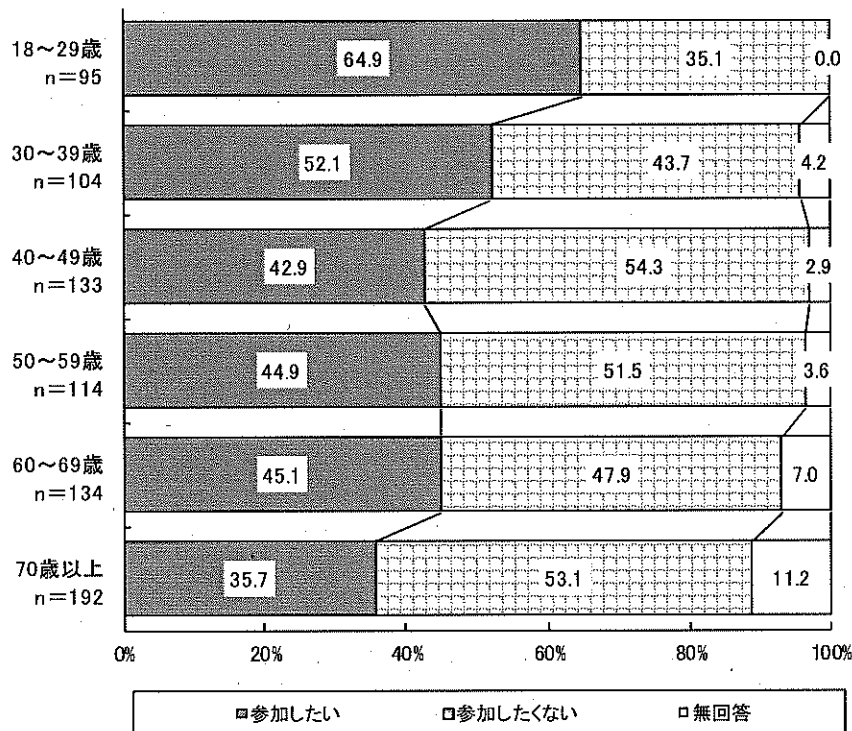
今後、文化・芸術に対する支援活動に「参加したい」が45.7%、「参加したくない」は48.7%となっている。

過去の調査と比較すると、平成27年度調査と比べ大きな変化は見られない。

<年代別>

年代別でみると、「参加したい」の割合は18～29歳が64.9%で最も多く、次いで30～39歳が52.1%、60～69歳が45.1%と続いている。また、最も参加意向の割合が低いのは70歳以上の35.7%であった。

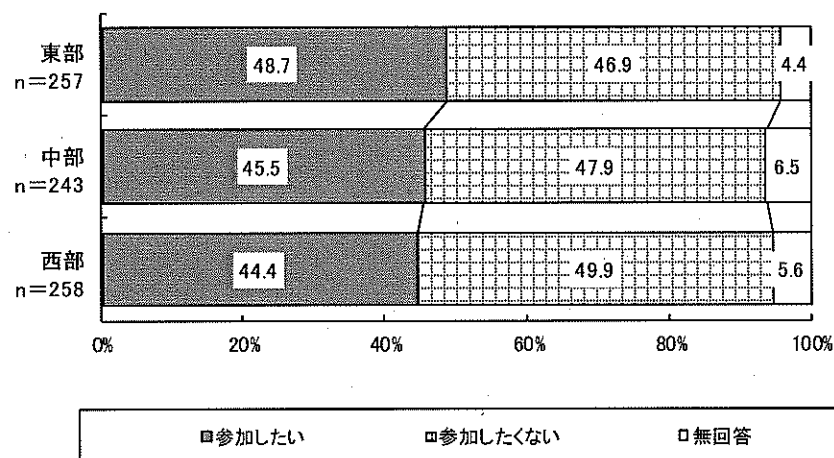
【図4-13-i 年代別 文化・芸術に対する支援活動参加希望の有無】



<地区別>

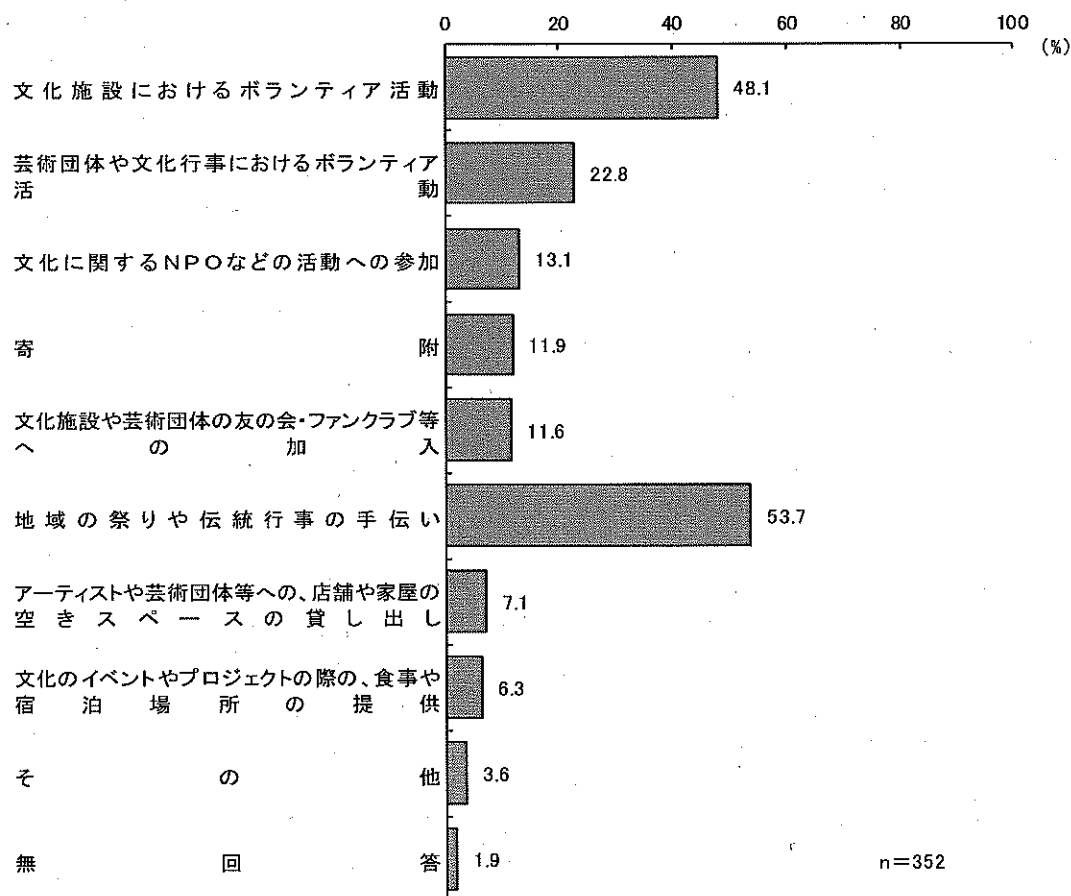
地区別でみると「参加したい」の割合が高い順に東部地区が48.7%、中部地区が45.5%、西部地区が44.4%となっている。

【図4-13-ii 地区別 文化・芸術に対する支援活動参加希望の有無】



4-14 文化・芸術に対する支援活動参加希望の内容

問41 問40で「1. 参加したい」と回答された方にお聞きします。あなたが参加したい文化に対する支援活動は次のどれですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図4-14-i 文化・芸術に対する支援活動参加希望の内容】

(%)

【項目】	平成21年度	平成24年度	平成27年度	平成30年度
文化施設におけるボランティア活動	61.7	51.9	47.5	48.1
芸術団体や文化行事におけるボランティア活動	31.5	33.3	24.4	22.8
文化に関するNPOなどの活動への参加	27.2	21.2	15.8	13.1
寄附	11.1	13.4	14.1	11.9
文化施設や芸術団体の友の会・ファンクラブ等への加入	17.9	22.2	16.1	11.6
地域の祭りや伝統行事の手伝い	-	-	54.7	53.7
アーティストや芸術団体等への、店舗や家屋の空きスペースの貸し出し	-	-	5.3	7.1
文化のイベントやプロジェクトの際の、食事や宿泊場所の提供	-	-	3.9	6.3
その他	3.4	3.9	2.5	3.6
無回答	3.0	5.5	0.3	1.9

<全体>

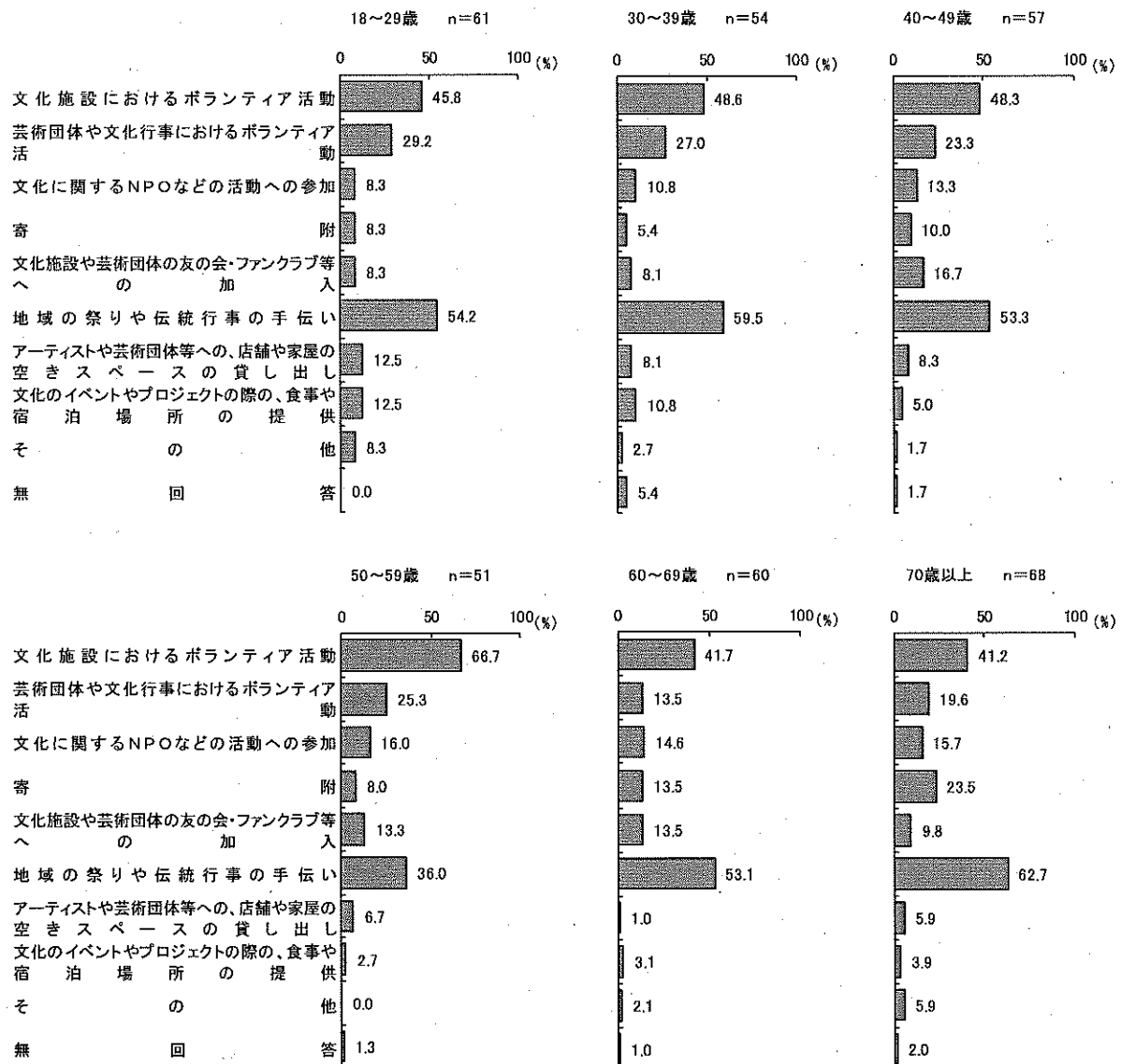
文化・芸術に対する支援活動に「参加したい」と回答した人の希望する活動内容は、「地域の祭りや伝統行事の手伝い」が53.7%で最も高く、次いで「文化施設におけるボランティア活動」が48.1%、「芸術団体や文化行事におけるボランティア活動」が22.8%と続いている。

過去の調査と比較すると、「文化施設におけるボランティア活動」「アーティストや芸術団体等への、店舗や家屋の空きスペースの貸し出し」「文化のイベントやプロジェクトの際の、食事や宿泊場所の提供」の3項目が平成27年度調査よりも増加し、これら以外の項目は減少している。

<年代別>

年代別で見ると、50～59歳を除くすべての年代で「地域の祭りや伝統行事の手伝い」が第1位となっている。50～59歳は「文化施設におけるボランティア活動」が第1位となっている。また、70歳以上では「寄附」が他の年代と比べて10ポイント以上上回っている。

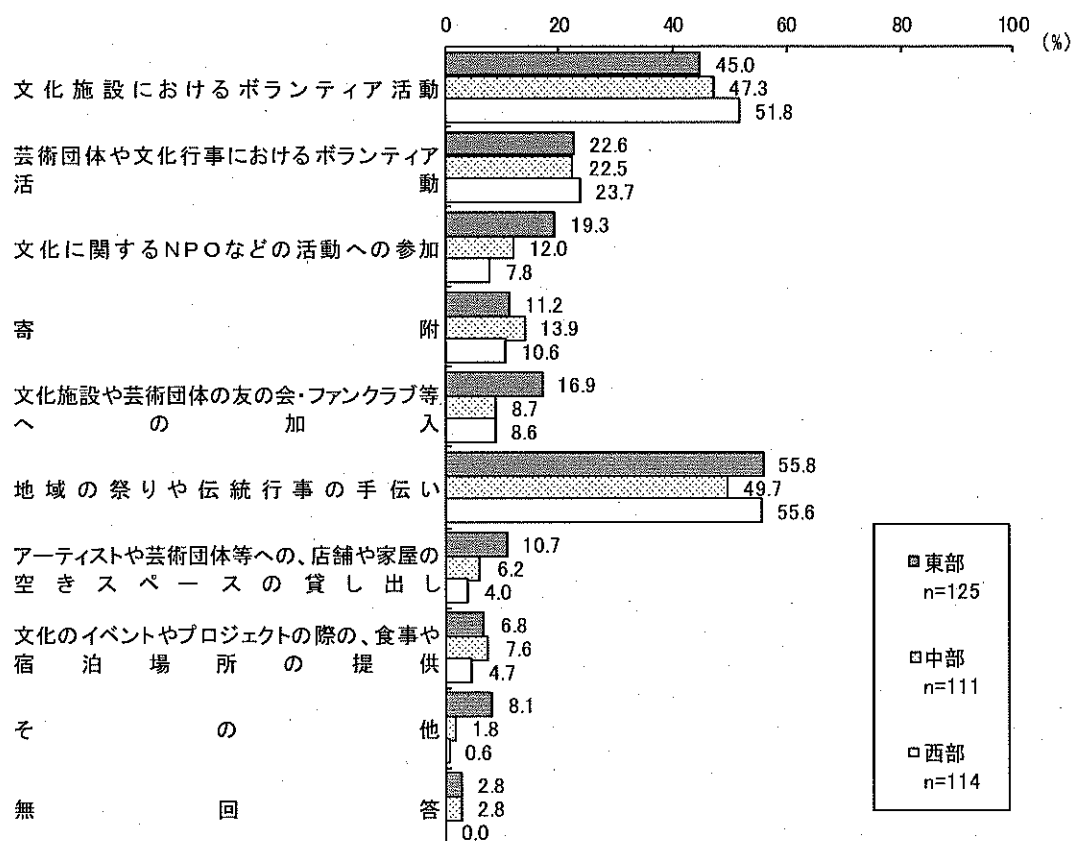
【図4-14-ii 年代別 文化・芸術に対する支援活動参加希望の内容】



<地区別>

地区別でみると、いずれの地区においても「地域の祭りや伝統行事の手伝い」が第1位となっている。また、「文化に関するNPOなどの活動への参加」「文化施設や芸術団体の友の会・ファンクラブ等への加入」はともに東部地区が他の2地区に比べて7ポイント以上上回っている。

【図4-14-iii 地区別 文化・芸術に対する支援活動参加希望の内容】



5 意見・要望など

- ・ 静岡市と他地域で文化施設に大きな差があるように感じます。他地域の施設を増やすとか、出張イベントを多くするなどしてほしいです。(60代・男性)
- ・ 地元のお祭りに中学生の参加が減っていることを心配しています。(60代・女性)
- ・ アンケートを記入しているだけで、静岡県内にはいろいろな素晴らしい文化施設があることを確認できました。ただ、自分があまり施設を利用していないことに気付いたので、また時間のある時に足を運びたいと思いました。(40代・女性)
- ・ 私自身は年齢のこともあり、参加して行動するには無理がありますが、将来のある若者、子ども達が関心をもてる機会を増やすことができることを願っています。(70代以上・女性)
- ・ 文化振興が必要であることは理解できますが、現状は多くの方が生活重視です。余裕がない状況ではなかなか文化振興まで目が向きません。世界遺産の認定などで一時的な盛り上がりはあっても長く関心を集めるのは難しいです。(60代・男性)
- ・ 伊東市にシネマを中心にした建物建築をお願いします。(60代・男性)
- ・ 今までアンケート内容にある事柄について考えたり、振り返ったりした経験がありませんでした。今回この様な機会をいただき、視野が広がった気がします。いろいろな場面で自己の成長につなげていきたいと思いました。機会をいただき有難うございました。(70代以上・女性)
- ・ 文化に関する意識調査を行うに当たり、事前アナウンスが必要ではないでしょうか。やや一方的な押し付けとして感じました。取組みを否定しているのではないですが、不躰な印象をもったということを伝えたいです。(50代・男性)
- ・ アンケートに記載されている施設を見てもわかりますが、県の文化施設は静岡市及びその東に集中していて、非常に不公平だと思います。県西部にも、例えば県立美術館や図書館などの分館くらいは造っていただけないものかと思います。浜松市の文化振興の考え方の問題もあるのかもしれませんが、県には県全体での公平な振興を考えていただきたいです。文化芸術大学も市民に開かれず、活動が見えないのが残念です。(50代・男性)
- ・ 施設中心になると、どうにも大きな企業は大都市に集中せざるを得ない側面があるかと思っています。地域に密着した形で地域力、住民力が発揮できれば良いのですが、個人情報などの問題もあり、いろんな面で制約があるような気がします。三世代の交流・文化の継承が大切ではないかと思っています。(60代・男性)
- ・ 静岡県の文化施設(グランシップ、富士山世界遺産センターなど)は県中東部にあるので、県西部在住者にとっては積極的に利用しようと思えません。美術館についていうと、東京や名古屋に行った方が魅力的なプログラムが多いので、同程度、もしくはそれ以上でない、なかなか静岡県立美術館まで行きたいとは思いません。静岡県は東西に広いため、県全体というより地域ごとにきめ細かく文化振興する必要があるのではないのでしょうか。(50代・女性)
- ・ 箱物をいくら造っても文化振興には成り得ないことを首長、行政がしっかりと認識すべきです。(50代・男性)
- ・ 静岡を離れていて6年前に戻ってきました。文化・芸術に対する県の取組みをもっとアピールしたら良いと思います。(60代・男性)
- ・ 施設の立地や充実は図られてきていますが、活動している人々への支援が不足しているように感じています。(30代・男性)
- ・ 文化振興に関してはよく知りません。(30代・男性)
- ・ 文化施設が遠方のため行きにくいです。静岡県中遠地区にもたくさん施設を造ってほしいです。(50代・女性)
- ・ 趣味として模型製作をしていますが、文化・芸術の範囲に入るのでしょうか。静岡県の産業ではありますが、造る人からみると芸術に相当する気がします。(60代・男性)
- ・ 年齢的にボランティアは無理です。主人の妹の面倒に手がかかり自分の活動はできません。でもアンケートはいろいろと勉強になりました。(60代・女性)
- ・ 高齢のため参加したくてもできません。(70代以上・男性)
- ・ 年金生活で金銭面にも不安があり、身体も思う様に動かなくなってきたため、参加したくないというより年齢的にできることが制限されています。(60代・女性)
- ・ 自分よりも若い人達、子ども達を盛り上げた方が、活気ができます。(60代・女性)
- ・ 自分の年齢が高齢なこともあり、また、孫は運動クラブに塾等で忙しすぎるので、家庭の行事や伝統などを教え、体験させることがなかなかできません。県教育委員会は子どもの放課後の過ごし方を高い見地から見直してほしいです。(70代以上・男性)
- ・ 各地域の伝統行事を盛り立てていってください。そのためには小さいときから行事に参加させるようにしたら良いと思います。現代は遊びがいろいろあるので、地区の行事に無理に参加させることは難しいでしょう。山車の巡業のとき、休憩時間に景品ありのジャンケンゲームやおやつを仕度するといった様々なアイデアを出していったら良いのではないのでしょうか。(70代以上・女性)
- ・ 文化関連施設を静岡市に集中しないでいただきたい。静岡市以上に県民税を払っている浜松市へも施設を均等に配置すべきです。静岡市ばかりに文化の拠点を設ける考えは一切やめてほしいです。(40代・男性)
- ・ 若者が少し努力をしたり、みんなで集まって何かをやろうとしたりしたときの場所がたくさんあるといいなと思います。例えば、舞台なら小劇場など小さめの小屋です。何かをやろうとしたときにすぐにやることができれば若者はそこにいる意味が出てきて、その土地を愛してくれるのではと思います。若者が長くとどまりたいと考えるような施設がたくさんできるといいなと思います。(30代・女性)
- ・ 文化とかそんなものは高齢者しか興味をもたないのではないのでしょうか。家族でつまらないところに行きたくないです。そもそも施設自体が遠く、近場でもやはり興味がなければ参加もしません。(40代・女性)
- ・ 文化・芸術のイベントや情報について、区役所などにパンフレットとしておいてあることにはとても助かっており、イベント自体にも興味もてます。各行政にはどんどん情報提供いただけるとありがたいです。(40代・男性)
- ・ 県西部には芸術に対する施設が少ないです。(50代・男性)
- ・ 年齢的なこともあり、自分が他の人に迷惑になりかねないから文化施設には行きません。(60代・女性)
- ・ 海外オーケストラやミュージカルなどの演奏会開催を実施してほしいです。浜松市以外ではそうした機会が非常に少ないです。(60代・男性)

- ・メディアなどを使ってもっと文化・芸術振興のために色々なことを発信してほしいです。(50代・女性)
- ・月の半分位が通院中ですので、時間、体調、金額の許す限りいろいろ体験等がしたい気持ちは十分ありますが、なかなか難しいのが現実です。テレビをダビングしたり、CDを求めたり、読書やDVDを通じて、それなりに心豊にと努力しています。(70代以上・女性)
- ・県西部の住人には県の文化振興事業は縁遠く感じます。(60代・男性)
- ・参加したいと思いますがなかなか時間が取れません。(50代・女性)
- ・アンケート内にもありましたように「ボランティア」という視点で、若者に呼びかけるのはとても良い奇策になるのではないかと感じました。それぞれの施設が近くの園や学校に呼びかけて、美術館、センターのボランティアを生徒が行なえば鑑賞するだけよりもっと文化や芸術が好きになれ、学べ、親にも喜んで話してくれ、また家族で行こうかという風に、良い循環ができるのではないのでしょうか。オリンピックの文化プログラムこそ、若者が「ボランティア」をできるなら、オリンピックに何らかの参加をしたいという思いで喜び、人と人とのつながりや、人生での大きな宝となると思います。(30代・女性)
- ・足が悪いので外出ができません。(40代・男性)
- ・御殿場に住んでいますが、近所の方がボランティアに参加していることがないのでよくわかりません。自分がどういう気持ちでボランティアをしているかわかりません。(60代・男性)
- ・自営業のため時間的な余裕がなく、テレビ、新聞、雑誌等でその価値観を共有したいです。(70代以上・男性)
- ・県民が文化や芸術に興味をもつように、もっと広報に力を入れた方が良いと思います。テレビや新聞など、メディアを使って子ども達にも興味や関心をもってもらえる様に、漫画や短編アニメ、短編CMなどで宣伝したら良いと思います。(70代以上・女性)
- ・静岡市付近に住んでいる方は文化芸術に触れる機会が身近にあるかもしれませんが、遠方に住んでいるとなかなかそこまで足をのぼすことが少ないです。逆に、東京に行く方が近い場合もあります。静岡県全体でもっと文化芸術に触れる機会や会場がたくさんできるといいと思います。(60代・女性)
- ・時間的にボランティアをする余裕がないです。(50代・女性)
- ・大道芸ワールドカップのファンです。山も好きで富士山にも登ります。静岡は魅力ある場所、風景が多いのに勿体ないです。(40代・女性)
- ・子どもや若者が少しでも文化や芸術に触れる機会が増えることを望みます。(40代・男性)
- ・図書館をもっと充実してほしい。蔵書を増やしてほしいものがあるが、居心地良くゆったり本を楽しめるような空間を作してほしいです。以前、岐阜県図書館へ行きましたが、さほど大きくない建物内に閲覧スペースがたくさんあって、利用者が各々好きに過ごしていたのが印象的でした。静岡の県立図書館もあんな感じになったらステキだと思います。(30代・女性)
- ・高齢のため、静岡市や浜松市まで文化・芸術へ触れに出かけるのはわずらわしいです。県内各市町へ巡回して下さるともっと張り合いがある人生を送れると思います。(60代・女性)
- ・1つの行事で県民のできるだけ多くに楽しませようと考えないでほしいです。多種多様な行事を催行することこそが県民全体の文化意識の向上につながると思います。(60代・男性)
- ・私が今通っている静岡文化芸術大学では、前期の必修科目として文化芸術体験をする授業がありました。そのおかげで、普段絶対に体験することができない狂言、茶道などを体験することができ、改めて日本の伝統を誇りに思えました。なので、そのように思える機会を色々な学校でも取り入れていた方が良いと思いました。(10、20代・女性)
- ・英語教育が導入される一方、自国の歴史や文化、芸術を知らない子ども達が多いように感じます。外国語よりもっと学ぶべきことがあるのではないのでしょうか。そうした文化にもっと親しむ機会を増やした方が良いと思います。大人に考え方を考えさせるのは難しいので、まだ柔軟な子ども達にいろいろな文化・芸術に触れる場を提供してほしいと思います。(30代・女性)
- ・サービス業のため、なかなか参加できません。月曜日休みの人は様々なイベントにまったく参加できません。(70代以上・女性)
- ・子どもが学校で音楽鑑賞をする機会があり、プロの演奏はとても楽しく良かったようでした。また、こんな機会があればいいなと思いました。(30代・女性)
- ・年齢のため体が自由になりません。(70代以上・男性)
- ・参加したいが、高齢のため不可能です。(70代以上・女性)
- ・もう少し若ければと思います。(70代以上・男性)
- ・地球環境史ミュージアムは講演会に当選したときに初めて訪れましたがとても見るものが沢山あり、面白い施設で、一日中でも見ていたくなりました。富士山世界遺産センターも景観が美しく、展示物もとても面白く、こちらもやはり一日中じっくり見ていられるくらい面白く感じました。どちらも入館料が手頃で助かります。SPACもテレビ番組で存在は知っていたもののしっかり調べて見に行こうとまで行動力が湧きませんでした。せっかくなのでいつか行きたいと思っています。(50代・女性)
- ・県立美術館の企画展にはときどき行きますが、基本、静岡周辺のものが多いのでなかなか参加できません。特に、静岡県の文化関連は中・西部に偏っていると常々思っています。東部でもいろいろやってほしいです。(40代・女性)
- ・自分が住んでいるところは田舎なのでなかなか市内等へ行くのは難しいです。だから、田舎にも出張してイベントを開催してほしいです。(60代・男性)
- ・日々の生活の中で、県の文化振興ということに、意識がいくことはほとんどないというのが実情です。自分の住む浜松市にも文化施設が増えようと、文化振興について考える機会が増えるかもしれません。(30代・男性)
- ・近年、働き方の変化で時間の余裕ができ、趣味等への選択肢も増えてきました。明日への希望だったり将来への期待だったりを作っていくためにも、仕事以外の『何か』に目を向けることはすごく良いことと思います。毎日のモチベーションを上げることができる楽しみ等に“文化”がサポートをしてくれると信じています。(60代・男性)
- ・ボランティアという言葉で印象を良くしていませんか。賃金の発生する仕事として仕組みを考えた方が良いと思います。(40代・男性)
- ・高齢者だから楽しむだけです。(70代以上・女性)
- ・仕事が忙しく、自分の心を癒すゆとりもなく、今後もエンドレスに忙しい日々が予想され、文化振興に関して語る知識もなく、参考にもならず申し訳ありません。(60代・女性)
- ・参加したくない、ではなく年齢から見て無理です。(70代以上・男性)
- ・年齢もあり参加できません。(70代以上・男性)
- ・私は65歳まで知的障がい者、移動介護の仕事をしていましたが、体調を崩し今は無職です。身近なこととしては障がい

- 者へもお祭りの楽しさが感じられるような機会を求めます。(60代・女性)
- ・地域の活性化に繋がるので頑張っしてほしいです。(40代・男性)
 - ・絵画や手芸展などでわざわざ東京まで出向くことが多く、交通費などの出費がかかっています。なるべく県中央都市などでも開催していただくことを望みます。(60代・女性)
 - ・現在は家のことで忙しいです。今後、自分の時間がもてるようになったら文化・芸術の鑑賞に今より広い範囲の場所に出かけていきたいと思っています。(60代・女性)
 - ・したくないのではなく、時間がないためできません。(50代・女性)
 - ・劇団四季のミュージカルなどが近くの劇場公演になった際には子どもと一緒に観たいと考えますが、子ども3人分と自分の分を合わせるとかなり高額になってしまい、なかなか観られる機会がありません。子どものチケット代を半額などにしてもらえると、子どもにも上質な物を観せられるのにとと思います。(40代・女性)
 - ・どこかに行かなければ見られない、参加できないということよりも、身近な所に文化を感じられる方が良いです。知らないうちに文化を実は感じていたぐらいが参加しやすくて良いです。もっと簡単なもので良いです。文化に興味のない子どもや若者に参加を求めるためには、とても強い魅力を感じてもらわないとならないので難しく、学校等で参加しても無理矢理なものであるとその後には繋がらず、文化に対しマイナスな感情をもつ可能性もあり、そこからさらなる文化離れに繋がるリスクがあります。(10、20代・女性)
 - ・心身ともに余裕がありません。(50代・男性)
 - ・県立図書館跡地利用についてしっかりとご検討いただきたいです。(30代・女性)
 - ・生活文化において活動発表を行える会場について低料金での貸し出しの検討をしていただきたいです。(60代・男性)
 - ・沼津へ嫁ぎ、今年で20年になります。次の世代へ残すべき、たくさんの宝物があふれる静岡。最近では娘と出かけていますが、まずは自分でもあちこちの美術館やホール、劇場などに行って、それを楽しみたいと思います。子どもの手が離れたらボランティアもいいなごしながらアンケートに答えました。今後のますますの文化振興発展を祈ります。(40代・女性)
 - ・時間やお金がなければ文化や芸術を楽しむのは難しいと思います。大人はしょうがないとしても、子どもには無償で文化や芸術に触れさせてあげたいと思います。(50代・男性)
 - ・私は参加したくても体が無理です。もっと外国人や他県の人に対して、観光や文化に力を入れて魅力ある県にしてほしいです。(70代以上・男性)
 - ・参加したくないわけではないですが、知識がないのでどんな風に参加しているのかわかりません。子育てをしていて時間もなくて、イメージしづらいですが、一段落したら参加してみたいです。(30代・女性)
 - ・戦後、ウォー・ギルト・インフォメーション・プログラム下での教育、または、新聞及びメディアの中での文化、芸術は、真の意味での捉え方ができないと思います。日本は、自由のように見えますが、中国、朝鮮の様にウォー・ギルトの枠の中でしか自由がありません。これを取り除かなければ日本の文化、芸術の未来がなくなるどころか、日本人、日本自体がなくなってしまうのではないのでしょうか。私はそれを一番危惧しています。(60代・男性)
 - ・あるグループのライブを観に東京へ行きますが、静岡で歌や演劇を観られるとうれしいです。劇団四季の公演はとても楽し
- みです。静岡県の文化施設のことをよく知りません。広報は隅々まで読む時間がありません。広報活動にテレビを利用していただけると情報が入りやすいと思います。(60代・女性)
- ・同じ県内でも伊豆半島は文化に対する意識が特に薄い地域です。北部や中央部との格差がいじりしいですが、本県全体の文化振興の底上げ的な意味で観光という地域の特徴や歴史、成り立ちを生かした形での人材育成や施設のあり方など、半島という独自性を生かした振興を考えていただきたいです。(50代・女性)
 - ・時間があれば参加したいと思います。また、内容によって考えたいと思います。2017年まで約10年間海外で生活していたため、静岡県の施設についてはあまり理解できていません。(50代・男性)
 - ・県の芸術や文化財、観光資源等がメディアにより発信されることは悪いことではないのですが、県外からの観光客にキャパシティを占有されて、県民が利用できないということがたくさん起きているのが静岡県の文化振興の弱点だと思います。(50代・男性)
 - ・今は子育て中のため家族優先になりますので、その後、余裕があればボランティアなどには参加してみたいです。今は学校のボランティアなどにはできるときに参加しています。(40代・女性)
 - ・今は仕事が忙しく他のことへの関心や時間がありません。土日休みではないので世間と思いがずれているかもしれませんが日々、忙しく追われていますので……。 (50代・女性)
 - ・犬の訓練や世話で、1日中家をあけることができないので参加できません。(50代・女性)
 - ・気軽に参加したり、鑑賞したりする機会が少ない様に思います。富士市のロゼシアター等、プロのパフォーマンスは料金も高く、チケットも取りにくく、年金生活者にはなかなかチャンスが少ないです。(60代・女性)
 - ・今のところ、自分の生活に追われていますので、心の拠り所がありません。(60代・男性)
 - ・市中心部でかつホールのみでなく、展示室等もある「はまホール」の復活を！！(30代・男性)
 - ・災害発生後の文化・芸術に関する質問についてですが、具体的に発生後がどれぐらいの時期なのかによって答えが変わるかもしれません。また、このアンケートを通じて初めて知った施設や活動があり参考になりました。(40代・女性)
 - ・「文化」という概念を狭義に考える人が多く感じます。文化は普遍的なもので、多くの人の人生に関わるものである、ということが子ども達に伝わるよう、教育に力を入れていただけるとうれしいです。(40代・男性)